

# かなざわ子育て夢プラン 2010

## 【最終案】

平成 22 年 2 月 24 日現在

金 沢 市



## はじめに

金沢市では、平成 17 年 3 月、少子化対策推進行動前期計画「かなざわ子育て夢プラン 2005」を策定し、5 年間にわたり様々な子育て支援事業や、こども広場などの施設整備をはじめ多くの具現化策に取り組んで参りました。その結果、金沢市全体で子育てを支える気風が広がり、合計特殊出生率は 1.23（平成 16 年）から 1.36（平成 20 年）に上昇し、一定の成果があったものと評価いたしております。

お写真

このような状況の下、市民の皆さまや金沢市の企業を対象に、子育てに関する意識や実態、子育て支援サービスの認知度や利用度などをお伺いするアンケート調査や、市民フォーラム、子育て支援団体からの聞き取りなどにより多くのご意見をいただき、後期計画「かなざわ子育て夢プラン 2010」を策定いたしました。

本プランでは「限られた子育て期間に親子が豊かな時間を共有できる環境づくり」「金沢で生まれ育った子どもたちが再び金沢で子育てしたいと思えるまちづくり」を基本的な視点とし、今後は、魅力的なまちづくりをも視野に入れた施策について、優先的に取り組んで参りたいと思っています。

施策の遂行にあたりましては、市の取り組みだけでなく、市民の皆さま一人ひとりが家庭、地域、保育所・幼稚園・学校、職場において、それぞれのお立場で、子どもと子育て家庭を温かく見守り、社会全体での子育て支援を進めることが大切ではないかと思えます。引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いするものです。

最後に、この計画の策定に際し、多角的な視点から示唆に富むご意見をいただきました金沢市少子化対策推進会議、及び金沢市少子化対策民間ワーキングチームの委員の皆さまをはじめ、貴重なご意見をお寄せくださった多くの市民の皆さまに心から感謝申し上げます。

平成 22 年（2010 年）3 月

金沢市長 山 出 保

# 目次

## I 計画の策定にあたって

1 策定の背景と目的.....	2
2 計画の期間.....	2
3 計画の対象.....	2
4 計画の性格.....	3
5 計画の基本的な考え方.....	4
6 施策の基本方針.....	6
7 施策の体系.....	8
8 取り組み姿勢のイメージ.....	9

## II 施策の展開

基本方針 1 親と子どもが心豊かに社会と向きあえる子育て環境をつくる.....	12
基本施策 1 子育てに対する意識の向上.....	13
基本施策 2 地域の子育て支援施策の充実.....	16
基本施策 3 効果的な子育て情報の提供.....	21
基本施策 4 子育てにかかわる人材育成.....	24
基本施策 5 児童虐待防止体制の充実.....	27
基本施策 6 特に配慮を必要とする家庭への支援の充実.....	30
基本方針 2 仕事と生活が調和できる環境をつくる.....	35
基本施策 1 ワーク・ライフ・バランスの推進.....	36
基本施策 2 多様で弾力的な保育サービス等の充実.....	39
基本方針 3 金沢市を担う未来の親の育成と若者の自立を支援する.....	42
基本施策 1 次代を担う親の育成.....	43
基本施策 2 よきパートナーとの出会いと生活自立の支援.....	47

基本方針4 子どもと家族の心と体の健康づくりを支援する.....	50
基本施策1 親と子の健康の確保.....	51
基本施策2 小児医療体制の整備.....	55
基本施策3 発達の遅れや障害のある子どもへの支援.....	58
基本施策4 不妊への支援の充実.....	61
基本方針5 子どもをとりまく安全で優しい生活環境をつくる.....	62
基本施策1 「子育てバリアフリーのまち金沢」の推進.....	63
基本施策2 良質な住宅の確保と住環境の整備.....	66
基本施策3 子どもの安全の確保.....	67

### Ⅲ 計画の推進と評価

1 計画の推進.....	72
2 計画の評価.....	72

### Ⅳ 資料

1 実施事業の詳細.....	74
2 指標設定事業一覧.....	115
3 本市の子育て家庭を取り巻く現状.....	120
4 ニーズ調査結果.....	130
5 計画の策定経緯と策定体制等.....	145



I

計画の策定に  
あたって

# 1

## 策定の背景と目的

わが国では急速な少子高齢化をうけ、平成 15 年に「次世代育成支援対策推進法」を制定し、地方公共団体や事業主の行動計画策定を進めるなど子育て支援の推進を図ってきました。しかし、そうした取り組みにも関わらず、少子高齢化は予想を上回る速さで進み、平成 17 年には、合計特殊出生率は 1.26 と過去最低を記録し、総人口が初めて減少に転じるなど、かつて経験したことのない少子高齢化時代に突入しました。

本市においても、平成 16 年に合計特殊出生率は過去最低の 1.23 を記録するなど、全国と同様に深刻な少子化を目の当たりにすることとなりました。この流れを変えるため、平成 17 年に「かなざわ子育て夢プラン 2005」を策定し、近江町交流プラザちびっこ広場をはじめとする様々な子育て支援施設の整備をはじめ、各種子育て支援サービスの充実や親子の健康づくりの推進、また児童相談所の開設等相談体制の整備といった様々な子育て支援に取り組んできました。平成 21 年度は「かなざわ子育て夢プラン 2005」の最終年度であることから、平成 22 年度から平成 26 年度までの新たな取り組みに向けて、市民のニーズや地域社会の状況等を把握し、これまでの取り組みについて評価・見直しを行いました。そして、限られた子育て期間に親子が豊かな時間を共有できるとともに、金沢で育った子どもたちが再びここで子育てしたいと思えるまちをめざし、「かなざわ子育て夢プラン 2010」を策定しました。

# 2

## 計画の期間

平成 22 年（2010 年）度～平成 26 年（2014 年）度の 5 年計画とします。

なお、計画を推進していく過程において、社会・経済情勢や福祉・教育環境を取り巻く状況の変化により、新たな施策の展開、計画の見直しが必要となった場合には、柔軟に対応していくこととします。

# 3

## 計画の対象

この計画は、子どもおよびその家族、地域住民、市民団体、事業所等すべての市民を対象とします。

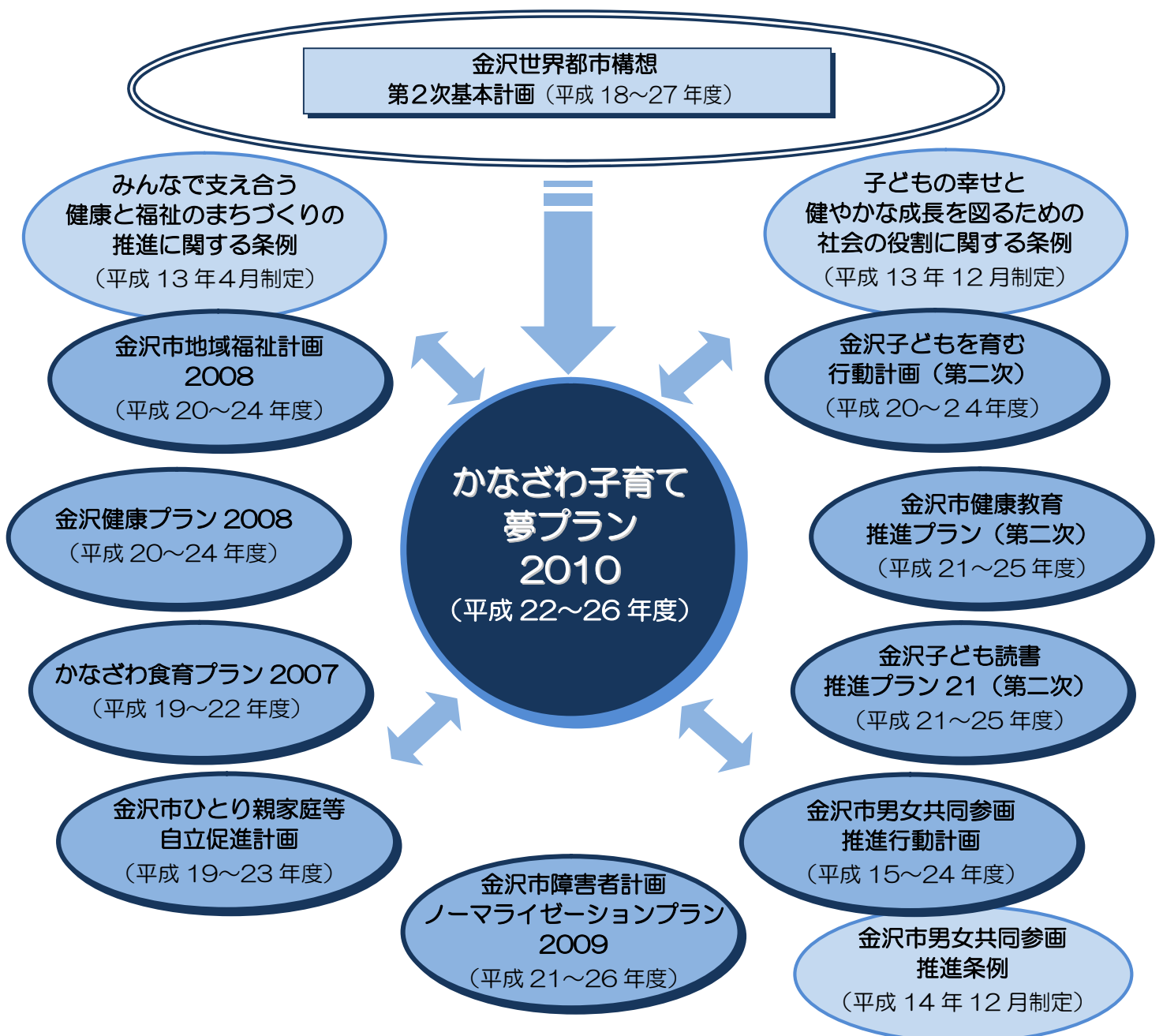


# 4

## 計画の性格

この計画は、「金沢世界都市構想第2次基本計画」を上位計画とし、「金沢子どもを育て行動計画（第二次）」「金沢市健康教育推進プラン（第二次）」「金沢健康プラン2008」「金沢市男女共同参画推進行動計画」「かなざわ食育プラン2007」「金沢市地域福祉計画2008」等の市の計画ならびに国や県の関連計画との整合性を図り策定しました。

なお、この計画を「次世代育成支援対策推進法」に定める市町村行動計画として位置付けます。



# 5

## 計画の基本的な考え方

### 理念

みんなで育む 子どもの笑顔  
子育ての喜びが実感できるまち金沢

### 基本的視点

- 限られた子育て期間に親子が豊かな時間を共有できる環境づくり
- 金沢で生まれ育った子どもたちが再び金沢で子育てしたいと思えるまちづくり

### 方針

1. 親と子どもが心豊かに社会と向き合える子育て環境をつくる
2. 仕事と生活が調和できる環境をつくる
3. 金沢市を担う未来の親の育成と若者の自立を支援する
4. 子どもと家族の心と体の健康づくりを支援する
5. 子どもをとりまく安全で優しい生活環境をつくる

### 施策

本計画の策定にあたっては、次の2項目を基本的視点とします。

## **(1) 限られた子育て期間に親子が豊かな時間を共有できる環境づくり**

幼少期に親子が向き合い、豊かな時間を共有することは、子どもたちの心の成長には欠かせません。親子で過ごした時間は宝として子どもたちの記憶に組み込まれ、その後の人生の大きな糧となることでしょう。

また、親にとっても、子育てが限られた時間であることを忘れずに、その時々の子どもの関わりを大切にすることで、より豊かな人生を送ることができるのではないかと考えられます。

親子が強い絆のもと、社会に向き合い、地域とのつながりの中で、生活を営み、子どもの成長の喜びを分かち合えるような環境を目指していきます。

## **(2) 金沢で生まれ育った子どもたちが再び金沢で子育てしたいと思えるまちづくり**

金沢で生まれ育った子どもたちが、多くの人々とふれあい、関わり合いながら、様々な体験・経験を積み重ね、成長していく過程で「金沢のまちが好きだから、将来、自分もこのまちで暮らしたい。ここで子育てをしたい!」と思えるようなまちづくりを目指していきます。

なお、推進にあたっては次の点に留意していきます。

### **！子どもの幸せを第一とする！**

子育て支援においてその影響を受けるのは、まず子ども自身です。子育て支援サービスの実施にあたっては、親や家庭のニーズや実状に配慮しつつも、利便性の追求のみにとらわれることなく、子どもの幸せと利益を最大限に尊重する必要があります。

### **！いろいろな価値観と生き方を認め合う！**

結婚、出産、子育てに関する個人の価値観と生き方は多様にあり、このことは尊重されなければなりません。「少子化対策」の推進が、はからずも個人の価値観を否定すること、生き方の選択の自由を阻むことあるいは個人の事情を無視した精神的圧力にならないよう配慮します。

# 6

## 施策の基本方針

基本理念の「みんなで育む 子どもの笑顔 子育ての喜びが実感できるまち金沢」の実現に向けて、施策の基本方針として次の5項目を掲げます。

### (1) 親と子どもが心豊かに社会と向きあえる子育て環境をつくる

近年、人々のライフスタイルが多様化するにともない、子育てについての価値観も多様化し、日々の暮らしのなかでゆったりとした気持ちで子どもと向きあう時間、また周囲の人々と子どもを育てる喜びを共有する時間を確保することが、以前よりも難しくなっているようです。そうした状況であるからこそ、私達は子育てを通して自らの人生をより豊かなものにできる、ということを一人心が再認識する必要があります。

一方、本市には、古くから培われてきた豊かなコミュニティがあり、住民相互の高い連帯意識に支えられ、住みよいまちづくりを進めてきた公私協働の土壌があります。善隣館や民生委員児童委員など、昔から続いている地域活動に加え、NPO 等による子育て支援など、市民の自発的な取り組みが活発に行われています。また、保育所や幼稚園、児童館、公民館など子育てに関する施設も数多く子育て資源が豊富なまちです。

限りある子育て期間に親子が向きあう時間を大切にできるよう、地域と協働し、家庭に対して働きかけを行っていくとともに、経済的理由等で子育てに困難を感じる家庭への支援や児童虐待の防止体制の強化に取り組んでいきます。また、子育てに関わる人材育成に努め、引き続き市内の子育て支援拠点の機能を充実していきます。

### (2) 仕事と生活が調和できる環境をつくる

本市では、男女ともに子育てをしながら仕事をしている家庭が多く、その就労形態も様々であることから、それぞれの家庭が希望するバランスで仕事と家庭生活を両立できる環境づくりが求められています。仕事をしながらであっても心豊かに子どもと向きあう時間を確保するためには、企業の制度の充実や職場の人々の協力が非常に重要となります。そのため、企業に対してワーク・ライフ・バランスについての啓発や自主的な取り組みへの支援を行っていきます。

また、子育てと仕事を両立するためには、保育サービスは不可欠であることから、多様な就労形態に応じた保育サービスの充実を努めます。

### (3) 金沢市を担う未来の親の育成と若者の自立を支援する

金沢で生まれ育った子どもが、将来、再びこのまちで暮りたい、ここで子育てしたいと思えるよう、金沢の豊かな自然や伝統文化にふれる機会や、国際交流、社会体験など様々な体験の場を幼少期から提供します。その中で、同年代や年代の違う多くの人々との関わりを通し、心豊かな未来の親への成長を促します。

また、思春期は、心と体が大きく変化し、大人へとようになっていく大切な時期です。性を尊重した未来の親の育成と若者の自立を支援するとともに、将来、若い世代が温かい家庭を育み、その中で安心して夢を持って子育てができるよう、社会全体で考えていきます。

### (4) 子どもと家族の心と体の健康づくりを支援する

母子健康手帳をもらった喜びは、子育てのスタートです。喜びと不安が交錯した妊娠中の母親を応援し、安心して出産、育児ができるよう、またすべての子どもが健やかに成長できるように、保健、医療、福祉等の分野が連携して一貫した支援に取り組みます。

また、発達の遅れや障害のある子どもとその家族や、育児困難を感じている保護者への支援を行います。

### (5) 子どもをとりまく安全で優しい生活環境をつくる

子育て家庭にやさしいまちづくりのためには、妊婦や子ども連れ、幼児、児童等が安心して外出できる生活環境の整備が必要です。また、良質な住宅の提供などにより、子育て家庭の定住化を図っていきます。

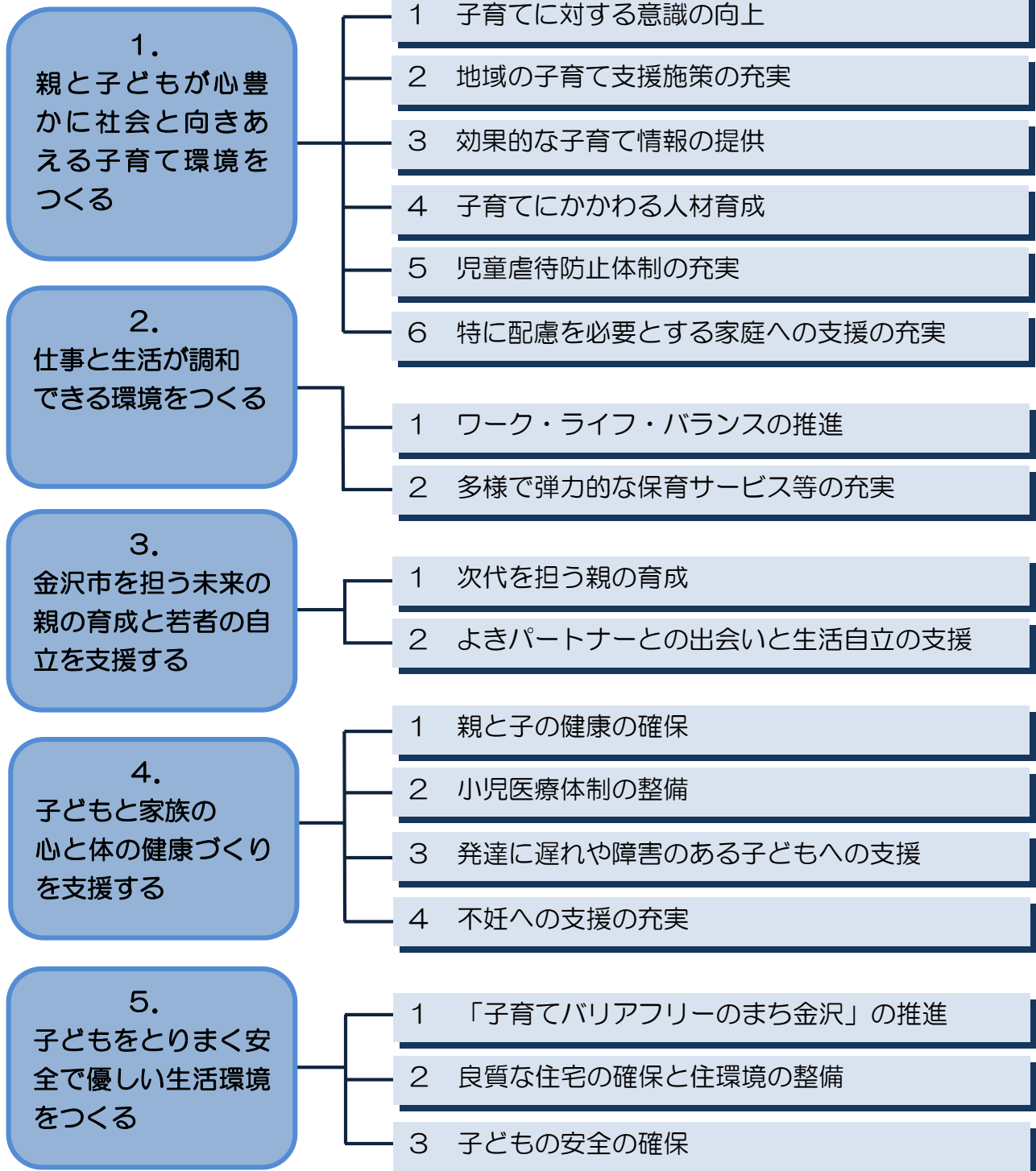
さらに、予期せぬ事態に備え、事故予防対策、防犯・防災対策に努め、子どもの安全の確保を図ります。

# 7

## 施策の体系

### 基本方針

### 基本施策

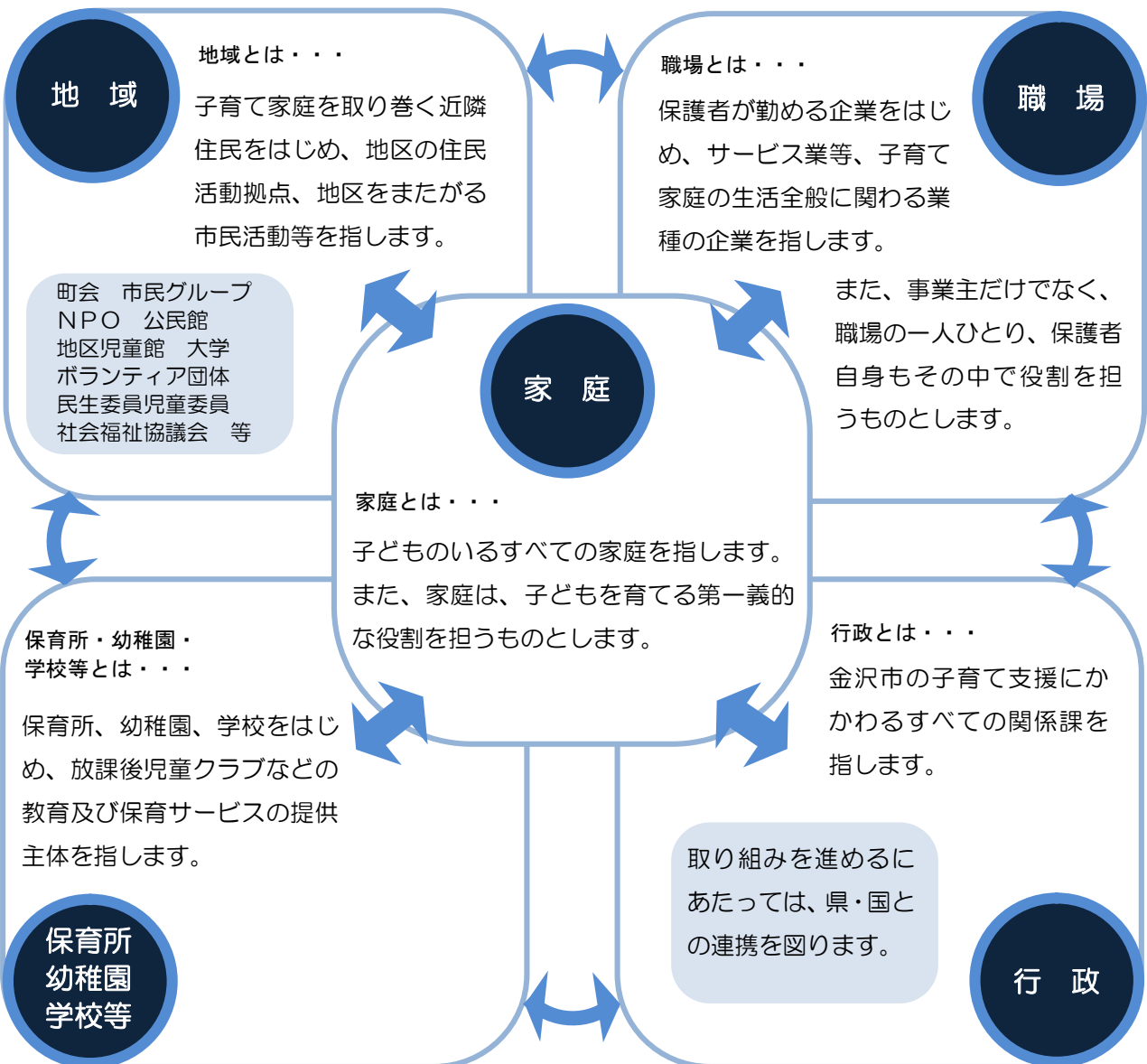




# 8

## 取り組み姿勢のイメージ

私たち一人ひとは、家庭をはじめ、地域や職場など、社会のあらゆる主体に関わりを持ちながら生活を営んでいます。本計画の理念である「みんなで育む 子どもの笑顔 子育ての喜びが実感できるまち金沢」を実現するためには、行政の取り組みを着実に推進していくことはもちろん、私たち一人ひとりが、家庭、地域、保育所・幼稚園・学校、職場においてそれぞれ役割を認識し、一体となって取り組みを進めていくことが望めます。そのため、本計画では、家庭、地域、保育所・幼稚園・学校、職場、行政それぞれの役割を「わたしの役割・みんなの役割」として定め、それらの周知を図ることで、社会全体による子育て支援を進めていきます。



次ページからの「Ⅱ 施策の展開」で言及しているアンケートは、特にことわりのない限り、金沢市こども福祉課が平成 21 年に実施した「次世代育成支援に関するアンケート」を指します。

アンケート概要については「Ⅳ 資料」の「4 ニーズ調査結果」(P130～P144) をご覧ください。



Ⅱ

施策の展開

# 基本方針 1

## 親と子どもが心豊かに社会と向きあえる 子育て環境をつくる

### 基本施策1 子育てに対する意識の向上 ..... P13

- (1) 親子が向きあう時間を大切にする意識の醸成
- (2) 子育て家庭を取り巻く人たちの意識の醸成

### 基本施策2 地域の子育て支援施策の充実 ..... P16

- (1) 親子のふれあい、社会参加の推進
- (2) 子育て支援拠点の機能の充実
- (3) 緊急時などの一時的な保育サポートの充実

### 基本施策3 効果的な子育て情報の提供 ..... P21

### 基本施策4 子育てにかかわる人材育成 ..... P24

- (1) 子育て支援ネットワークづくり
- (2) 子育て支援者の育成・

### 基本施策5 児童虐待防止体制の充実 ..... P27

### 基本施策6 特に配慮を必要とする家庭への支援の充実 ..... P30

- (1) ひとり親家庭への経済的支援、自立支援
- (2) 特に配慮を必要とする子育て家庭への経済的支援
- (3) 社会的養護の充実と自立支援

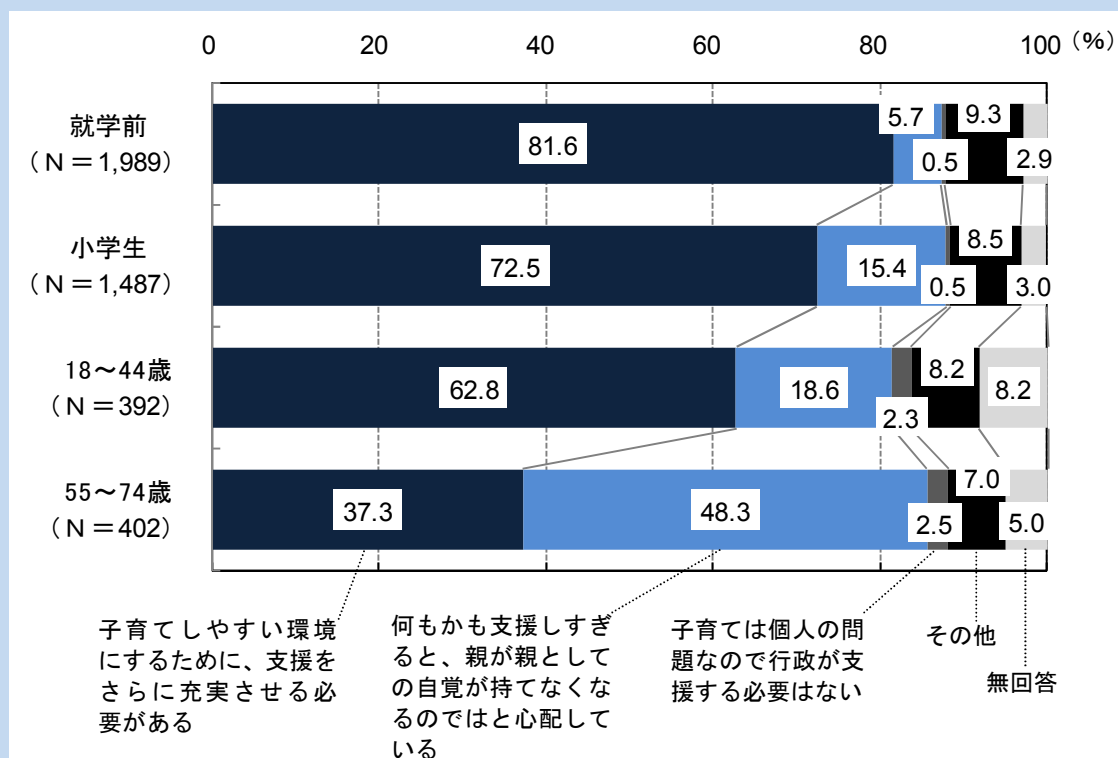
## 基本施策1 子育てに対する意識の向上

### 現状と課題

本市では、楽しくいきいきと子育てができる環境を目指し、様々な子育て支援を行ってきました。しかし、子育て支援の関係者等からは、「親子のコミュニケーションが不足しているのでは」という声や「親の目が子どもに向いていないように感じる」という声が多く聞かれるようになってきました。「次世代育成支援に関するアンケート」によると、子育て支援に対して世代による意識の違いがみられます。こうした背景には経済状況の変化や核家族化、共働き世帯の増加など、様々な要因が考えられます。

今後は、親と子が豊かな時間を共有できるよう、親だけでなく、子育て家庭を取り巻く人々に対しても理解を求め、社会とかわり合いながら子育てできる環境づくりが必要です。

●●行政が行っている子育て支援について<就学前児童保護者・小学生児童保護者・未婚又は既婚で子どものいない18歳以上45歳未満の市民・55歳以上75歳未満の市民>●●



出典：「次世代育成支援に関するアンケート」（金沢市）

家庭

○子育ての喜びをかみしめ  
ましょう。

子育て中の  
お父さん・お母さんの声※1

- 子どもがとにかく、かわいい。愛しい存在。
- 特別な何かではなく一日一日の生活自体が子どものおかげで豊かになっていると思う。
- 子育てはすごく大変だけど自分自身も成長できるように思える。
- 祖父母が喜んでくれている。
- 地域の人が温かく見守ってくれるのを感じる。

※1 「次世代育成支援に関するアンケート」より

地域

- 子どもは地域の「宝」です。みんなで育てる意識を持ち、良いことをしたときは積極的に誉め、必要なときは遠慮せず叱りましょう。
- 地域の親に子育て経験を伝えていきましょう。
- 核家族・転勤族等の人たちに地域交流の楽しさをアピールしましょう。

職場

- 子育てに関する企業内研修を実施しましょう。
- 地域が行う子どものための活動に対して、企業が有する施設を開放するなど、地域社会の一員として積極的に協力しましょう。
- 職場の親睦会や互助会などを通じて、子育てを支援する活動を盛り上げましょう。

保育所  
幼稚園  
学校等

- 親が子どもとのかかわり方や家庭の大切さを学ぶことができる機会や場を提供しましょう。
- 親や地域の生涯学習活動等に、保育や教育の専門性を活かし、積極的にかかわりましょう。

行政

施策の方向性  
P15

## 施策の方向性

### (1) 親子が向きあう時間を大切にできる意識の醸成

母親及び父親を対象とした子育てに関する講座や教室の開催などにより、親と子が心豊かに向きあう時間の大切さについて啓発を行います。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P74

- |       |                        |
|-------|------------------------|
| No. 1 | 生命（いのち）の絆「緒つつみ」事業      |
| No. 2 | “このまち”赤ちゃん夢ギフト         |
| No. 3 | かなざわ子育て夢フォーラム          |
| No. 4 | 子育てファミリーカレッジ           |
| No. 5 | 家庭教育学級                 |
| No. 6 | かなざわ親塾                 |
| No. 7 | 子育てネットワークセミナー          |
| No. 8 | ふれあい親子読書講座             |
| No. 9 | 金沢子育て夢ステーションにおける父親育児教室 |
| No.10 | 父と子のふれあい教室             |

#### 生命（いのち）の絆 「緒つつみ」事業

金沢に生まれた赤ちゃんの誕生を祝うとともに、生命の絆を再確認するため、へその緒を包む二俣和紙（緒つつみ和紙）にメッセージを添えて送ります。

#### “このまち”赤ちゃん 夢ギフト

金沢に生まれた赤ちゃんの誕生を祝うとともに、親子のふれあいの大切さを伝えるため、育児経験者や専門家のメッセージを添えて記念品を贈ります。

### (2) 子育て家庭を取り巻く人たちの意識の醸成

子育てを社会全体で支えることができるよう、子育てや子育て家庭についてすべての市民の理解を深める啓発を行います。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P75

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| No.11 | 子ども週間普及促進事業       |
| No.12 | 「家族の絆」フォトコンクールの開催 |
| No.13 | ゆめまちづくり活動支援事業     |
| No.14 | 男女共同参画出前講座        |

## 基本施策2 地域の子育て支援施策の充実

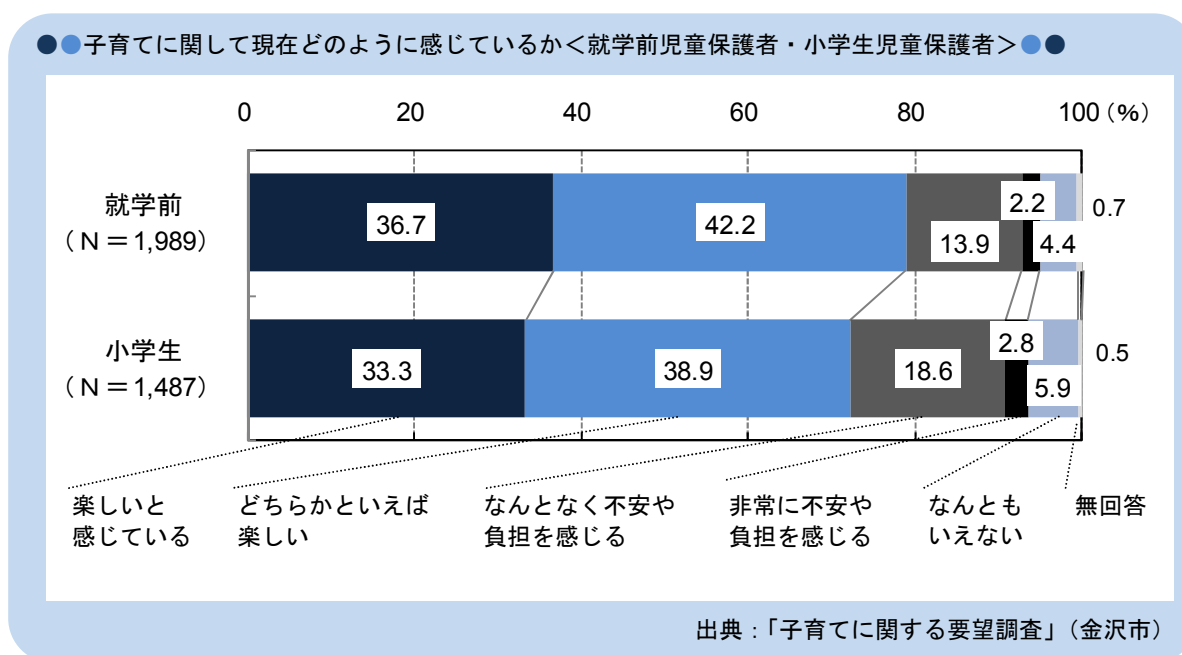
### 現状と課題

核家族化や周囲とのつながりが希薄化している中、子育てに不安や負担を感じている親が少なくありません。「子育てに関する要望調査」によると、子育てに関して楽しいと感じている人が多い一方で、「なんとなく不安や負担を感じる」「非常に不安や負担を感じる」と回答した人を合わせると、就学前で1割以上、小学生で2割以上となっています。（下図参照）

そうした中で、親同士が気軽に交流しながら情報交換や相談ができる場は、子育ての不安や負担を軽減するためにも非常に重要です。本市では、「金沢こども広場」をはじめ、保育所・幼稚園、小学校、児童館、公民館等を地域の身近な子育て支援拠点の場として位置づけ、「金沢子育て夢ステーション」「子育てサロン」等の事業を展開し、妊産婦や親子が気軽に交流や子育てに関する相談などを行える機会を提供しています。また、ファミリーサポートセンター事業では、会員同士の支えあいによる子育て支援活動が行われています。

今後は、親子が心豊かに向きあう時間を確保するため、親子のふれあいを促進する事業を充実していく必要があります。また、親が子育て支援の受け手としてだけでなく、支援の担い手として役割を持つことで、社会とのつながりが持てるよう、親の自主的な子育て支援活動を促進していくことが必要です。

また、親の病気など緊急時に子どもを一時的に預けられるサービスのニーズが高まりをみせており、今後、保育所の一時預かりやファミリーサポートセンター等、多様なサポートを展開していきます。



家庭

○子育てを通じて周囲の人とふれあいましょう。

子育て中のお父さん・お母さんの声※2

- 私だけでなく、夫も小学校の父親クラブの活動に参加することにより、交遊関係が広がり、学校にも親近感を持つようになった。
- 子どもを通して世界が広がった。(学校関係、友人、町会行事など)負担もあるが楽しみもある。
- 近所の人とお付き合いが増えた。たくさんの人に声をかけてもらえるのがうれしい。

※2 「次世代育成支援に関するアンケート」より

地域

- 地域に「人」「情報」の集まる場をつくりましょう。
- 地域の子育てサークル等を支援しましょう。
- 子育てが落ち着いた人や退職をした人は、地域の子どもに関心を持ち、子育て支援活動に参加してみましょう。  
(ファミリーサポートセンター提供会員など)
- 近所同士で子どもを預かりましょう。

職場

- 子どもの病気など、緊急時には従業員が帰宅できるような職場づくりを進めましょう。
- これから親になる人や親になったばかりの人は、仕事と育児の両立のコツを職場の先輩パパ・ママと共有しましょう。

保育所  
幼稚園  
学校等

- 「金沢子育て夢ステーション」等の充実を図りましょう。

行政

施策の方向性  
P18～P20

## 施策の方向性

### (1) 親子のふれあい、社会参加の推進

様々な体験活動を通して、親と子がふれあうことのできる機会を充実します。また、子育て家庭が社会とのつながりを感じることができるよう、社会参加の場を提供します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P76

- |       |                  |
|-------|------------------|
| No.15 | かなざわ子育て虹色クーポン    |
| No.16 | 文化施設利用促進事業       |
| No.17 | 「はじめまして絵本」事業費    |
| No.18 | おはなし会            |
| No.19 | 初めての本との出会い事業     |
| No.20 | 親子自然体験塾          |
| No.21 | フィッシャーズ          |
| No.22 | 親子のふれあい・出会い交流事業  |
| No.23 | こどもスポーツ週間親子交流事業  |
| No.24 | おやこの伝統食教室        |
| No.25 | 近江町交流プラザちびっこ広場事業 |
| No.26 | かんがるー教室          |
| No.27 | かるがも教室           |
| No.28 | おもちゃ病院           |

#### かなざわ子育て虹色クーポン

金沢市の子育て支援策のPRと親子のふれあいのきっかけづくりとなるような子育てサービスや文化・スポーツ施設の利用券等を配布します。

#### 「はじめまして絵本」事業費

3か月健康診査時にブックスタートサポーターを図書館から派遣し、保護者と赤ちゃんに絵本を読み聞かせ、絵本を手渡します。図書館で読み聞かせ、わらべ歌の紹介、子育てアドバイスを行います。

### (2) 子育て支援拠点の機能の充実

子どもの健全育成を一貫して推進する「教育プラザ富樫」を充実するとともに、「金沢こども広場」など親子が集える中核的な子育て支援拠点の機能を充実します。また、「金沢子育て夢ステーション」や「子育てサロン」など、ベビーカーを押して気軽に行けるところに保護者を支援する場や子どもたちの遊び場の機能を充実します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P78

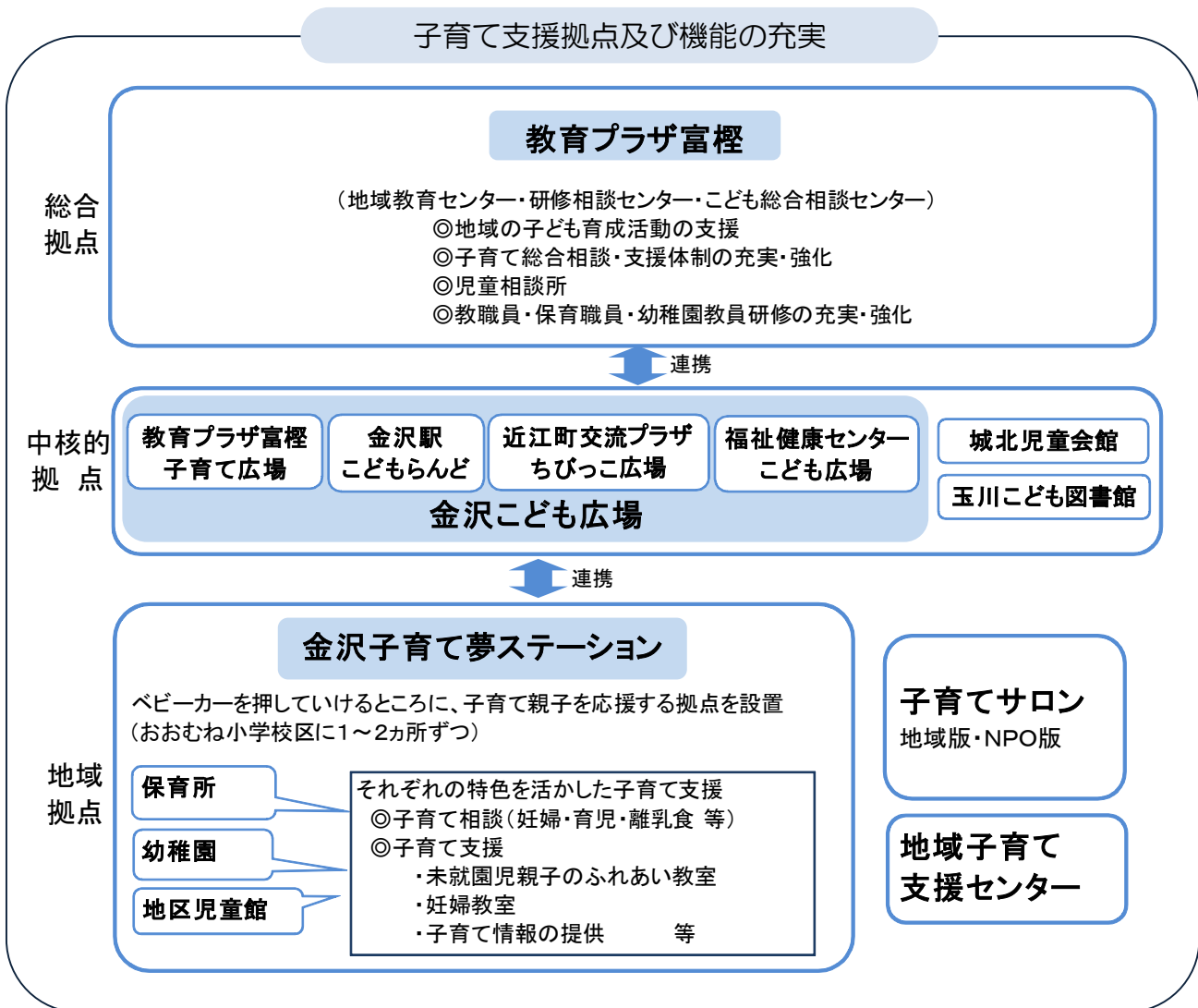
- |       |                 |
|-------|-----------------|
| No.29 | 金沢こども広場事業の充実    |
| No.30 | 金沢子育て夢ステーションの設置 |
| No.31 | 子育てサロンの充実       |
| No.32 | 地域子育て支援センター     |
| No.33 | 地区児童館事業の充実      |



■具体的な取り組み■

詳細記載： P79

- No.34 まちなか子育て支援事業
- No.35 都市公園の整備
- No.36 児童公園の整備
- No.37 幼児用徒渉池（プール）の開設
- No.38 教育プラザ富樫における各種相談
- No.39 保育所の巡回相談の充実
- No.40 金沢子育て夢ステーションにおける相談
- No.41 子育てホットライン
- No.42 子育て支援総合コーディネート事業



### (3) 緊急時などの一時的な保育サポートの充実

冠婚葬祭、保護者の病気など緊急時や、保護者のリフレッシュ等の際に子どもを一時的に預かるサポートを充実します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P80

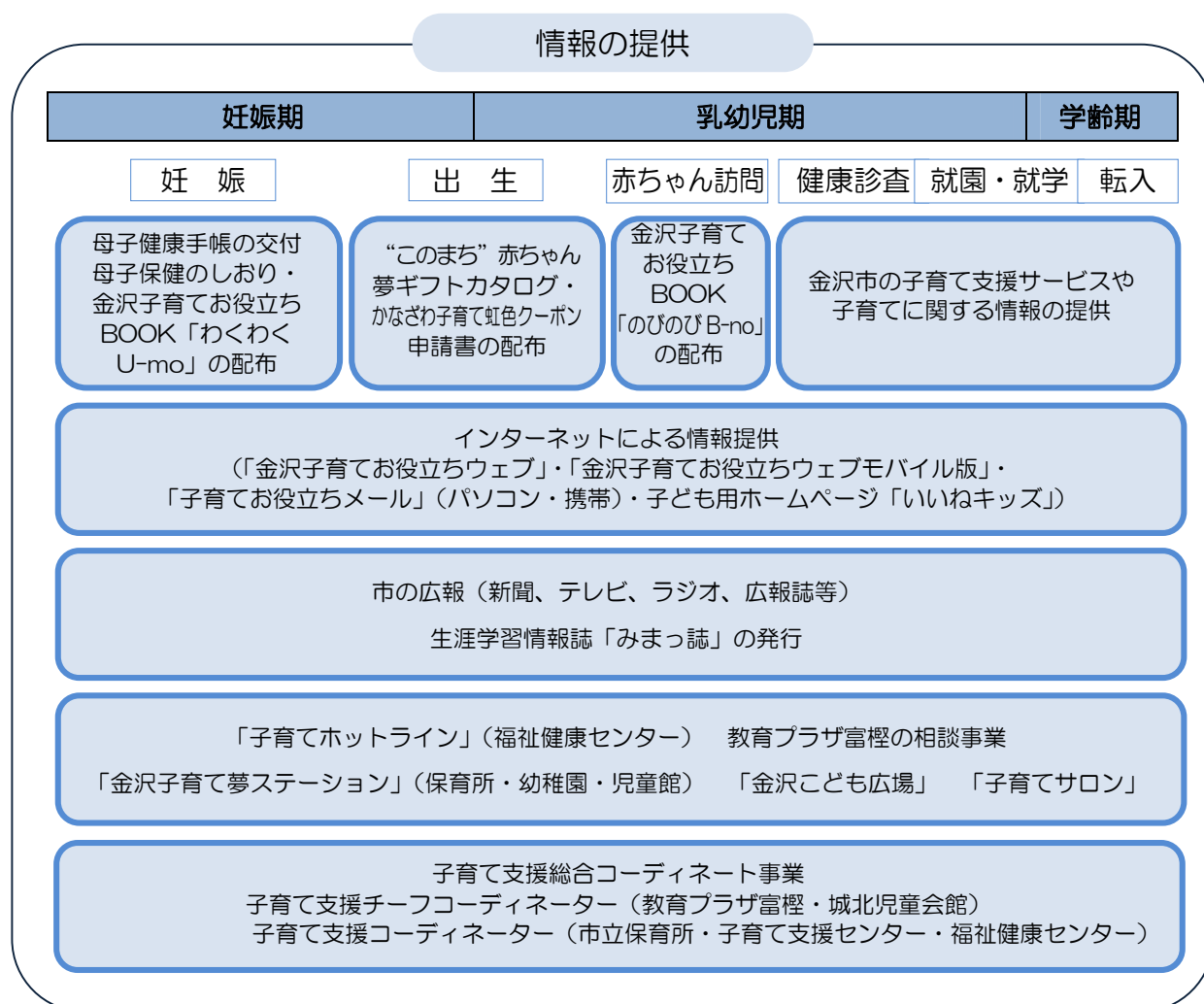
- |       |                    |
|-------|--------------------|
| No.43 | 一時預かり              |
| No.44 | 休日一時預かり            |
| No.45 | 児童ショートステイ          |
| No.46 | ファミリーサポートセンター事業の充実 |
| No.47 | イベント併設ミニ保育室        |
| No.48 | 公共施設における保育サービスの推進  |

## 基本施策3 効果的な子育て情報の提供

### 現状と課題

子育てをしている親にとって、必要な子育て情報がわかりやすく提供されていること、それがいつでも入手できることは心強い支援となります。本市では、現在多様な子育て支援サービスを展開しており、それらのサービスについて、あらゆる媒体を通して情報提供を行っています（下図参照）。しかし一方で、それらのサービスを知らない親、情報をどのように入手すればよいかわからないという親も少なくありません。そのため、親が必要としている情報をすべての家庭にもれなく行き渡らせるための情報提供体制の充実が必要です。

多くの母親と接する機会となる母子健康手帳交付時や妊婦健康診査・乳幼児健康診査時等、子育て情報を提供するタイミングも含めて情報提供体制を検討していく必要があります。また、子育て支援サービスや制度について、情報は入手できても、いざというときにどのように活用すればよいかわからない親に対してアドバイスを行うなど、「子育て支援コーディネーター」の充実が求められています。



## 家庭

- 様々な活動に参加して子育て仲間をつくり、子育てに関する情報を積極的に集めましょう。
- サービスに関して悩んだら「子育て支援コーディネーター」のアドバイスを受けましょう。

### まずはここから…

市のHP 「金沢子育てお役立ちBOOK」  
「金沢子育てお役立ちウェブ」  
「子育てお役立ちメール」

## 地域

- 地域に「人」「情報」の集まる場をつくりましょう。
- 地域の親に子育て情報を提供しましょう。

### まずはここから…

「子育てサロン」

## 職場

- 職場の支援・制度について従業員に積極的に伝えましょう。
- 「子育てお役立ちメール」に登録しましょう。
- 従業員に子育て情報を提供しましょう。

### まずはここから…

職場の支援・制度  
行政の支援・制度

## 保育所 幼稚園 学校等

- 適切な保育サービス・教育を実施するとともに、その情報提供に努めましょう。
- 子育て支援者の一員として情報収集に努めましょう。

### まずはここから…

「金沢子育て夢ステーション」

## 行政

施策の方向性  
P23

## 施策の方向性

保護者が多様な子育て支援サービスを有効に活用できるよう、また、必要なときに必要な情報を得ることができるよう、効果的な情報提供に努めます。

### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P81

No.42	子育て支援総合コーディネート事業（再掲）
No.49	子育て総合情報誌の充実
No.50	子育てお役立ちメール
No.51	インターネット、携帯電話を活用した情報提供
No.52	様々な機会・場所での情報提供

### 金沢子育てお役立ちお役立ちBOOK

・・・「わくわくU-mo」「のびのびB-no」

市民グループに委託し、きめ細かいサービスや情報を掲載した子育て総合情報誌を発行します。

妊娠から出産時の情報は、母子健康手帳交付時に配布します。

・安心出産編「わくわく U-mo（ウーモ）」

出産から育児期の情報は、新生児の全戸訪問（元気に育て！赤ちゃん訪問）時に配布します。

・すくすく子育て編「のびのび B-no（ビーノ）」

## 基本施策4 子育てにかかわる人材育成

### 現状と課題

親子が地域社会の中で共にふれあい、支えあいながら暮らすことは、子どもの健やかな育成につながることはもちろん、地域の活性化につながり、さらにそれが親と子の時間をより豊かなものにするという、「育ちあいの循環」を生みだします。

しかし、「子育て支援に関する意識調査」によると、現在地域活動に参加している人のうち、町会・婦人会・老人クラブの活動に参加しているのは7割以上、子育て支援に関する活動は1割未満となっています。一方で、調査対象者全体の3割近くが、「地域に小さな子どもたちと遊びやふれあいができる場所があれば参加するか」について、「参加する」と回答しています。（下図参照）

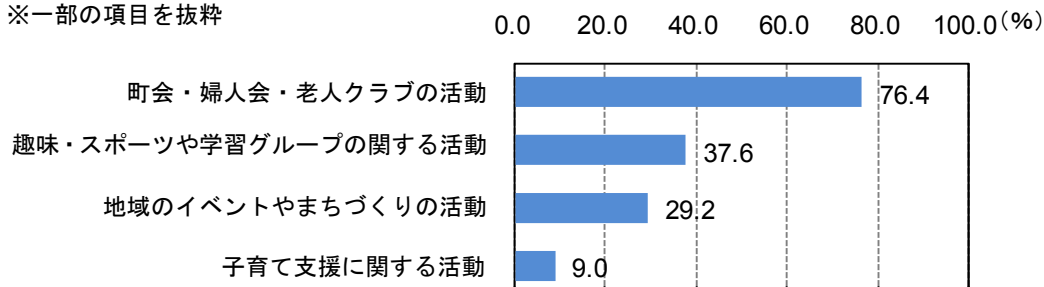
今後、団塊の世代の退職にともない、地域活動への参加が増加することが予想されます。こうした地域の人々の活力を地域での子育て支援につなげていくためのしくみづくりが必要です。

また、親子が地域で豊かな時間を共有することで、親・子ども・地域がともに育ちあう社会を目指し、地域で活動する団体やボランティア、子育てに関する各関係機関が連携した子育て支援のネットワークづくりを促進するとともに、子育て支援者を育成していく必要があります。

#### ●●現在参加している活動（町内活動や地域活動に参加している人）＜55歳以上75歳未満の市民＞●●

(N=178)

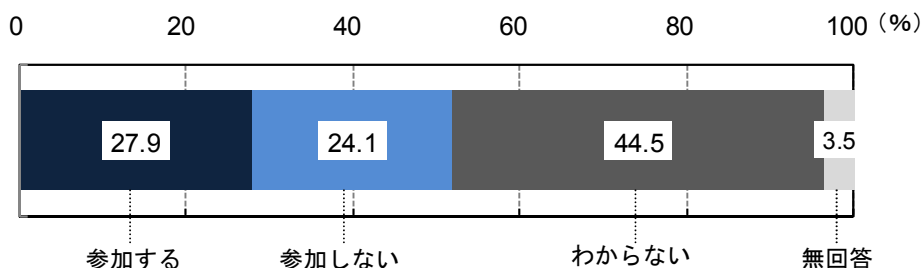
※一部の項目を抜粋



#### ●●地域に小さな子どもたちと遊びやふれあいができる場所があれば参加するか

＜55歳以上75歳未満の市民＞●●

(N=402)



出典：「子育て支援に関する意識調査」（金沢市）

## 家庭

- 親自身が、自らの子育て経験を活かし、地域の子育て支援者になりましょう。
- 地域で子どもや子育て家庭と交流する機会に積極的に参加しましょう。

## 地域

- 子どもは地域の「宝」です。みんなで育てる意識を持ち、良いことをしたときは積極的に誉め、必要なときは遠慮せず叱りましょう。
- 地域で子どもや子育て家庭と交流する機会に積極的に参加しましょう。
- 特に子育てが落ち着いた人や退職をした人は、地域の子どもに関心を持ち、子育て支援活動に参加してみましょう。


## 職場

- 子育てに関する団体やかかわる人への支援に努めましょう。
- 地域のイベントや行事への積極的な参加を従業員に奨励しましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- 子育てサークルや子育て支援団体に活動の場を提供しましょう。
- 親に地域の子育て支援活動の情報を提供しましょう。

## 行政



施策の方向性  
P26

### (1) 子育て支援ネットワークづくり

子育て市民グループに活動の場を提供するなど子育てを支え合う仲間づくりを推進するとともに、子育てを支援する施設・団体の各地域単位におけるネットワーク化を図ります。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P82

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| No.53 | 子育て市民グループの活動の場の提供        |
| No.54 | 子育てサロン、金沢こども広場スタッフの交流の促進 |
| No.55 | 母親クラブの活動支援（地域組織活動育成クラブ）  |
| No.56 | 乳幼児を育てる地域子育てネットワークづくりの検討 |
| No.57 | 金沢市保育所・幼稚園連絡協議会          |

### (2) 子育て支援者の育成

身近な地域における子育て支援を推進するため、支援に携わる人たちの養成や資質の向上を図ります。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P82

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| No.58 | 保育士・幼稚園教諭等の研修の充実          |
| No.59 | 児童館厚生員、児童クラブ指導員研修制度の充実    |
| No.60 | 主任児童委員研修の充実               |
| No.61 | 子育てサロン、金沢こども広場スタッフの研修の充実  |
| No.62 | 地域子育て応援隊の派遣               |
| No.63 | 子育て地域人材養成事業（家庭教育サポーターの養成） |
| No.64 | 地域子育て人材育成事業               |
| No.65 | 中高年齢者子どもサポーター育成事業         |
| No.66 | 金沢こども料理塾サポーター養成講座         |
| No.67 | フレッシュ学生まちなかサロンの実施         |



## 基本施策5 児童虐待防止体制の充実

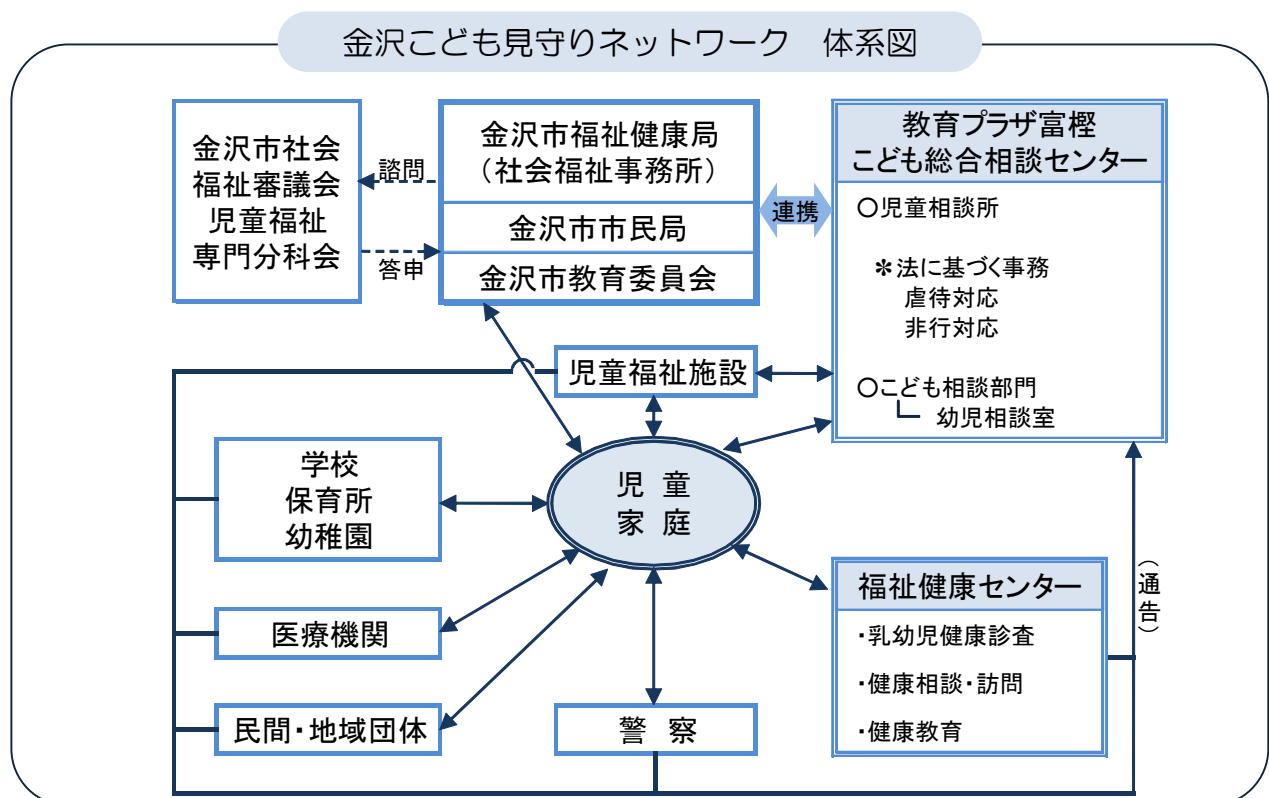
### 現状と課題

わが国では、近年、児童虐待により子どもの尊い生命が奪われるなど、重大な事件が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。また、身体的虐待だけでなくネグレクト（養育放棄）や心理的虐待も多く、親が自覚しにくいものや周囲が発見しづらいことが、対応を一層困難とさせています。

児童虐待が増加している背景として、相談する相手がなく孤立感を抱えている親や、子どもとの接し方がわからない親の増加など、家庭の子育て力の低下のほか、生活困窮や家庭内の不和などを原因として子育てが十分に行われない家庭が増えたことなどが考えられます。虐待をしてしまう親は地域の中で孤立していることが多く、早期発見・早期対応につなげるためには関係機関との連携だけでなく、地域の住民による見守りが重要となります。

本市では、中核市として初めて児童相談所を設置し、虐待相談の窓口を一元化して対応の迅速化を図りました。また、市民にもっとも身近な行政機関としての特性を活かし、金沢こども見守りネットワーク（金沢市要保護児童対策地域協議会）により地域や関係機関との密接な連携のもと、虐待防止に取り組んでいます（下図参照）。

今後も引き続き、関係機関の連携を強化するとともに、すべての市民に対し虐待防止に関する啓発を行い、全市的な見守り・支援体制の充実を図ることが必要です。また、虐待を受けた子どもについては、その後の心身の健全な育成をサポートする体制の整備が必要です。



## 家庭

- 子どもとのかかわり方に困ったら、こども総合相談センターに相談しましょう。
- 子育ての悩みや不安をなんでも話しあえる仲間をつくりましょう。

## 地域

- 地域に孤立した家庭がないよう、日頃から見守り、声をかけましょう。
- 地域の子どもの表情やけがなどで気になることがあればこども総合相談センターや警察に相談しましょう。
- 地域の親が気軽に相談できる相手になりましょう。


## 職場

- 子育て中の従業員に理解を示し、働きやすい職場環境づくりをすすめましょう。
- 従業員の子育てに関する相談は積極的に受けましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- 虐待の早期発見・早期対応に努め、こども総合相談センターとの連携を強化しましょう。

## 行政



施策の方向性  
P29

## 施策の方向性

児童虐待防止のため、児童相談所の機能や「金沢こども見守りネットワーク」の充実を図るとともに、虐待発生予防のための子育て支援施策を積極的に推進します。また、子どもにとって良好な家庭環境を整えるため、DV（配偶者からの暴力）等への対策を推進します。

### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P84

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| No.68 | 児童相談所における虐待対応       |
| No.69 | 児童相談所における24時間電話対応   |
| No.70 | 金沢こども見守りネットワーク      |
| No.71 | 児童虐待防止対策推進事業        |
| No.72 | 虐待対応研修              |
| No.73 | 児童家庭支援センター事業        |
| No.29 | 金沢こども広場事業の充実（再掲）    |
| No.30 | 金沢子育て夢ステーションの設置（再掲） |
| No.31 | 子育てサロンの充実（再掲）       |
| No.74 | 安心出産育児支援ネットワーク事業    |
| No.75 | 産後うつ病スクリーニングからの支援   |
| No.76 | 元気に育て！赤ちゃん訪問事業      |
| No.77 | 女性相談室               |
| No.78 | DV等対策費              |

## 基本施策6 特に配慮を必要とする家庭への支援の充実

### 現状と課題

近年の厳しい経済状況は子育て家庭にも暗い影を落としています。親の所得減少や失業など、経済的に深刻な問題を抱える家庭が増加しており、養育費や医療費が大きな負担となっています。親の所得格差が子どもの教育格差へとつながるなど、子どもの将来にまで影響を及ぼすことも危惧されます。

また、本市の離婚件数は、近年は800件前後で推移していますが（下図参照）、児童扶養手当受給者数は年々増加傾向となっています。（資料編P126参照）

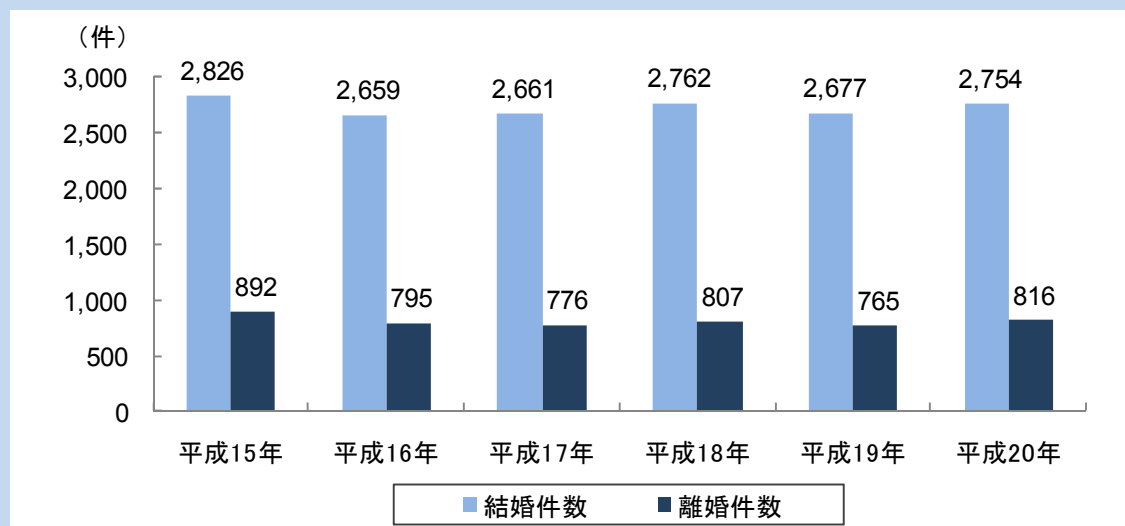
本市では、これまでひとり親家庭に対する経済的支援及び生活支援等の自立支援を行うとともに、特に配慮を必要とする子育て家庭に対して、子育ての負担軽減のための様々な支援を実施してきました。

ひとり親家庭や親が失業している家庭などについては、今後、経済的支援及び就労支援、親及び子どもの心のケアなど、総合的できめ細かな支援を行っていく必要があります。また、配慮が必要な子育て家庭への経済的支援の充実が必要です。

一方、家庭での養育困難や児童虐待など様々な理由で施設や里親のもとで暮らす子どもに対しても、その生活の安定と自立に向けた支援など社会的養護を充実する必要があります。

そして、これらの支援については、子育て家庭や子ども自身のニーズなどを十分に把握したうえで、支援内容を随時検討していく必要があります。

●●結婚・離婚件数の推移●●



出典：金沢市福祉健康局「衛生年報」

## 家庭

- 子育て家庭は行政の経済的支援制度の情報を積極的に集めましょう。

まずはここから…

ひとり親家庭・寡婦のためのライフページ  
金沢子育てお役立ち BOOK

## 地域

- 子育て家庭が地域から孤立することがないように声をかけましょう。
- 地域で経済的困難を抱えている家庭の相談にのり、行政の支援制度の情報を提供しましょう。
- その子どもが地域で健やかに育つよう支援しましょう。
- 地域にある児童福祉施設との交流の機会には、積極的に参加しましょう。

## 職場

- 子育て中の従業員に理解を示し、働きやすい職場環境づくりをすすめましょう。
- 特にひとり親家庭に配慮し、子育てと仕事が両立できるように支援しましょう。
- 公正・公平な雇用環境を保ちましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- ひとり親家庭や経済的困難を抱えている家庭等、特に配慮を必要とする家庭への相談・情報提供の体制を充実しましょう。
- その親・子どもの心のケアに取り組みましょう。
- 児童福祉施設に入所している子どもについて、施設と連携してきめ細やかな配慮をしましょう。

## 行政

施策の方向性  
P32～P34

### (1) ひとり親家庭への経済的支援、自立支援

経済的な支援や相談体制の充実により、ひとり親家庭の生活の安定を図る支援を行います。また、ひとり親家庭の自立を支援するため、職業訓練やひとり親を雇用した企業に対する奨励金の支給などを行います。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P85

No.79	児童扶養手当
No.80	ひとり親家庭の医療費助成
No.81	ひとり親家庭日常生活支援事業
No.82	母子自立支援員、父子相談員の設置
No.83	ほほえみ家族事業
No.84	ホームフレンドの派遣事業
No.85	ひとり親家庭情報交換事業
No.86	母子・寡婦福祉資金貸付制度
No.87	自立支援教育訓練給付金事業
No.88	高等技能訓練給付促進事業
No.89	母子寡婦自立支援事業
No.90	母子自立支援プログラム策定事業
No.91	ひとり親家庭・寡婦のためのライフページの配布
No.92	母子家庭の母等雇用奨励金
No.93	母子家庭の母等トライアル雇用奨励金

## (2) 特に配慮を必要とする子育て家庭への経済的支援

子育て家庭にかかる経済的負担を軽減するため、医療費などの助成を行います。

### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P87

No.94	小児慢性特定疾患医療給付
No.95	身体障害児育成医療給付
No.96	未熟児等養育医療費助成
No.97	妊娠高血圧症候群等療養援護費
No.98	母子の健康管理支援
No.99	多子世帯への保育料の軽減
No.100	私立幼稚園就園奨励費

### ●参考：子どもがいるすべての家庭への経済的支援●

詳細記載： P87

No.101	出産育児一時金
No.102	子育て支援医療費助成
No.103	乳児期予防接種費助成
No.104	幼児期予防接種費助成
No.105	保育料の軽減
No.106	子ども手当
No.107	子ども用品のリユースの推進
No.108	公立高校の授業料の無償化

### (3) 社会的養護の充実と自立支援

家庭での養育が困難になった子どもを、児童福祉施設や里親のもとで保護・養育する社会的養護を充実するとともに、その子どもの自立を支援します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P88

- |        |                  |
|--------|------------------|
| No.109 | 児童福祉施設及び里親への措置   |
| No.110 | 自立支援アドバイザーの派遣    |
| No.111 | 普通自動車運転免許取得費補助   |
| No.112 | 高校生クラブ活動助成       |
| No.113 | あったかファミリーお泊まり事業  |
| No.114 | 児童養護施設等の職員の研修    |
| No.115 | 児童養護施設等の基幹的職員の養成 |
| No.116 | 児童養護施設等のケアの質の向上  |
| No.117 | 里親委託の促進          |
| No.118 | 里親への支援           |



## 基本方針 2

### 仕事と生活が調和できる 環境をつくる

**基本施策 1** ワーク・ライフ・バランスの推進 ..... P36

- (1) 個人のライフスタイルに応じた仕事と家庭の両立支援
- (2) 企業の自主的な取り組みへの支援

**基本施策 2** 多様で弾力的な保育サービス等の充実 ..... P39

## 基本施策1 ワーク・ライフ・バランスの推進

### 現状と課題

国では、少子化の流れを変えるため、平成 19 年に「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が取りまとめられました。憲章では、就労による経済的自立が可能な社会、健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会、多様な働き方・生き方が選択できる社会を目指すため、企業や国民・国・地方公共団体等の関係者が果たすべき役割が掲げられています。

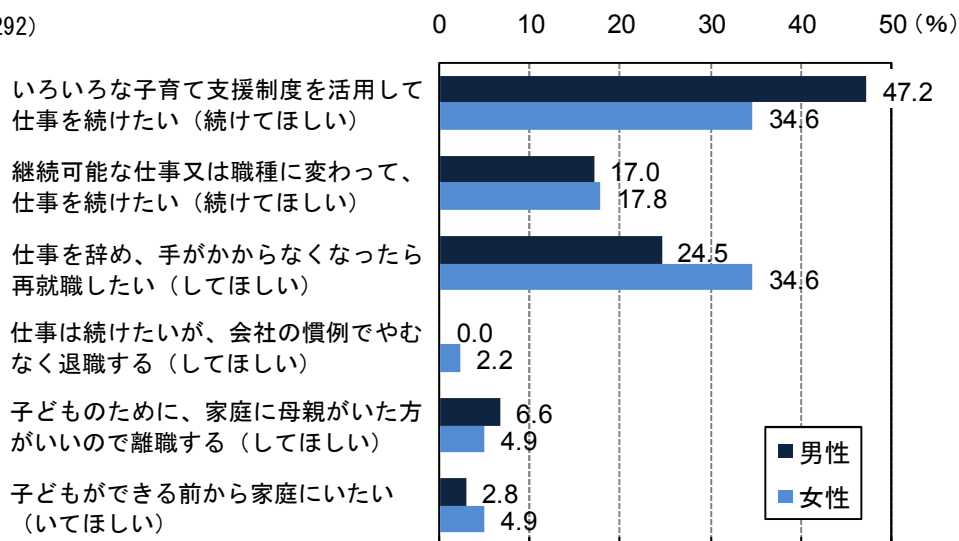
市内企業に対し実施した「ワーク・ライフ・バランスに関する調査」によると、「仕事と家庭の両立のために、企業は積極的に取り組むべきである」と回答した企業が約6割となっています。一方で、一般事業主行動計画の策定・届出状況は約3割、また、次世代育成支援対策推進法について知らなかったという企業は3割弱と、ワーク・ライフ・バランスの概念のもと、具体的な取り組みを実施している企業は少ない状況です。（資料編P143・144 参照）

また、「結婚・子育てに関する意識調査」によると、将来子どもを持ちたいと思う人で、子どもができたときの女性の働き方に対する希望は、仕事を続けたい（続けてほしい）人や離職して子育てに専念したい（専念してほしい）人等、様々であることが伺えます。（下図参照）

今後、仕事と生活について、それぞれの希望するバランスを実現できるよう、個人のライフスタイルに応じた両立支援や再就職支援等が求められています。また、社会全体で子育て家庭のワーク・ライフ・バランスの実現を応援できるよう、その概念をすべての市民に啓発していくことも大切です。そして、具体的なワーク・ライフ・バランスの実現にあたっては企業の協力が不可欠であることから、企業の自主的な取り組みについて、長期的かつ継続的に働きかけるとともに支援していくことが必要です。

- 子どもができた場合の就労について、女性はどのようにしたい（男性から見てどうしてほしい）か（子どもを持ちたいと思う人）＜未婚又は既婚で子供のいない 18 歳以上 45 歳未満の市民＞ ●●

(N=292)



出典：「結婚・子育てに関する意識調査」（金沢市）

## 家庭

- ワーク・ライフ・バランスの概念を理解し、仕事と生活の望ましいバランスについて家庭で話しあいましょう。
- 働いている親は、職場から早く帰宅するなど、子どもと向きあう時間を増やしましょう。
- 育児休業など職場の制度を活用しましょう。
- 家族みんなで子育てに協力しましょう。

## 地域

- ワーク・ライフ・バランスの概念を理解し、社会全体で子どもを育てていく必要性と地域の役割について認識を深めましょう。
- 地域の男女の固定的な役割意識を是正していきましょう。
- 地域の働いている親の子育てを支援しましょう。

## 職場

- ワーク・ライフ・バランスの概念を理解し、社会全体で子どもを育てていく必要性と企業の役割について認識を深めましょう。
- 一般事業主行動計画を策定しましょう。
- 育児休業・看護休暇など、子どもに関わる福利厚生制度の向上に努めましょう。
- 子育てや子どもの教育のために、休暇取得や定時帰宅ができる職場づくりを進めましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- 働く親を支援するための適切な保育サービスを提供しましょう。
- 男女ともに仕事と生活を両立し、協力して子育てをする大切さについての教育を充実しましょう。

## 行政

施策の方向性  
P38

### (1) 個人のライフスタイルに応じた仕事と家庭の両立支援

仕事と家庭が希望するバランスで両立できる環境づくりを支援するため、多様な働き方に関する啓発を行うとともに、女性の就業支援を行います。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P90

- No.119 勤労者育児・介護休業資金融資制度
- No.120 マザーズ再就職サポートサロン開設費

### (2) 企業の自主的な取り組みへの支援

企業向けセミナーの開催や優良企業の認証などにより、従業員が仕事と家庭を両立できる環境づくりのための企業の自主的な取り組みを促進・支援します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P90

- No.121 ワーク・ライフ・バランス推進事業
- No.122 子育てにやさしい企業の認証
- No.123 子育てにやさしい企業に対する支援
- No.124 次世代認定マーク（くるみん）の周知、取り組みの促進
- No.125 男性の育児休業の取得促進
- No.126 保育所等産休等代替職員配置支援事業
- No.127 正社員転換促進奨励金
- No.128 中小企業雇用安定化奨励金

## ワーク・ライフ・バランスって？

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことができないものです。その充実があってこそ、人生の生きがい、喜びは倍増します。

しかし現実の社会では、子どもが生まれれば仕事と育児の二者択一を迫られるなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が少なくありません。こうした状況が、人々の将来への不安や、豊かさが実感できないことの大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少にまでつながっているといえます。

そこで、多様なライフスタイルに合わせて多様な働き方を選べる「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現に向け、官民が一体となって取り組んでいくことが求められています。

## 基本施策2 多様で弾力的な保育サービス等の充実

### 現状と課題

本市においては現在、市全体の保育所定員に対して入所希望児童数が下回る状況が続いていますが、地域によっては入所が難しい状況がみられます。また、女性の社会進出や経済状況の悪化などを背景に、潜在的な保育ニーズは高まっており、とくに、育児休業復帰にあたる1歳児の保育ニーズは急増している状況です。今後も、女性の就労意欲の向上にともない、保育ニーズはますます高まることが予想されます。

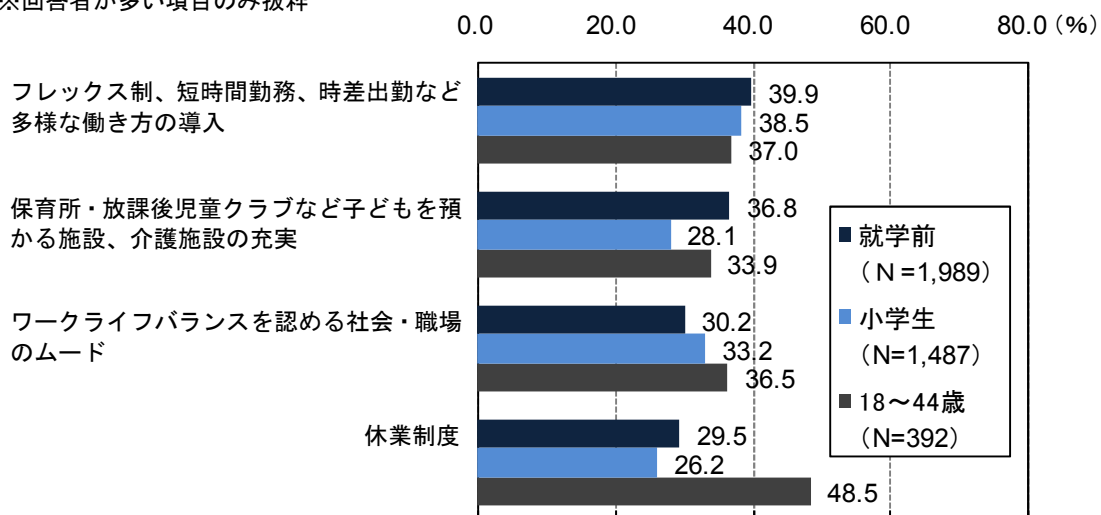
「子育てに関する要望調査結果」及び「結婚・子育てに関する意識調査」によると、ワークライフバランスを実現するために必要なことについて、就労環境の充実に関する回答と並んで「保育所・放課後児童クラブなど子どもを預かる施設、介護施設の充実」と回答した人が多くなっています。(下図参照)

子育て家庭が安心して仕事と子育てを両立できるためには、個々のニーズに応じた多様で弾力的な保育サービスを提供できる環境の整備が必要です。そのため、通常保育だけでなく、一時預かりやファミリーサポートセンター、放課後児童クラブなど、多様なサービスの提供体制について幅広く検討していく必要があります。

#### ●●ワークライフバランスを実現するために必要なこと

<就学前児童保護者・小学生児童保護者・未婚又は既婚で子供のいない18歳以上45歳未満の市民> ●●

※回答者が多い項目のみ抜粋



出典：「子育てに関する要望調査結果及び結婚・子育てに関する意識調査」（金沢市）

## わたしの役割・みんなの役割

### 家庭

- 必要になったときに自ら選択できるよう、どんな保育サービスがあるか把握しておきましょう。
- 本当に必要なサービスを適切に利用しましょう。

### 地域

- 地域の親に保育サービスの情報を提供しましょう。

### 職場

- 子育てや子どもの教育のために休暇取得や定時帰宅ができる雰囲気づくりに努めましょう。
- 子どもの病気など、緊急時には従業員が帰宅できるような職場づくりを進めましょう。

### 保育所 幼稚園 学校等

- 働く親を支援するための適切な保育サービスを提供しましょう。

### 行政



施策の方向性  
P41

## 施策の方向性

保護者の多様な働き方に応じ、適切な保育サービスの提供に努めます。

### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P91

- |         |                        |
|---------|------------------------|
| No.129  | 通常保育                   |
| No.130  | 延長保育                   |
| No.131  | 24 時間保育                |
| No.132  | 病児一時保育                 |
| No.133  | 夜間保育                   |
| No.134  | 休日保育                   |
| No.135  | 年末保育                   |
| No.136  | 児童トワイライトステイ            |
| No.137  | 私立幼稚園預かり保育推進助成事業       |
| No.138  | 放課後児童クラブの拡充            |
| No.46   | ファミリーサポートセンター事業の充実（再掲） |
| No.43   | 一時預かり（再掲）              |
| No.44   | 休日一時預かり（再掲）            |
| No.139  | 特定保育・家庭的保育（保育ママ）の検討    |
| No.140  | 認定こども園                 |
| No.141. | 保育所の改修                 |
| No.39   | 保育所の巡回相談の充実（再掲）        |

# 基本方針 3

## 金沢市を担う未来の親の育成と 若者の自立を支援する

### 基本施策1 次代を担う親の育成 ..... P43

- (1) 異年齢・世代間交流の推進
- (2) 思春期の心と体の健康づくり支援
- (3) 子どもの体験活動や情報提供の充実

### 基本施策2 よきパートナーとの出会いと生活自立の支援 ..... P47

- (1) 若い世代の交流の推進
- (2) 若い世代の自立のための就業支援



## 基本施策1 次代を担う親の育成

### 現状と課題

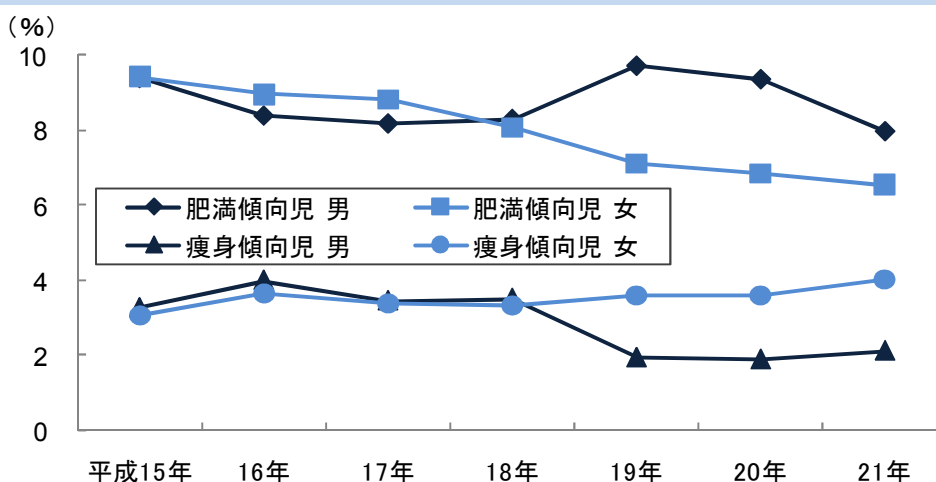
近年、少子化や周囲とのつながりの希薄化によって、小さな子どもとふれあう機会が少なく、子どもへの愛情や子育てに関する経験・知識が乏しいまま大人になる若者が増加しています。「結婚・子育てに関する意識調査」によると、子どもを持ちたいと思わない理由として、「子育てに自信がないから」と回答した人が最も多くなっています。（資料編P140参照）将来、子どもを生み育てることに不安を感じないよう、小中高生の頃から乳幼児との交流の機会を持ち、子育てについての理解を深めることが必要です。また、乳幼児だけでなく異年齢の児童・生徒との交流や地域の高齢者等との交流を深めることで、人を思いやる心を育てていくことが大切です。

本市では、保育所及び幼稚園での金沢子育て夢ステーション事業や子育てサロン、地域でのイベント等において、乳幼児と中高生との交流や異年齢児の交流、世代間交流の促進を図っています。今後も、学校等関係機関との連携を強化し、子どもたちが心豊かに成長できるよう働きかけていく必要があります。

さらに、次代の親となる子どもたちが豊かな人間性を養えるよう、様々な体験活動を用意していきます。また、金沢の豊かな歴史や独自の文化を活かした体験活動を通して、子どもたちが「金沢が好き」「将来も金沢に住みたい」と思うことができるよう、郷土愛を育成していきます。

また、思春期の子どもの健やかな育成のためには、心と体は切り離せません。本市でも極端に痩せている子どもや肥満の子どもが多く（下図参照）、どちらのケースも子どもは心に問題を抱えているという指摘もみられます。思春期は心と体のバランスがとりにくく、繊細な時期であることを周囲が理解し、心身の健全な育成をサポートする必要があります。

●●中学生体重過不足状況●●



※肥満傾向児、痩身傾向児は、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が±20%以上のものを指す。

出典：金沢市教育委員会「健康と体力」

## 家庭

- 家庭や社会のルールやマナーについて話しあい、大人が率先して行動しましょう。
- 子どもの関心事を大切に、意欲を伸ばす機会をつくりましょう。
- 地域活動に積極的に参加しましょう。
- 子育ての喜びを子どもに伝えましょう。
- 思春期の情緒不安定な子どもを理解し、見守りましょう。

## 地域

- 地域の伝統文化や地域行事などを子どもたちに伝えていきましょう。
- 地域の子どもに、地域の行事やイベントで役割を与え、経験を積ませましょう。
- 異年齢の子どもたちがふれあう機会づくりや参加を呼びかけましょう。
- 思春期の情緒不安定な子どもの心を理解し、見守りましょう。

## 職場

- 子どもの職場体験、見学会や説明会などの受け入れに積極的に応じましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- 「金沢市健康教育推進プラン」にもとづき健康教育に取り組みましょう。
- 金沢の「ひと」「自然」「伝統・文化」などの教育資源を教育活動に活かしましょう。また、大学との連携を進めましょう。
- 職業や進路にかかわる啓発的な体験を通して、生き方について自覚を深めるよう工夫しましょう。
- いじめ・不登校の未然防止に取り組みましょう。

## 行政

施策の方向性  
P45～P46

### (1) 異年齢・世代間交流の推進

保育所、幼稚園において、小中高生と乳幼児のふれあい教室を開催するなど、乳幼児とふれあう機会の拡大を図ります。また、子どもたちの集まる場の活用や行事等の実施により、年齢の異なる子ども同士あるいは子どもと地域の高齢者や大人たちとの交流を推進します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P93

- No.67 フレッシュ学生まちなかサロンの実施（再掲）
- No.142 木と遊ぶデザイン製作（地産児遊）
- No.143 保育所・幼稚園における乳幼児ふれあい教室の開催
- No.144 保育所・幼稚園における保育ボランティア等の受け入れの推進
- No.145 教育プラザ富樫における小中高生と幼児とのふれあい交流体験事業
- No.146 保育所における異年齢・世代間交流
- No.147 子どもふれあい入浴デー
- No.148 高齢者地域サロンにおける世代間交流
- No.149 善隣館活動の推進
- No.150 卯辰山公園健康交流センター千寿閣での世代間交流
- No.151 児童館フェスティバルの開催
- No.152 ふれあい・学ぶ・子どもを育む広域交流

### (2) 思春期の心と体の健康づくり支援

思春期の心と体の健康づくりのため、スポーツ活動の促進や喫煙・飲酒等の防止、エイズ等性感染症予防に関する啓発を推進します。また、不登校・引きこもり児童生徒に対する相談や居場所づくりなどの支援を充実します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P95

- No.153 ヘルスプロモーションの推進
- No.154 スポーツ活動等の充実
- No.155 性感染症予防（性教育）出前講座
- No.156 エイズ・性感染症相談および検査
- No.157 学校保健センターでの健康相談
- No.158 「心と学びの支援員」の派遣
- No.159 不登校児童生徒への支援

### (3) 子どもの体験活動や情報提供の充実

金沢の伝統文化と豊かな自然を活かし、子どもの豊かな感性や自然と共生する心、創造性を育む機会を幅広く提供するため、多様な自然体験・社会体験活動を充実します。また、情報誌やインターネットを通して、子どもたちの成長に有益な情報を提供します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P96

- |        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| No.160 | 金沢「絆」教育推進事業                       |
| No.161 | 金沢の伝統文化を体験する機会の提供                 |
| No.162 | 職人の技術やものづくりを体験する機会の提供             |
| No.163 | 金沢21世紀美術館や金沢美術工芸大学等における体験活動の機会の提供 |
| No.164 | 国際交流活動の機会の提供                      |
| No.165 | 環境活動の機会の提供                        |
| No.166 | 緑化活動の機会の提供                        |
| No.167 | 農業体験学習の機会の提供                      |
| No.168 | 宇宙や科学に関する体験学習の機会の提供               |
| No.169 | 職場体験学習の機会の提供                      |
| No.170 | 読書活動の推進                           |
| No.171 | 社会体験活動の機会の提供                      |
| No.172 | 各種少年団体への活動支援                      |
| No.173 | 情報発信推進事業（『みまっ誌』の発行）               |
| No.174 | 子どもHP「いいねキッズ」                     |
| No.175 | こども専用相談ダイヤル                       |
| No.176 | 城北児童会館での各種クラブ活動                   |

## 基本施策2 よきパートナーとの出会いと生活自立の支援

### 現状と課題

本市の20～30歳代の男女、いわゆる子育て世代の晩婚化及び未婚化は年々進行しています。（資料編P126 参照）「結婚・子育てに関する意識調査」によると、未婚者のうち、結婚願望は約9割の人が持っています。独身でいる理由については、男女ともに「自分に適した相手にまだめぐり会わないから」と回答した人が約半数でした。その他、男性では「経済的な理由から」も多くなっています。（下図参照）

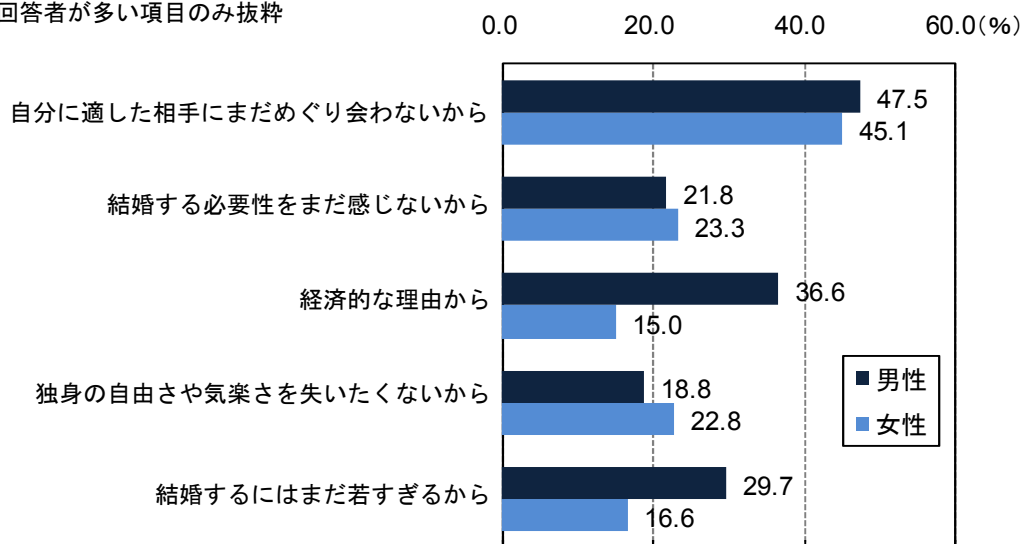
近年、男女ともにライフスタイルが多様化しており、また、人とコミュニケーションをとることが苦手な若者も増加しています。こうした背景から、男女の出会う機会が少なくなっていることが伺えます。さらに、経済状況の悪化により、経済的に自立することができない若者が増加していることも、未婚化・晩婚化に影響していると思われます。

こうした状況から、安心して若者同士が交流できる機会の充実が求められています。また、若者が経済的に自立できるよう、就労支援にも引き続き取り組んでいく必要があります。

●●独身でいる理由（未婚者）＜未婚又は既婚で子供のいない18歳以上45歳未満の市民＞●●

(N=296)

※回答者が多い項目のみ抜粋



出典：「結婚・子育てに関する意識調査」（金沢市）

家庭

○結婚し、子どもを持つ幸せ、子育ての楽しみについて、子どもに伝えていきましょう。

地域

○地域のイベントを開催するなど、若者同士が交流できる機会をつくりましょう。  
○結婚し、子どもを持つ幸せ、子育ての楽しみについて、地域の子どもに伝えていきましょう。

職場

○若者の雇用促進を図りましょう。  
○企業同士で交流イベントを開催するなど、若者の出会いの場をつくりましょう。

保育所  
幼稚園  
学校等

○職業や進路にかかわる啓発的な体験を通して、生き方について自覚を深めるよう工夫しましょう。

行政

施策の方向性  
P49

## (1) 若い世代の交流の推進

人生におけるより良い出会いが可能となるよう、地域活動等を通して若い世代同士の交流を促進します。

### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P98

No.177 元気なまち金沢リーダー支援事業

No.13 ゆめまちづくり活動支援事業（再掲）

## (2) 若い世代の自立のための就業支援

若い世代の自立に向け、事業主への雇用奨励金交付などを通じて、就業支援を図ります。

### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P98

No.178 安定雇用促進奨励金

No.179 産学交流人材定着促進事業

No.180 短期職場実習助成金

No.169 職場体験学習の機会の提供（再掲）

# 基本方針 4

## 子どもと家族の心と体の健康づくりを支援する

### 基本施策1 親と子の健康の確保 ..... P51

- (1) 妊娠・出産・育児の総合的支援
- (2) 食育の推進
- (3) 歯科保健事業の充実

### 基本施策2 小児医療体制の整備 ..... P55

- (1) 救急医療体制の整備
- (2) 事故予防と感染症対策の強化

### 基本施策3 発達の違いや障害のある子どもへの支援 ..... P58

- (1) きめ細かな相談・療育体制の充実
- (2) 日常生活支援の充実

### 基本施策4 不妊への支援の充実 ..... P61



# 基本施策1 親と子の健康の確保

## 現状と課題

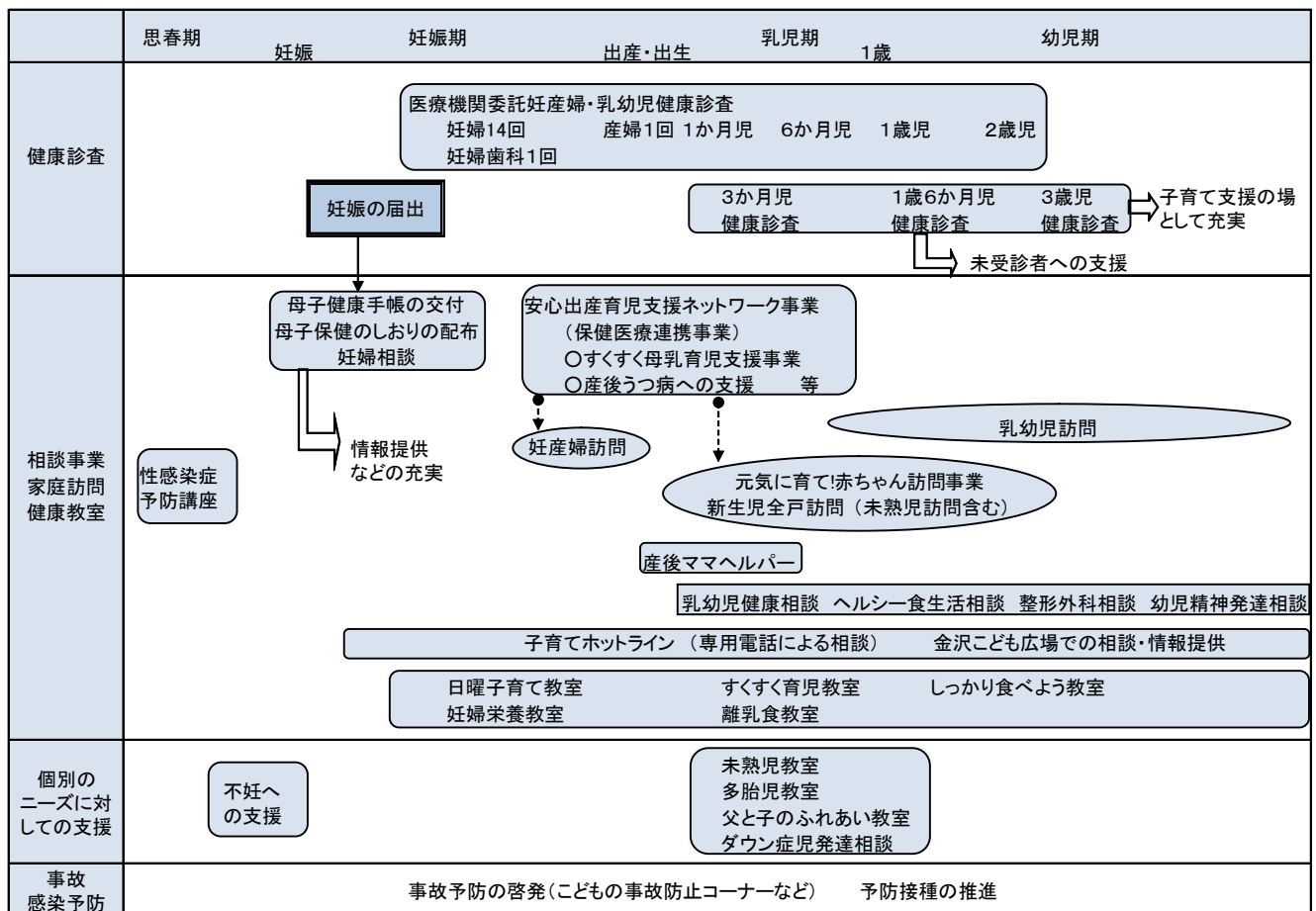
妊娠・出産期の女性は心身の状態が不安定になりやすく、とくに初めての場合は不安も大きいものです。そのため、母体の健康管理について正しい知識を持つことが必要です。

本市では、親子のライフステージに応じた母子保健事業を展開しています。こうした事業は慣れない環境で大きな不安を抱く子育て家庭への情報提供や相談の場としても有効です。

また、近年、多様な食生活を好みに応じて選択できるようになった一方で、家庭や地域の中で従来の食文化の継承が困難になりつつあります。幼少期からの食習慣の乱れや栄養の偏りが子どもたちの心と体の発達に大きな影響を与えています。

とくに乳幼児期は、子どもにとってその後の生活習慣を形成するうえで大切な時期のため、この時期に健康な生活習慣及び食習慣の基礎をつくるのが大切です。

### 金沢市の母子保健事業の概要



## 家庭

- 家族みんなで生活のリズムを整え、早寝早起きを心がけましょう。
- 家族一緒に食事をする時間をつくりましょう。
- 家族みんなで食の大切さを学び、旬の食材や地元産の食材を使って、栄養のバランスのとれた食事を心がけましょう。
- 子どもの歯磨き習慣をつくりましょう。

## 地域

- 日頃から妊婦や子どものいる家庭を地域で見守りましょう。
- 昔ながらの料理を子育て家庭に伝えていきましょう。
- 人が集まる時には分煙について配慮しましょう。

## 職場

- 従業員が働きながら安心して妊娠・出産・育児ができるよう配慮しましょう。
- 妊婦がいる職場では分煙について配慮しましょう。
- 飲食店など親子づれが多い場所は分煙に取り組みましょう。
- 飲食店などは地産地消を心がけましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- 「金沢市健康教育推進プラン(第二次)」にもとづき、健康教育に取り組みましょう。
- 給食や行事などを通して食育に取り組みましょう。

## 行政

施策の方向性  
P53～P54

### (1) 妊娠・出産・育児の総合的支援

安心して出産し、育児が行えるよう、健康診査や各種教室の開催、母子健康手帳交付時や健康診査時等の相談・情報提供、家庭訪問など、母と子の健康の支援を保健・医療・福祉が連携して行います。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P99

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| No.181 | 母子健康手帳の交付と母子保健のしおりの配布 |
| No.74  | 安心出産育児支援ネットワーク事業（再掲）  |
| No.182 | すくすく母乳育児支援事業          |
| No.183 | 妊産婦健康診査               |
| No.75  | 産後うつ病スクリーニングからの支援（再掲） |
| No.184 | 産後ママヘルパーの派遣           |
| No.185 | 日曜子育て教室               |
| No.186 | すくすく育児教室              |
| No.187 | 福祉健康センターにおける各種教室      |
| No.188 | ぱぱままきっずくらぶ            |
| No.189 | 医療機関委託による乳幼児健康診査      |
| No.190 | 福祉健康センターで行う乳幼児健康診査    |
| No.191 | 健康診査事業への心理相談員と保育士の配置  |
| No.192 | 健康診査事後指導の実施           |
| No.193 | 乳幼児健康診査未受診者への対応       |
| No.194 | 福祉健康センターにおける相談事業      |
| No.195 | 栄養相談                  |
| No.76  | 元気に育て！赤ちゃん訪問事業（再掲）    |
| No.196 | 妊婦栄養教室                |
| No.103 | 乳児期予防接種費助成（再掲）        |
| No.104 | 幼児期予防接種費助成（再掲）        |

## (2) 食育の推進

保育所・学校の給食や親子を対象とした食に関する教室など、食育の啓発を行い、食生活の改善を通して子どもの心身の健全育成を図ります。

### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P102

- No.197 乳幼児に対する食育の推進
- No.198 保育所の給食を通じた食育の推進
- No.199 学校給食を通じた食育の推進
- No.200 学校教育における食育の推進
- No.201 思春期における食育の推進
- No.202 食生活改善推進員の養成
- No.203 地元食材を使った朝食メニューの作成
- No.204 金沢こども料理塾
- No.205 食育広場普及推進事業
- No.206 「食育かなざわ」食べよう学ぼう推進事業

## (3) 歯科保健事業の充実

子どもたちのむし歯の予防など歯の健康を守るため、歯科健康診査や教室、個別指導など、歯科保健対策を強化します。

### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P104

- No.207 子どもの歯の健康づくり相談
- No.208 親子むし歯予防出前講座
- No.209 幼児歯科健康診査
- No.210 歯ッピーウェルカム

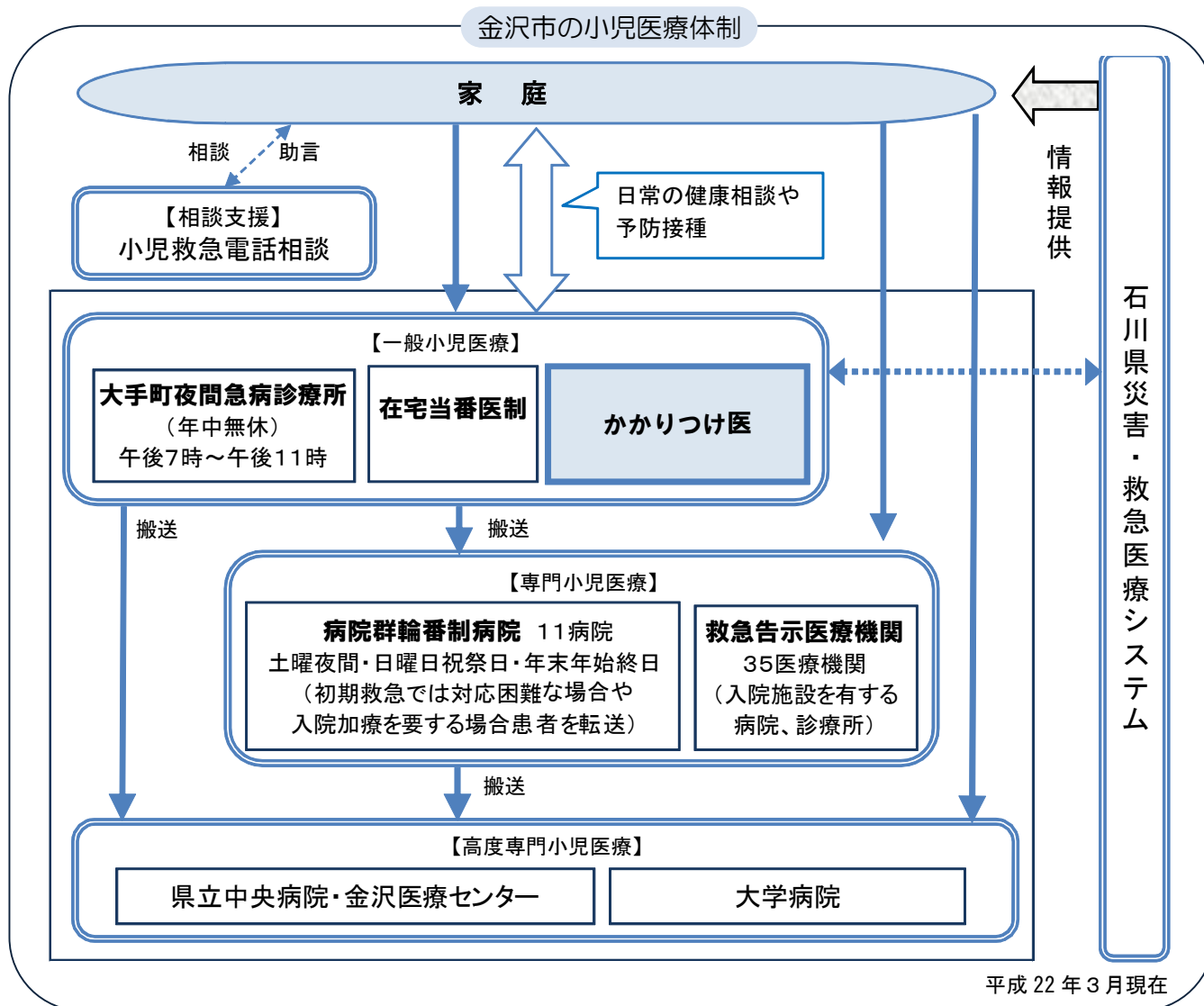
## 基本施策2 小児医療体制の整備

### 現状と課題

近年、小児科医の不足や、小児救急医療体制が整備されていないなど、小児医療は社会問題となっており、子育て家庭の小児医療に対する不安は増大しています。さらに、平成21年には新型インフルエンザが流行したことで、感染症の予防体制や夜間における救急医療体制の整備などが全国的な課題となっています。

本市では、金沢総合健康センターの夜間急病診療所と各医療機関との連携により、年間を通して夜間及び休日の救急体制を整えています。

今後も、全国的な動向をふまえながら、救急医療体制や感染症対策の強化を図り、市民が安心して子育てできる小児医療体制を確保していく必要があります。また、感染症対策については、保育所・幼稚園・学校と、家庭との連携のもと、感染予防体制を強化することが必要です。



家庭

- 手洗い・うがいを習慣づけ、日頃から感染症の予防に努めましょう。
- 子どもの病気やケガに対する正しい知識を身につけましょう。
- かかりつけ医を持ち、休日・夜間の受診先を知っておきましょう。
- 計画的に予防接種を受けましょう。

地域

- 子どもの集まる場所では、日頃から感染症予防、事故防止に努めましょう。

職場

- 手洗い・うがいを習慣づけ、日頃から感染症の予防に努めましょう。
- 子どもの病気の際には従業員が帰宅できるような職場づくりを進めましょう。

保育所  
幼稚園  
学校等

- 手洗い・うがいを習慣づけ、日頃から感染症の予防に努めましょう。
- 嘱託医と連携しながら、日頃から子どもの健康状態を把握しましょう。
- 感染症発生時や事故には迅速に対応しましょう。

行政



施策の方向性  
P57

## 施策の方向性

### (1) 救急医療体制の整備

関係医療機関と協力し、子どもの夜間・休日等における救急医療体制を確保します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P104

No.211 金沢総合健康センター急病診療事業

No.212 休日在宅当番医制度

No.213 病院群輪番制事業

### (2) 事故予防と感染症対策の強化

子どもの事故の予防と感染症対策についての啓発を行うとともに、予防接種の実施、感染情報の把握・提供により感染やその拡大を防止します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P105

No.214 子どもの事故防止啓発の推進

No.215 予防接種事業

No.216 感染症予防対策

No.217 保育所感染症把握事業

No.218 B型肝炎母子感染防止

No.219 SIDS（乳幼児突然死症候群）予防の啓発

### 基本施策3 発達の遅れや障害のある子どもへの支援

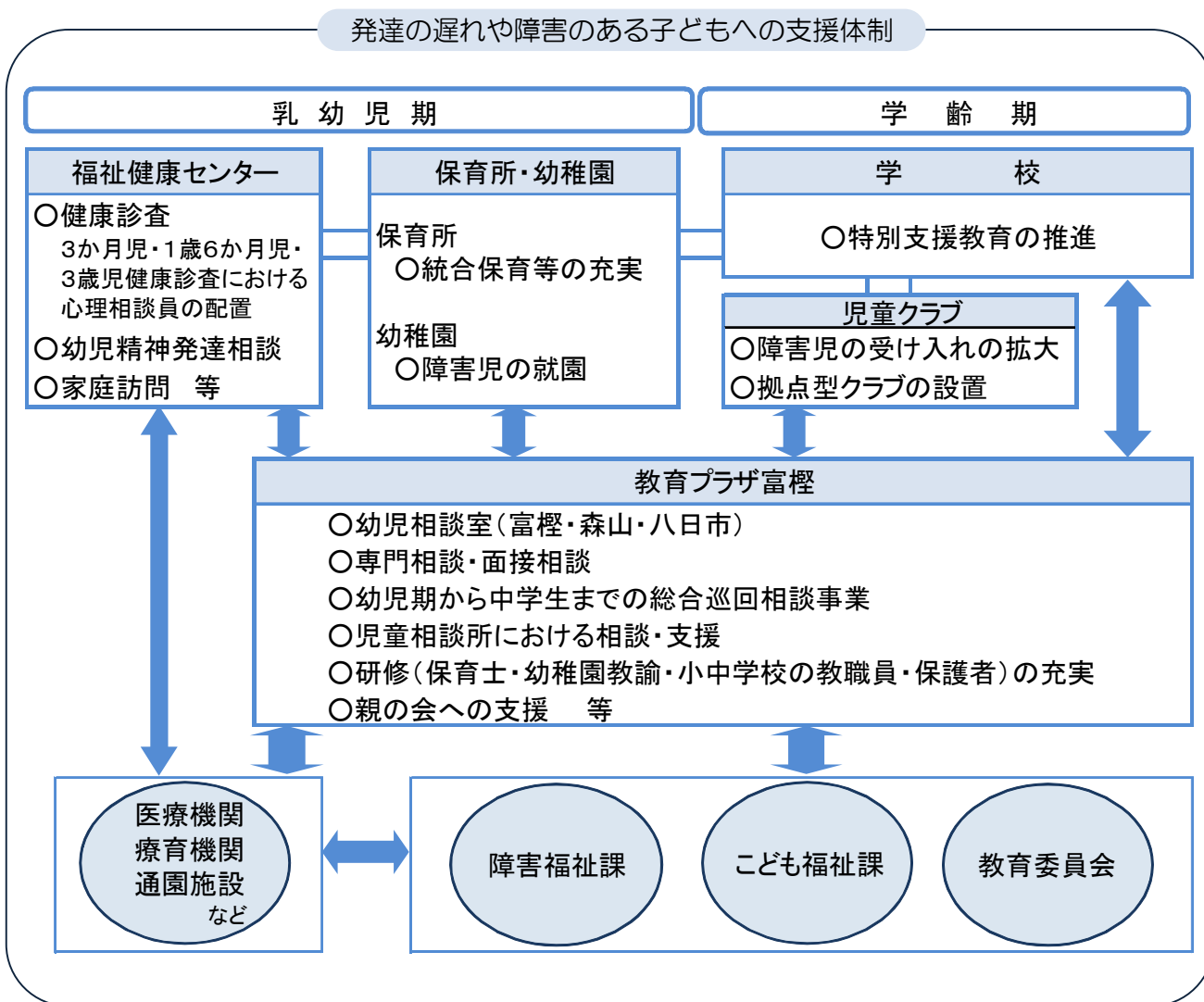
#### 現状と課題

近年、発達障害への認識が高まり、「障害のある子ども」の概念が多様化する中で、診断や療育に対するニーズが高まってきています。

本市では、健康診査などの母子保健事業や保育所・幼稚園等において、発達の遅れや障害のある子どもの早期発見に努めています。教育プラザ富樫においては、専門相談、総合巡回相談、面接相談や、幼児相談室を通じて、子どもの発達支援、親の心のケアなど、総合的な支援を行っています。

また、保育所や放課後児童クラブにおいて、障害のある子どもの受け入れを支援しています。

今後も、関係機関と連携し、きめ細かな相談・療育体制の充実を図り、障害のある子どもとその家庭の日常生活を支援していくことが必要です。





## 家庭

- 子どもの発育で気になることがあれば、関係機関に相談しましょう。
- 障害のある子どもや障害に対する理解を深めましょう。
- 必要に応じて、行政の支援制度を利用しましょう。

## 地域

- 障害のある子どもや障害に対する理解を深めましょう。
- 地域に孤立した家庭がないよう、日頃から見守り声をかけましょう。

## 職場

- 障害のある子どもや障害に対する理解を深めましょう。
- 子どもの病気など、緊急時には従業員が帰宅できるような職場づくりを進めましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- 障害のある子どもや障害に対する理解を深めましょう。
- 子ども一人ひとりのニーズに沿った多様で、きめ細かな保育・教育を行いましょう。
- 子どもの発達に気になることがあれば、関係機関に相談しましょう。

**参照** 「金沢市特別支援教育指針」  
(金沢市教育委員会)

## 行政

施策の方向性  
P60

## 施策の方向性

### (1) きめ細かな相談・療育体制の充実

早期の相談・指導を実施して、子どもの発達への支援と親の不安に対するケアを行うとともに、障害のある子どもの保育所等の受け入れを支援します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P106

- No.220 乳幼児期から中学生までの総合巡回相談事業
- No.221 「気になる子」のためのネットワーク事業（大学との連携推進事業）
- No.222 教育プラザ富樫における専門相談
- No.223 幼児相談室
- No.224 統合保育
- No.225 特別支援教育指導補助員等の派遣
- No.226 心身障害児通園施設ひまわり教室
- No.227 小児慢性特定疾患児ピアカウンセリング
- No.228 心身障害児水泳療育訓練
- No.229 親子療育のつどい
- No.230 アレルギー疾患等の配慮を要する児童の保育の充実
- No.231 障害児のための拠点型児童クラブの運営
- No.232 放課後児童クラブにおける障害児の受け入れ

### (2) 日常生活支援の充実

障害や特定疾患のある児童とその保護者の日常生活を支援するため、日常生活用具等の給付や各種手当の支給を行います。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P107

- No.233 特別児童扶養手当
- No.234 日常生活用具給付
- No.235 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付
- No.236 障害児福祉手当
- No.237 障害児補装具給付

## 基本施策4 不妊への支援の充実

### 現状と課題

子どもを持ちたくても持てない不妊に悩む夫婦が増えています。不妊に悩む夫婦は、そのストレスから夫婦の関係に支障をきたすケースもみられます。また、不妊治療を行っている夫婦の中には、経済的な理由から治療を断念するケースもあります。

今後も引き続き、不妊に悩む夫婦に対し、相談体制を充実させ、精神的な負担の軽減を図るとともに、不妊治療に係る経済的支援を行う必要があります。

### 施策の方向性

不妊で悩んでいる夫婦に対し、不妊治療に関する相談や情報提供を行うとともに、不妊治療に対する助成を行います。

#### ■具体的な取り組み■

No.238 不妊治療費の助成

No.239 不妊に関する情報提供の充実

詳細記載： P108

# 基本方針5

## 子どもをとりまく

### 安全で優しい生活環境をつくる

#### 基本施策1 「子育てバリアフリーのまち金沢」の推進・・・ P63

- (1) 安心して外出できる環境の整備
- (2) 安心・安全な道路交通環境の整備

#### 基本施策2 良質な住宅の確保と住環境の整備…………… P66

- (1) 子育て世帯に望ましい住宅と住環境の整備
- (2) まちなか定住の支援

#### 基本施策3 子どもの安全の確保…………… P67

- (1) 子どもの事故予防の推進
- (2) 防犯・防災対策の推進

## 基本施策1 「子育てバリアフリーのまち金沢」の推進

---

### 現状と課題

近年、子どもや親をはじめ、高齢者や障害のある人、外国人などすべての人が安全かつ安心・快適に利用できるユニバーサルデザインの考え方が広まっており、これにもとづくまちづくりが求められています。

本市では、ユニバーサルデザインの概念のもと、公共施設や公共交通機関のバリアフリー化をすすめてきました。また、公共施設への子ども用トイレや授乳室の設置など、子育てにやさしい環境整備に取り組んでいます。

今後も、妊産婦、乳幼児を連れた親が安心して外出できるよう、公共機関のバリアフリー化の推進や授乳室等の子育て機能のさらなる整備を図る必要があります。さらに、まちなかの賑わいを創出していくためにも、子どもだけでも安全・安心に過ごすことができる遊び場や歩行空間を整備するなど、環境づくりが必要です。

## 家庭

○子育て家庭に配慮した公共的施設や公共交通機関を把握しましょう。

## 地域

- 歩道に物を置かないなど、子どもや子ども連れの親が外出しやすいように気を配りましょう。
- 道路や公園等公共的施設の美化に協力しましょう。
- 地域の子どもや子ども連れの親と会ったら一声かけるなど、こころのバリアフリーを実践しましょう。

## 職場

- ユニバーサルデザイン概念のもと、職場及び周囲の環境づくりをすすめましょう。
- 飲食店など、親子と関係のある企業は、子ども用トイレや授乳室を設置するなど、子育てにやさしい環境づくりに努めましょう。
- 子育て中の従業員に一声かけるなど、こころのバリアフリーを実践しましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- 保育所・幼稚園・学校施設のバリアフリー化に努めましょう。

## 行政



施策の方向性  
P65

### (1) 安心して外出できる環境の整備

乳幼児を連れた親子が利用しやすいトイレや授乳室の設置など、子育てバリアフリーな環境を整備します。また、ユニバーサルデザインの概念のもと、すべての市民に快適な都市環境整備を進めます。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P109

- No.240 市施設の子育てバリアフリーの推進
- No.241 ユニバーサルデザイン公園の整備
- No.242 金沢駅西広場再整備事業
- No.243 西金沢駅周辺整備事業
- No.142 木と遊ぶデザイン製作（地産児遊）（再掲）

### (2) 安心・安全な道路交通環境の整備

乳幼児を連れた親が安心して通行・利用できる安全で快適な道路・交通環境を整備します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P110

- No.244 歩行空間ネットワーク整備事業
- No.245 金沢市交通バリアフリー基本構想の推進
- No.246 人と環境にやさしいバス車両の導入、バス停のバリアフリー化
- No.247 ふらっとバスの運行
- No.248 公共交通利用促進のための意識啓発（公共交通利用促進アクションプログラム）
- No.249 こども公共交通ふれあい事業

## 基本施策2 良質な住宅の確保と住環境の整備

### 現状と課題

近年、少子高齢化の進行や価値観の変化にともない、人々のライフスタイルは多様化しており、住宅や住環境を取り巻く環境は大きく変化しています。

本市では、子育て家庭を対象とした新築住宅購入借入金の助成、金沢らしい住宅の新築・購入に対する奨励金の交付等を行っており、とくにひとり親家庭、多子世帯に対する優遇策を実施しています。

今後も、空き家や空き地の有効活用なども視野に入れ、子育て家庭への良質な住宅及び住環境の確保について、引き続き支援していく必要があります。

### 施策の方向性

#### (1) 子育て世帯に望ましい住宅と住環境の整備

母子世帯や多子世帯の市営住宅の優先入居の実施や、シックハウス相談窓口の設置など子育て家庭にとって良好な住環境の整備を推進します。

##### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P111

- No.250 市営住宅の母子世帯向け優先入居の実施
- No.251 市営住宅の多人数世帯の優先入居の実施
- No.252 シックハウス相談窓口の設置

#### (2) まちなか定住の支援

まちなかにおける子育て家庭の定住を促進するため、新築住宅の購入に対する支援を行います。

##### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P111

- No.253 いい街金沢住まいづくり奨励金
- No.254 まちなか住宅建築奨励金



## 基本施策3 子どもの安全の確保

---

### 現状と課題

近年、子どもが交通事故や犯罪に巻き込まれる悲惨な事件が後を絶ちません。本市では、警察をはじめとする関係機関や地域ボランティア等が連携し、地域安全パトロール活動等の防犯活動や交通安全活動に取り組んでいます。また、街路灯の設置や教育機関における防犯設備の設置等、地域での防犯対策をすすめています。

今後も、子どもを交通事故や犯罪等の被害から守り、安全を確保するため、警察等の関係機関と連携し、まち全体で体制を整備していく必要があります。また、より多くの人の目によって子どもを守るため、すべての市民に対し啓発活動をすすめ、防犯意識を高めることが必要です。

また、地震や火災など災害から子どもを守るため、すべての市民に防災知識の普及啓発を図り、防災意識の高揚に努めるとともに、関係機関と連携しながら防災体制を強化することが求められます。

## 家庭

- 子どもの家庭内事故の予防に努めましょう。
- 子どもが自分の身は自分で守れるよう、危険回避能力を育みましょう。
- 車の運転や歩道の横断など、親が子どもの手本となりましょう。
- チャイルドシートを正しく使用しましょう。

## 地域

- 地域の大人が通学路に立って子どもの登下校を見守るとともに、子どもの登下校の時間に買い物や散歩をしましょう。
- 外で遊んでいる子どもの安全を気にかけて、見守りましょう。
- 学校防犯ボランティア(スクールサポート隊等)に参加しましょう。
- 地域の交通安全運動等の活動やキャンペーンに積極的に参加しましょう。


## 職場

- 地域の子どもの見守りに心がけ、安心・安全な地域づくりに積極的に協力しましょう。
- 外で遊んでいる子どもの安全を気にかけて、見守りましょう。

## 保育所 幼稚園 学校等

- 保育所・幼稚園・学校等での子どもたちの安全確保に努めましょう。
- 子どもたちが危険回避できるよう安全教育に努めましょう。

## 行政



施策の方向性  
P69

## 施策の方向性

### (1) 子どもの事故予防の推進

自転車や遊具などによる事故の防止活動を推進します。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P112

- No.255 交通安全教育の推進
- No.256 高校生自転車マナーの啓発
- No.257 遊具の安全点検及び安全で魅力のある施設整備
- No.258 母親クラブ（地域組織活動育成クラブ）による児童の事故防止等活動
- No.214 子どもの事故防止啓発の推進（再掲）

### (2) 防犯・防災対策の推進

子どもたちを凶悪な犯罪から守るために必要な設備やシステムの整備、地域におけるパトロールや防犯活動の推進を図ります。また、地震や火災などから子どもたちを守るため、施設の耐震補強と防災マニュアルの整備を行います。

#### ■具体的な取り組み■

詳細記載： P113

- No.259 保育所等における防犯対策の推進
- No.260 学校における防犯対策の推進
- No.261 子どもの安全を守る地域ボランティア活動の推進
- No.262 地域における防犯対策の推進
- No.263 街路灯の設置
- No.264 地域安全パトロールの実施
- No.265 生活安全事業の実施
- No.266 地域コミュニティ安全活動支援事業
- No.267 保育所等における防災体制の強化
- No.268 学校における防災体制の強化



# Ⅲ

## 計画の推進 と評価

# 1

## 計画の推進

### (1) 社会全体の協働による推進

「かなざわ子育て夢プラン 2010」は、行政だけでなく、家庭、地域、保育所・幼稚園・学校、職場それぞれが役割を担い、社会全体の協働により推進していきます。

特に、市民一人ひとりがそれぞれのできる範囲で、地域の子どもと子育て家庭を温かく見守り応援できるよう、本計画とこの趣旨について市民に積極的に広報して周知を図るとともに、施策の推進過程で市民の参画を進めていきます。

### (2) 金沢市少子化対策推進会議の開催

社会全体の協働により本計画を推進するため、福祉、教育、地域、医療、企業、労働など関係団体の代表者および学識経験者で構成される「金沢市少子化対策推進会議」において、計画の推進状況の報告をするとともに、関係者間の情報交換と連携を図ります。

### (3) 市の全庁的な取り組み

少子化対策は児童福祉や母子保健だけでなく、教育、文化・スポーツ、労働、まちづくり、男女共同参画など多様な分野に関わる課題であり、市の各部局における取り組みが必要であることから、全庁的に推進を図っていきます。

# 2

「かなざわ子育て夢プラン 2010」の推進については、「金沢市少子化対策推進会議」において定期的に計画の進捗状況の確認とその評価を行って、これを公表するとともに、必要に応じて目標等の見直しを行います。

また、施策の展開については、様々な機会を捉えて市民からの評価や要望を聞く機会を設けていきます。

IV

資 料

# 1 実施事業の詳細

## 基本方針 1 親と子どもが心豊かに社会と向きあえる子育て環境をつくる

### 基本施策 1 子育てに対する意識の向上

#### (1) 親子が向きあう時間を大切にす意識の醸成

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性 【指標項目】
1	生命（いのち）の絆「緒つつみ」事業	金沢に生まれた赤ちゃんの誕生を祝うとともに、生命の絆を再確認するため、へその緒をつつむ二俣和紙にメッセージを添えて贈ります。	こども福祉課	新規
2	“このまち”赤ちゃん夢ギフト	金沢に生まれた赤ちゃんの誕生を祝うとともに、親子のふれあいの大切さを伝えるため、育児経験者や専門家のメッセージを添えて記念品を贈ります。	こども福祉課	新規
3	かなざわ子育て夢フォーラム	親子が向き合って子育てできるよう、「かなざわ子育て夢プラン 2010」の基本理念等を広く市民にPRするフォーラムを開催します。	こども福祉課	新規
4	子育てファミリーカレッジ	親子の絆、家族のつながりを大切にした育児について学ぶ講座を実施します。	こども福祉課	新規 【参加者数】 現状 (H21) 目標値 (H26) - 年 180 人
5	家庭教育学級	乳幼児から 10 代にかけての子どもを持つ親に、子育てに関する学習の機会を提供します。学習内容は、子どもの心身の発達過程、親や家庭のあり方、基本的な生活習慣の定着や現代の親に関わる事例など様々な問題を取り上げます。	生涯学習課	継続 【延べ参加者数】 現状 (H20) 目標値 (H26) 25,948 人 26,000 人 年



No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性 【指標項目】
6	かなざわ親塾	心と命を大切にできる豊かな人間性をもった子どもたちを育てるため、親自身が気づき、学び、成長するための学習機会を提供します。 ①入学前セミナーの開催 ②情報モラル出前講座の開催 ③父親の子育て支援に関する事業 ④企業・地域への啓発事業	生涯学習課	継続 【開催回数】 現状 (H21) 86回 目標値 (H26) 現状維持
7	子育てネットワークセミナー	乳幼児を持つ両親を対象に、病気・子育てのポイント等についてのセミナーを開催します。	女性センター	継続
8	ふれあい親子読書講座	親子または保護者を対象に、読書を通じての親子のふれあいと、家庭での読書環境作りに対する理解を深めるための講座を開催します。	玉川こども図書館	継続
9	金沢子育て夢ステーションにおける父親育児教室	金沢子育て夢ステーションにおいて、未就園児と父親の育児・遊びの教室を開催します。	教育総務課	継続
10	父と子のふれあい教室	父親の子育て参加により、母親のストレスや育児不安の軽減を図ると共に家庭における子育て力を高めます。	福祉健康センター	継続 【開催回数】 現状 (H21) 1回 目標値 (H26) 増やす

## (2) 子育て家庭を取り巻く人たちの意識の醸成

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性 【指標項目】
11	子ども週間普及促進事業	金沢子ども条例に基づき、子どもと大人のふれあいを通して、子どもを育てる役割の大切さを改めて考える期間としての「金沢子ども週間」の普及促進を行うため、「子ども週間フェスティバル」を開催します。	生涯学習課	継続
12	「家族の絆」フォトコンクールの開催	「家族の絆」をテーマとして写真・エピソードを公募。審査の上、入選作品を展示します。	生涯学習課	新規

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性 【指標項目】	
13	ゆめまちづくり 活動支援事業	ゆめのあるまちづくりを進めることを目的に、市民活動団体から個性的なまちづくり企画を募集します。	市民参画課 こども福祉課	継続	
				【申請事業数】	
				現状 (H21)	目標値 (H26)
				10	30
14	男女共同参画出 前講座	企業、団体、グループ等が主催する研修会、講座等に講師を派遣し、男女共同参画社会の必要性を啓発するとともに、市民の自主的な学習活動を支援します。	市民参画課 (男女共同参画室)	継続	
				【受講者数】	
				現状 (H20)	目標値 (H26)
				265人	増やす

## 基本施策2 地域の子育て支援施策の充実

### (1) 親子のふれあい、社会参加の推進

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性 【指標項目】	
15	かなざわ子育て 虹色クーポン	金沢市の子育て支援策のPR、親子のふれあいのきっかけづくりとなるような子育てサービスや、文化・スポーツ施設の利用券等を配布します。	こども福祉課	新規	
				【交付率】	
				現状 (H21)	目標値 (H26)
				-	60%
16	文化施設利用促進事業	「金沢子ども月間」及び「文化の日」に各文化施設で親子向けのイベントを開催します。	文化政策課	新規	
17	「はじめまして 絵本」事業費	3か月健康診査時にブックスタートサポーターを図書館から派遣し、保護者と赤ちゃんに絵本を読み聞かせ、絵本を手渡します。 図書館で読み聞かせ、わらべ歌の紹介、子育てアドバイスをを行います。	玉川こども図書館 こども福祉課	新規	
				【ブックスタート参加率】	
				現状 (H21)	目標値 (H26)
				-	96%
18	おはなし会	良書の紹介と読書習慣の定着のため、職員またはボランティアが、おはなしや読み聞かせ、わらべうた等を行います。	泉野図書館 玉川こども図書館	継続	

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性 【指標項目】
19	初めての本との 出会い事業	①0～2歳児を持つ保護者を対象に、乳幼児からの読み聞かせや親子のふれあいの大切さを知ってもらうために、職員が講話と乳児に対する読み聞かせ、わらべうたの実演を行います。 ②玉川こども図書館の1室の改装により、「初めての本との出会いの部屋」を開設し、乳幼児と保護者が安心して利用できるスペースを確保します。 ③赤ちゃんが初めて出会うおすすめ本のリストを作成します。	玉川こども図書館	継続
20	親子自然体験塾	キゴ山少年自然の家における自然体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、家庭教育の重要性について再認識する場を設けます。	生涯学習課	継続
21	フィッシャーズ	親子が自然体験を通じて、自然保護の大切さを学ぶ機会を提供します。	環境政策課	継続
22	親子のふれあい・ 出会い交流事業	親と子の食事セミナーや絵本の読み聞かせ講習会を開催します。	教育プラザ富樫 (地域教育センター)	継続
23	こどもスポーツ 週間親子交流事業	9/9～9/15の1週間をこどもスポーツ週間と題し、こどもとその親を対象に各種イベントを開催します。	市民スポーツ課	継続
24	おやこの伝統食 教室	金沢市固有の伝統食を健康食という観点から見直した親子参加の調理教室を開催し、食文化の大切さの理解を深め、その伝承を図るとともに健全な食生活を啓発します。	近江町交流 プラザ	継続
25	近江町交流プラ ザちびっこ広場 事業	親子のふれあいを促すため、おはなし会やリズムあそび、身近なものでのおもちづくり等を行います。	近江町交流 プラザ	継続
26	かんがるー教室	2歳児とその保護者を対象とし、遊びと親子の交流の教室を開催します。	城北児童会館	継続
27	かるがも教室	1歳9ヶ月の児童とその保護者を対象とし、遊びと親子の交流の教室を開催します。	城北児童会館 近江町交流プラザ	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性 【指標項目】
28	おもちゃ病院	小さい頃から「ものを大切にする心」や「もったいない心」を育み、環境・エコの意識を醸成するとともにおもちゃの修理を通じて子どもとその家族が向き合い、ふれあう場を提供します。	城北児童館	拡充

(2) 子育て支援拠点の機能の充実

NO.	事業等	事業の概要	担当課	方向性								
29	金沢こども広場事業の充実	育児不安の解消につなげるため、乳幼児とその親がいつでも気軽に集い、交流や相談ができる場を提供します。	教育プラザ富樫 (地域教育センター) 福祉健康センター こども福祉課 近江町交流プラザ	拡充 【設置か所数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6か所</td> <td>6か所</td> </tr> </tbody> </table> 【利用者数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状 (H20)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>138,802人</td> <td>増やす</td> </tr> </tbody> </table>	現状 (H21)	目標値 (H26)	6か所	6か所	現状 (H20)	目標値 (H26)	138,802人	増やす
現状 (H21)	目標値 (H26)											
6か所	6か所											
現状 (H20)	目標値 (H26)											
138,802人	増やす											
30	金沢子育て夢ステーションの設置	保育所・幼稚園・児童館を金沢子育て夢ステーションとし、地域の妊産婦や親子が気軽に育児の相談や育児講座の参加、友達づくりができる場とします。	こども福祉課 教育総務課	拡充 【実施か所数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所 (市立) 12か所 (私立等) 70か所 幼稚園 20か所 児童館 30か所</td> <td>保育所 (市立) 12か所 (私立等) 93か所 幼稚園 26か所 児童館 30か所</td> </tr> </tbody> </table>	現状 (H21)	目標値 (H26)	保育所 (市立) 12か所 (私立等) 70か所 幼稚園 20か所 児童館 30か所	保育所 (市立) 12か所 (私立等) 93か所 幼稚園 26か所 児童館 30か所				
現状 (H21)	目標値 (H26)											
保育所 (市立) 12か所 (私立等) 70か所 幼稚園 20か所 児童館 30か所	保育所 (市立) 12か所 (私立等) 93か所 幼稚園 26か所 児童館 30か所											
31	子育てサロンの充実	学校の空き教室や公民館・児童館、近江町交流プラザに乳幼児とその親が気楽に集まり、育児の相談や友だちをつくる場として、子育てサロンを設ける。地域のボランティアや児童委員らが中心となって、親の育児不安解消のための支援を行います。	こども福祉課 近江町交流プラザ	拡充 【実施か所数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区 32地区 NPO 5か所</td> <td>地区 34地区 NPO 5か所</td> </tr> </tbody> </table>	現状 (H21)	目標値 (H26)	地区 32地区 NPO 5か所	地区 34地区 NPO 5か所				
現状 (H21)	目標値 (H26)											
地区 32地区 NPO 5か所	地区 34地区 NPO 5か所											

NO.	事業等	事業の概要	担当課	方向性												
32	地域子育て支援センター	実施保育所を指定し、地域の子育て支援に関する拠点を設置します。	こども福祉課	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【実施か所数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市立 1 か所 私立 6 か所</td> <td>市立 1 か所 私立 6 か所</td> </tr> </tbody> </table>	【実施か所数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	市立 1 か所 私立 6 か所	市立 1 か所 私立 6 か所						
【実施か所数】																
現状 (H21)	目標値 (H26)															
市立 1 か所 私立 6 か所	市立 1 か所 私立 6 か所															
33	地区児童館事業の充実	地域の子どもが誰でも自由に遊びに行くことができ、仲間づくりや相談もできる場を提供します。平日の午前中には子ども会や地域の子育てサークル活動に開放します。	こども福祉課	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【児童館数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30 か所</td> <td>地域の自主性を尊重し、拡充</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【利用者数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H20)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>685,916 人</td> <td>700,000 人</td> </tr> </tbody> </table>	【児童館数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	30 か所	地域の自主性を尊重し、拡充	【利用者数】		現状 (H20)	目標値 (H26)	685,916 人	700,000 人
【児童館数】																
現状 (H21)	目標値 (H26)															
30 か所	地域の自主性を尊重し、拡充															
【利用者数】																
現状 (H20)	目標値 (H26)															
685,916 人	700,000 人															
34	まちなか子育て支援事業	まちなかの商業施設で出前サロンの開設や子どもの活動の発表を行います。	こども福祉課	新規												
35	都市公園の整備	子どもたちの遊び場、親子の憩いやふれあいの場を確保するため、市民ニーズに応じた都市公園を計画的に整備します。	緑と花の課	継続												
36	児童公園の整備	市が設置する公園を補完する目的で、設置する児童公園の維持管理に対する奨励金の交付及び整備に対する助成金を交付します。	緑と花の課	継続												
37	幼児用徒渉池(プール)の開設	市内に6か所ある公園において、小学生未満の幼児が親子で楽しめるプールを夏季に3週間開設します。	緑と花の課	継続												
38	教育プラザ富樫における各種相談	育児や発達、教育に関する悩み、虐待や非行の問題など、子どもに関する相談に専門のスタッフが対応し、総合的な支援を行います。	教育プラザ富樫 (研修相談センター) (こども総合相談センター)	継続												
39	保育所の巡回相談の充実	教育プラザ富樫の保育士・保健師や管理栄養士が保育所を巡回し、乳幼児の保育内容や感染症予防に関すること、食事内容や衛生管理等について相談及び指導を行います。	教育プラザ富樫 (研修相談センター) (こども総合相談センター)	継続												

NO.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
40	金沢子育て夢ステーションにおける相談	金沢子育て夢ステーションにおいて、保育士、幼稚園教諭、児童厚生員等が子育てに関する相談に対応します。	こども福祉課	継続
41	子育てホットライン	妊娠、出産、育児に関する疑問や悩みについて、専用電話やFAXによる相談を実施します。	福祉健康センター	継続
42	子育て支援総合コーディネート事業	<P81、No.再掲 42 参照>		

### (3) 緊急時などの一時的な保育サポートの充実

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
43	一時預かり	一時的に児童を短期間保育所で預かります。 近江町交流プラザでは、1日4時間を限度として、一時的に生後6か月から就学前までの乳幼児を預かります。	こども福祉課 近江町交流プラザ	継続 【受入可能か所数】 現状 (H21) 106か所 目標値 (H26) 113か所
44	休日一時預かり	日曜・祝日等に保護者の病気等により一時的に家庭で保育できない児童の保育を実施します。	こども福祉課	継続 【実施か所数】 現状 (H21) 1か所 目標値 (H26) 1か所
45	児童ショートステイ	保護者の疾病等により、養育が困難になった児童を児童福祉施設等で養育保護します。	こども福祉課	継続 【実施か所数】 現状 (H21) 2か所 目標値 (H26) 2か所
46	ファミリーサポートセンター事業の充実	会員間の育児の相互援助活動を支援します。提供会員の育成のため、講習会を実施します。	こども福祉課	拡充 【提供会員数】 現状 (H22.1 月末現在) 511人 目標値 (H26) 800人
47	イベント併設ミニ保育室	市主催事業等で臨時の保育室を開設する場合に保育士等を派遣します。	こども福祉課	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
48	公共施設における保育サービスの推進	21世紀美術館の利用者の子どもの預かりを実施します。	21世紀美術館	継続

### 基本施策3 効果的な子育て情報の提供

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
再掲 42	子育て支援総合コーディネート事業	子育て支援サービス情報を一元的に把握し、必要な情報を提供します。	こども福祉課	拡充
49	子育て総合情報誌の充実	市民グループに作成を委託し、きめ細かいサービスや情報を掲載した子育て総合情報誌を発行します。	こども福祉課	継続 【子育てお役立ちBOOK・WEB・モバイルの認知度（ニース調査）】 現状（H20） 目標値（H26） 就学前 56.8% 小学生 34.2% 増やす
50	子育てお役立ちメール	妊婦及び保護者を対象に、子育てに関するお知らせや子ども連れで参加できるイベント・講座等の情報を定期的に配信します。	広報広聴課	拡充 【配信登録者数】 現状（H22.1月未現在） 目標値（H26） 625件 増やす
51	インターネット、携帯電話を活用した情報提供	子育てに関するさまざまな情報を一元化し、インターネットを通じて幅広く提供します。 金沢子育てお役立ちウェブ	こども福祉課	継続 【子育てお役立ちBOOK・WEB・モバイルの認知度（ニース調査）】 現状（H20） 目標値（H26） 就学前 54.6% 小学生 34.2% 増やす
52	様々な機会・場所での情報提供	出産時、転入時、就園時等の様々な機会、場所において、タイムリーな子育て情報を効果的に提供します。	こども福祉課 福祉健康センター	拡充



## 基本施策 4 子育てにかかわる人材育成

### (1) 子育て支援ネットワークづくり

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
53	子育て市民グループの活動の場の提供	教育プラザ富樫や、地区児童館など、子育て市民グループの活動の場を設けます。	教育プラザ富樫 こども福祉課	継続
54	子育てサロン、金沢こども広場スタッフの交流の促進	子育てサロンや金沢こども広場のスタッフが、日頃の活動について情報交換できるような機会を設けます。	こども福祉課	継続
55	母親クラブの活動支援 (地域組織活動育成クラブ)	児童の健全育成を図るため、児童館を拠点に「母親クラブ(地域組織活動育成クラブ)」を組織し、親子および世代間の交流、文化活動や児童養育に関する研修等の活動費を助成します。	こども福祉課	継続
56	乳幼児を育てる地域子育てネットワークづくりの検討	地域の保育園、幼稚園、児童館などの関係施設や児童委員などの地域関係者および市民グループが連携し、地域の子育て情報を収集し、発信するネットワークづくりを検討します。	こども福祉課	検討
57	金沢市保育所・幼稚園連絡協議会	金沢市社会福祉協議会保育部会および石川県私立幼稚園協会金沢支部とともに、金沢らしい保育所と幼稚園のあり方や就学前児童の育ちについて研究します。	こども福祉課	継続

### (2) 子育て支援者の育成

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
58	保育士・幼稚園教諭等の研修の充実	保育にたずさわる職員が、その専門性を高め、個に応じたきめ細やかな質の高い保育サービスの提供と適切な保護者支援を行うことができるよう研修の内容を充実します。	こども福祉課 教育プラザ富樫 (研修相談センター)	継続
59	児童館厚生員、児童クラブ指導員研修制度の充実	地区の児童館、児童クラブの指導員の資質向上のため、研修制度を充実します。	こども福祉課	継続



No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
60	主任児童委員研修の充実	主任児童委員としての職務上に必要な知識を習得するための研修会を実施します。	こども福祉課	継続						
61	子育てサロン、金沢こども広場スタッフの研修の充実	子育てサロンや金沢こども広場のスタッフの資質向上のため、研修会を実施します。	こども福祉課	継続						
62	地域子育て応援隊の派遣	地域の子育てサロンに保育士を派遣し、スタッフに手遊び等を教えます。	城北児童館	継続						
63	子育て地域人材養成事業(家庭教育サポーターの養成)	地域において子育ての悩みや疑問の相談を受けたり、家庭教育に関する意識啓発を行う家庭教育サポーターを養成します。	生涯学習課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【参加率】</th> </tr> <tr> <th>現状(H21)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>	【参加率】		現状(H21)	目標値(H26)	66%	80%
【参加率】										
現状(H21)	目標値(H26)									
66%	80%									
64	地域子育て人材育成事業	地域の人材を育成するための事業を金沢子育て夢ステーション(保育所・幼稚園)が企画します。	こども福祉課 教育総務課	新規						
65	中高年齢者子どもサポーター育成事業	地域活動に携わる中高年齢者の指導者としての資質を高めるため、「子ども」を知るための研修会を開催します。 ○対象 地域活動に携わる中高年層	生涯学習課	継続						
66	金沢こども料理塾サポーター養成講座	子どもたちが楽しく安心して料理に取り組めるようにサポートを行う人材を養成します。	近江町交流プラザ	継続						
67	フレッシュ学生まちなかサロンの実施	<P93、No.再掲67 参照>								

## 基本施策5 児童虐待防止体制の充実

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
68	児童相談所における虐待対応	児童相談所の機能を強化するとともに、関係機関や地域との緊密な連携で、早期発見・対応を行います。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続
69	児童相談所における24時間電話対応	児童相談所において、虐待等の相談を24時間受け付けます。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続
70	金沢こども見守りネットワーク	金沢こども見守りネットワーク(要保護児童対策地域協議会)を活用し、関係機関の連携により子どもの見守り体制を確保します。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続
71	児童虐待防止対策推進事業	学生により組織する実行委員会や子どもに関する活動を行う市民グループの企画及び運営により児童虐待防止活動の輪を広げます。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	拡充
72	虐待対応研修	児童委員や学校・保育所・幼稚園の職員などを対象とした虐待対応の研修を行います。	教育プラザ富樫 (研修相談センター) (こども総合相談センター)	継続
73	児童家庭支援センター事業	専門相談員や心理療法士を配置した児童家庭支援センターで電話相談対応や訪問相談を実施します。	こども福祉課	継続
再掲 29	金沢こども広場事業の充実	<P78、No.29 参照>		
再掲 30	金沢子育て夢ステーションの設置	<P78、No.30 参照>		
再掲 31	子育てサロンの充実	<P78、No.31 参照>		
74	安心出産育児支援ネットワーク事業	<P99、No.再掲74 参照>		
75	産後うつ病スクリーニングからの支援	<P99、No.再掲75 参照>		
76	元気に育て!赤ちゃん訪問事業	<P102、No.再掲76 参照>		

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
77	女性相談室	女性相談室の運営を通じ、女性の人権の擁護、自立支援を図ります。とくに、DV相談に対する具体的な支援を行うための相談体制の強化を図ります。	市民参画課 (男女共同参画室)	継続
78	DV等対策費	DVの早期発見及びDV防止、啓発のためのマニュアル・リーフレットの作成及びシンポジウム・研修会等を行います。	市民参画課 (男女共同参画室)	新規

## 基本施策6 特に配慮を必要とする家庭への支援の充実

### (1) ひとり親家庭への経済的支援、自立支援

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
79	児童扶養手当	子を養育しているひとり親世帯に手当てを支給します。	福祉総務課	継続
80	ひとり親家庭の医療費助成	ひとり親世帯の負担した医療費の一部を自動償還払い方式で助成します。	健康総務課	継続
81	ひとり親家庭日常生活支援事業	日常生活に支障をきたしているひとり親家庭に対して、生活援助や子育て支援を行います。	福祉総務課	新規
82	母子自立支援員、父子相談員の設置	母子家庭、父子家庭、寡婦を対象に窓口、電話、訪問等による相談・指導を実施します。	福祉総務課	継続
83	ほほえみ家族事業	ひとり親家庭を対象に、クリスマスのつどいを開催します。	福祉総務課	継続
84	ホームフレンドの派遣事業	子どもが気軽に相談できるホームフレンド(児童訪問援助員)を家庭に派遣します。	福祉総務課	継続
85	ひとり親家庭情報交換事業	ひとり親家庭が定期的に集い、交流や情報交換を行います。	福祉総務課	継続
86	母子・寡婦福祉資金貸付制度	母子家庭の母や父母のいない児童、寡婦等に対し融資を実施します。	福祉総務課	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
87	自立支援教育訓練給付金事業	母子家庭をはじめとした職業能力開発向け講座受講に対して給付金を給付します。	福祉総務課	継続						
88	高等技能訓練給付促進事業	母子家庭の経済的自立を支援するため、2年以上の養成期間受講に対し助成します。	福祉総務課	継続						
89	母子寡婦自立支援事業	就業支援セミナー、パソコン講習会、在宅ワークセミナー、法律相談、養育費相談等を開催します。	福祉総務課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【講習会受講者数】</th> </tr> <tr> <th>現状(H21)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table>	【講習会受講者数】		現状(H21)	目標値(H26)	88人	100人
【講習会受講者数】										
現状(H21)	目標値(H26)									
88人	100人									
90	母子自立支援プログラム策定事業	児童扶養手当受給者の自立促進のため、プログラム策定員がハローワーク等と連携して自立・就労支援を行います。	福祉総務課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【年間プログラム策定数】</th> </tr> <tr> <th>現状(H20)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34件</td> <td>50件</td> </tr> </tbody> </table>	【年間プログラム策定数】		現状(H20)	目標値(H26)	34件	50件
【年間プログラム策定数】										
現状(H20)	目標値(H26)									
34件	50件									
91	ひとり親家庭・寡婦のためのライフページの配布	ひとり親家庭・寡婦のための福祉制度や各種相談窓口を紹介した冊子を配布します。	福祉総務課	継続						
92	母子家庭の母等雇用奨励金	母子家庭の母等を雇用する事業主に対し奨励金を交付します。	労働政策課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【交付者数】</th> </tr> <tr> <th>現状(H20)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80人</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	【交付者数】		現状(H20)	目標値(H26)	80人	現状維持
【交付者数】										
現状(H20)	目標値(H26)									
80人	現状維持									
93	母子家庭の母等トライアル雇用奨励金	国の「試行雇用事業」の対象となり、引き続き常用雇用となった母子家庭の母等を雇用する事業主に対し、奨励金を交付します。	労働政策課	継続						

(2) 特に配慮を必要とする子育て家庭への経済的支援

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
94	小児慢性特定疾患医療給付	小児慢性特定疾患治療研究事業認定患者に対し、必要な医療費用を給付します。	地域保健課	継続
95	身体障害児育成医療給付	手術等によって障害の改善が見込まれる障害のある児童に対し、指定医療機関において必要な医療を給付します。	地域保健課	継続
96	未熟児等養育医療費助成	養育のため、入院を必要とする未熟児に対し、指定医療機関において必要な医療を給付します。	地域保健課	継続
97	妊娠高血圧症候群等療養援護費	妊娠中毒症等に罹患した妊産婦が入院した場合、その費用の一部を支給します。	健康総務課	継続
98	母子の健康管理支援	健康診査等で栄養強化が必要と認められた妊産婦、乳児に対し、粉乳を支給します。	健康総務課	継続
99	多子世帯への保育料の軽減	世帯で同時に2人以上が保育園に入園している場合に、2人目は保育料を半額、3人目を無料とします。	こども福祉課	継続
100	私立幼稚園就園奨励費	私立幼稚園に子どもを就園させている保護者が負担する保育料の一部を、幼稚園に助成します。	教育総務課	継続

●参考：子どもがいるすべての家庭への経済的支援●

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
101	出産育児一時金	国民健康保険の被保険者が出産した場合、出生児1人につき39万円(産科医療補償制度に加入する医療機関等での出産の場合、42万円)を支給します。なお、金沢市から医療機関等に直接支払うため、被保険者は事前に出産費用を用意する必要がありません。	医療保険課	継続
102	子育て支援医療費助成	乳幼児および児童の保護者が負担した医療費の一部を、自動償還払い方式で助成します。	健康総務課	継続
103	乳児期予防接種費助成	<P102、No.再掲 103 参照>		

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
104	幼児期予防接種費助成	<P102、No.再掲 104 参照>		
105	保育料の軽減	国の示す基準の保育料に対し、保護者負担の軽減を図ります。	こども福祉課	継続
106	子ども手当	子どもを養育している者に支給し、次代の社会を担う子どもの成長・発達を促します。	福祉総務課	新規
107	子ども用品のリユースの推進	子ども用品の不要品を希望する方、提供したい方に登録していただき、子ども用品のフリーマーケットの開催や、戸室リサイクルプラザにおける展示・提供について情報提供サービスを行います。	リサイクル推進課	継続
108	公立高校の授業料の無償化	市立工業高等学校の授業料を無償にします。	市立工業高等学校	新規

### (3) 社会的養護の充実と自立支援

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
109	児童福祉施設及び里親への措置	家庭での養護が困難な子どもに対して、児童養護施設や乳児院などの児童福祉施設への入所や、里親への委託を行います。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続
110	自立支援アドバイザーの派遣	児童養護施設入所児童と里親委託児童を対象に、就職等自立に向けた助言等を行うアドバイザーを派遣し、自立を支援します。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続
111	普通自動車運転免許取得費補助	児童養護施設入所児童と里親委託児童を対象に、普通運転免許取得費の一部を助成します。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性												
112	高校生クラブ活動助成	児童養護施設入所児童と里親委託児童を対象に、学校のクラブ活動に要する費用の一部を助成します。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続												
113	あったかファミリーお泊まり事業	児童養護施設や乳児院などに入所する児童が、サポーターとして登録した市民の家で1、2泊程度の家庭生活を体験することにより、社会性の涵養や情緒の安定などを図ります。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	新規												
114	児童養護施設等の職員の研修	職種や担当する分野に応じた専門的な研修を行います。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続												
115	児童養護施設等の基幹的職員の養成	入所児童の自立支援計画の策定・進行管理や施設職員の指導等を行う基幹的職員を養成します。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続												
116	児童擁護施設等のケアの質の向上	児童養護施設等における小規模化の推進や児童の権利擁護など、ケアの質の向上に努めます。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続												
117	里親委託の促進	里親委託を促進するとともに、自動の養育を担う里親を増やします。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【里親委託率】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.8%</td> <td>10.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【里親登録者数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table>	【里親委託率】		現状 (H21)	目標値 (H26)	2.8%	10.0%	【里親登録者数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	13人	30人
【里親委託率】																
現状 (H21)	目標値 (H26)															
2.8%	10.0%															
【里親登録者数】																
現状 (H21)	目標値 (H26)															
13人	30人															
118	里親への支援	里親としての必要な知識に関する研修を行って、その資質向上を図るとともに、里親のレスパイト（休息）などその活動の支援を行います。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続												



## 基本方針 2 仕事と生活が調和できる環境をつくる

### 基本施策 1 ワーク・ライフ・バランスの推進

#### (1) 個人のライフスタイルに応じた仕事と家庭の両立支援

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
119	勤労者育児・介護休業資金融資制度	育児休業または介護休業をする者に対する生活資金の融資します。	労働政策課	継続
120	マザーズ再就職サポートサロン開設費	子育て支援施設などの利用者に対し、出産後の再就職支援を目的にサポートサロンを開設します。	労働政策課	継続

#### (2) 企業の自主的な取り組みへの支援

NO.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
121	ワーク・ライフ・バランス推進事業	仕事と生活の調和を目的に雇用環境の改善に向けた意識改革のためのセミナーを開催します。	労働政策課	新規						
122	子育てにやさしい企業の認証	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定をし、雇用環境整備に積極的に取り組んだ市内の事業主（従業員99人以下）に対し、認証状の表彰を行います。	労働政策課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【認証企業数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29社</td> <td>増やす</td> </tr> </tbody> </table>	【認証企業数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	29社	増やす
【認証企業数】										
現状 (H21)	目標値 (H26)									
29社	増やす									
123	子育てにやさしい企業に対する支援	次世代育成支援対策を推進するために、一般事業主行動計画を提出した事業主と、金沢市「子育てにやさしい企業」に認証された企業に対して、金沢市中小企業金融制度の支払利子の一部を助成します。	労働政策課	継続						
124	次世代認定マーク（くるみん）の周知、取り組みの促進	啓発資料やセミナーを通じて次世代認定マーク（くるみん）の周知を図ります。	労働政策課	継続						
125	男性の育児休業の取得促進	育児休業制度の周知と定着を推進し、男性の育児休業の取得促進を図ります。	労働政策課	継続						
126	保育所等産休等代替職員配置支援事業	出産・傷病で休む保育所職員の代替の人員費を補助し、安定した保育サービスを提供します。	こども福祉課	継続						



NO.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
127	正社員転換促進奨励金	正社員とパートタイマーの賃金・処遇面での格差を是正し、パートタイマーの正社員化に取り組む企業を支援することで、パートタイマーの雇用の安定及び企業の活性化を図ります。	労働政策課	継続
128	中小企業雇用安定化奨励金	正社員と有期契約労働者の賃金・処遇面での格差を是正し、有期契約労働者の正社員化に取り組む企業を支援することで、有期契約労働者の雇用の安定及び企業の活性化を図ります。	労働政策課	継続

## 基本施策2 多様で弾力的な保育サービス等の充実

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
129	通常保育	保育所の受け入れ体制を整備し、待機児童ゼロを継続します。	こども福祉課	継続 【受入可能人数】 現状 (H21) 11,330人 目標値 (H26) 11,750人
130	延長保育	就労形態の多様化に対応し、保育時間の延長を行います。	こども福祉課	継続 【受入可能か所数】 現状 (H21) 111か所 目標値 (H26) 112か所
131	24時間保育	深夜にわたって勤務している保護者を対象に昼間の保育に引き続き翌朝までの保育を行います。	こども福祉課	継続 【受入可能か所数】 現状 (H21) 1か所 目標値 (H26) 1か所
132	病児一時保育	病中・病後の保育に欠ける児童の一時保育を行います。	こども福祉課	継続 【受入可能か所数】 現状 (H21) 5か所 目標値 (H26) 7か所

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
133	夜間保育	夜間の保育に欠ける児童に保育を行います。	こども福祉課	継続 【実施か所数】 現状 (H21) 目標値 (H26) 2 か所 2 か所
134	休日保育	日曜祝日等に保育に欠ける児童の保育を行います。	こども福祉課	継続 【受入可能か所数】 現状 (H21) 目標値 (H26) 7 か所 7 か所
135	年末保育	年末に保育に欠ける児童の保育を行います。	こども福祉課	継続
136	児童トワイライトステイ	保護者の恒常的な残業等により、家庭での養育が困難になった児童を児童福祉施設等で養育保護します。	こども福祉課	継続 【実施か所数】 現状 (H21) 目標値 (H26) 1 か所 1 か所
137	私立幼稚園預かり保育推進助成事業	パートなど短時間就労者への幼児教育・保育サービスを年間を通じ提供するため、夏休みなどの長期休業期間中の預かり保育を実施します。	教育総務課	継続 【実施か所数】 現状 (H20) 目標値 (H26) 24 か所 増やす
138	放課後児童クラブの拡充	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象とする児童クラブを設置します。	こども福祉課	継続 【クラブ数】 現状 (H21) 目標値 (H26) 76 クラブ 80 クラブ 【受入人数】 現状 (H21) 目標値 (H26) 3,893 人 4,000 人
再掲 46	ファミリーサポートセンター事業の充実	<P80、No.46 参照>		
再掲 43	一時預かり	<P80、No.43 参照>		
再掲 44	休日一時預かり	<P80、No.44 参照>		

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
139	特定保育・家庭的保育（保育ママ）の検討	事業内容・実施について検討します。	こども福祉課	検討
140	認定こども園	制度の周知に努めます。	こども福祉課	継続
141	保育所の改修	施設の経年劣化に対応し、随時改修を実施します。その際、災害等に耐えうるよう機能強化も図ります。	こども福祉課	継続
再掲 39	保育所の巡回相談の充実	<P79、No.39 参照>		

### 基本方針 3 金沢市を担う未来の親の育成と若者の自立を支援する

#### 基本施策 1 次代を担う親の育成

##### (1) 異年齢・世代間交流の推進

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
再掲 67	フレッシュ学生まちなかサロンの実施	地域大学との協働によるまちなか子育てサロンの企画・運営を通じて、学生主体の地域貢献についての実践研究を行います。また、将来親となる大学生・短大生が、子育てのすばらしさや、家庭を築くことの大切さを学びます。	こども福祉課	新規
142	木と遊ぶデザイン製作（地産児遊）	将来親となる世代がこどもの育ちを意識した幼児の遊具のデザインを行うことで、親として必要なこころの育成を図ります。 また、金沢産木材でこどもの育ちに応じた実用性とデザインに優れた作品を開発し、金沢産木材の利用を促進します。	こども福祉課	新規
143	保育所・幼稚園における乳幼児ふれあい教室の開催	保育所や幼稚園（金沢子育て夢ステーション）において小中高校生と乳幼児のふれあい教室を開催します。	教育総務課	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
144	保育所・幼稚園における保育ボランティア等の受け入れの推進	保育所や幼稚園において職場体験や高校生の保育ボランティア等の受け入れを推進します。	こども福祉課	継続
145	教育プラザ富樫における小中高生と幼児とのふれあい交流体験事業	小学校高学年、中学生及び高校生のボランティアがふれあい遊び等の講座を受けて、幼児とのふれあい・交流を行います。	教育プラザ富樫 (地域教育センター)	継続
146	保育所における異年齢・世代間交流	保育所の園児が、高齢者福祉施設の訪問や行事等を通して、地区の高齢者小学生等とのふれあいの機会を持ちます。	こども福祉課	継続
147	子どもふれあい入浴デー	ふれあい入浴デーを設定し、公衆浴場での異年齢の子どもたちとの交流や世代間交流を推進します。	こども福祉課	継続
148	高齢者地域サロンにおける世代間交流	地域による運営を基本とした「地域のたまり場」を設け、ひとり暮らしの高齢者等の社会的孤立感解消を図るとともに、住み慣れた地域での生きがいづくりを支援します。	長寿福祉課	継続
149	善隣館活動の推進	善隣館が実施する地域交流等の事業に対し補助します。また、善隣館の史料を整理・保存し、善隣館の役割を次代に継承します。	福祉総務課	拡充
150	卯辰山公園健康交流センター千寿閣での世代間交流	卯辰山公園健康交流センター千寿閣で高齢者と子どもたちをはじめとした世代間交流事業を開催します。	長寿福祉課	継続
151	児童館フェスティバルの開催	市内31の児童館における活動成果の発表と遊びを通じた市民交流の場として、児童館フェスティバルを開催します。	城北児童会館	継続
152	ふれあい・学ぶ・子どもを育む広域交流	広域的な学習機会の提供と他地域の子どもたちとの現地での交流（高岡市など5市町）を促進します。	企画調整課	継続

(2) 思春期の心と体の健康づくり支援

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
153	ヘルスプロモーションの推進	金沢市健康教育推進プラン（第二次）で掲げる7つの健康課題に位置づけた健康教育計画を作成し、学校保健委員会及び学校医などの地域の人材を活用した健康教育を行います。	学校指導課	継続						
154	スポーツ活動等の充実	子どもの体力向上やスポーツに親しむ機会や場を提供します。	市民スポーツ課	継続						
155	性感染症予防(性教育) 出前講座	中学生、高校生を対象に、医師および保健師が学校へ出向き講演を実施し、性感染症に関する正しい知識と予防行動の重要性、性の健康を自分で守ることの必要性の理解を促します。	地域保健課	継続						
156	エイズ・性感染症相談および検査	保健所、所外で性感染症の相談や検査を実施します。	地域保健課	継続						
157	学校保健センターでの健康相談	医師、心理セラピスト等によるこころの相談や、肥満・調理実習などのすこやか発育相談など専門家によるカウンセリングを実施します。	学校指導課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【相談件数】</th> </tr> <tr> <th>現状(H21)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>350件</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	【相談件数】		現状(H21)	目標値(H26)	350件	現状維持
【相談件数】										
現状(H21)	目標値(H26)									
350件	現状維持									
158	「心と学びの支援員」の派遣	校内相談体制の充実と別室登校生徒の円滑な学級への復帰と学習を支援する人員を派遣します。	学校指導課	継続						
159	不登校児童生徒への支援	保護者・学校への相談・助言及び不登校児童生徒が通所する適応指導教室（市内2か所）での居場所づくり、ひきこもり児童生徒の訪問相談を行います。 また、ひきこもりや不登校の児童生徒の家庭へ大学生等のメンタルフレンドを派遣し、会話や遊び、スポーツなどを通して子どもの自主性と社会性の伸長、登校意欲の回復、家庭における養育機能の強化等を図ります。	教育プラザ富樫 (研修相談センター) (こども総合相談センター)	継続						

(3) 子どもの体験活動や情報提供の充実

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
160	金沢「絆」教育推進事業	中学校を対象とした体験活動や児童生徒・保護者・地域代表によるシンポジウムの開催、全市児童生徒ボランティア週間の設定等により、絆教育を多面的に推進します。	学校指導課	新規
161	金沢の伝統文化を体験する機会の提供	金沢の文化芸能活動の鑑賞や、歴史・まちなみ・伝統芸能などについて、体験や講義で学ぶ機会を提供します。	文化財保護課 文化政策課 生涯学習課 消防総務課 こども福祉課 玉川こども図書館	継続
162	職人の技術やものづくりを体験する機会の提供	職人の技術継承や後継者の育成を目指す塾の開催、ものづくり講座などを通して、物を大切に作る心を育む機会を提供します。	職人大学校 市立工業高校 文化政策課 ものづくり政策課	継続
163	金沢21世紀美術館や金沢美術工芸大学等における体験活動の機会の提供	21世紀美術館等や美術工芸大学において、子どもや親子を対象とした企画を行ったり、子ども視点の作品を展示するなどして、子どもの感性を磨く機会を設けます。	21世紀美術館 美術工芸大学 ものづくり政策課	継続
164	国際交流活動の機会の提供	①イルクーツク市や蘇州市へ中学生代表団を派遣するなど、姉妹都市との青少年相互交流や、②児童や親子を対象とした国際理解、文化交流イベントなどを開催します。	国際交流課	継続
165	環境活動の機会の提供	こどもエコクラブや市民参画によるピオトープづくりなどの体験型活動、ホタルや川の生き物などの自然観察などにより、環境保全の必要性を学ぶ機会を設けます。また、将来にわたり3Rを推進することの重要性や課題について現実を見つめながら、自分たちのできることや未来の生活について自由な発想で考えさせる場を提供します。	環境政策課 生涯学習課 学校指導課 リサイクル推進課	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
166	緑化活動の機会の提供	親子を対象とした花の写生会、りんごの収穫、田植え体験等を通して、緑や花の大切さを再発見し、愛情を深める場を提供します。	緑と花の課	継続
167	農業体験学習の機会の提供	小中学生を対象とした学校農園での加賀野菜等の作付けから収穫までの農業体験を行う場を設けます。	農業総務課 農業センター	継続
168	宇宙や科学に関する体験学習の機会の提供	子どもの宇宙や科学に関する興味や関心を養う場を設けます。	学校指導課 生涯学習課	継続
169	職場体験学習の機会の提供	中学2年生を対象とした学校・家庭・地域の連携による職場体験を実施します。	学校指導課	継続
170	読書活動の推進	読み聞かせや手遊び、わらべうたなどを通して、読書への意欲を育てるとともに、子ども達に豊かな情操を培う機会を設けます。	玉川図書館 泉野図書館 玉川こども図書館	継続
171	社会体験活動の機会の提供	ボランティア活動、勤労生産活動、自然体験活動などの様々な体験活動や、著名人などの講演を通して、豊かな心をもった子どもの育成を推進します。	生涯学習課 学校指導課 消防局予防課 文化政策課 (芸術創造財団)	継続
172	各種少年団体への活動支援	金沢市子ども会連合会、ボーイスカウト金沢地区協議会およびガールスカウト金沢地区協議会の活動に対し助成を行い、その活動を支援します。また、児童スポーツクラブに対し交付金を交付します。	生涯学習課 市民スポーツ課	継続
173	情報発信推進事業(『みまっ誌』の発行)	子どもと大人のための遊びや学びに関するイベント情報、自然体験活動・社会体験活動、生涯学習に関わる講座・催事などの情報を掲載した生涯学習情報誌を発行します。(年4回発行)	生涯学習課	継続
174	子どもHP「いいねキッズ」	子どもホームページ「いいねキッズ」の内容の情報更新を行うとともに、必要に応じ、内容の充実を図ります。	広報広聴課	継続
175	こども専用相談ダイヤル	児童生徒の不安や悩みに対応するため、フリーダイヤルによる子ども専用の電話相談を実施します。	こども総合相談センター	継続



No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
176	城北児童会館での各種クラブ活動	クラブ活動や行事を通して、子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする施設であり、定期的に親子のつどいの場を提供します。	城北児童会館	継続

## 基本施策2 よきパートナーとの出会いと生活自立の支援

### (1) 若い世代の交流の推進

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
177	元気なまち金沢リーダー支援事業	地域を支える人材育成目的とし、各種研修事業を実施します。①かなざわユースリーダー創生塾 ②リーダー交流事業（交流・自己啓発編） ③地域リーダー活性化事業（各団体への出前講座の実施）	生涯学習課	継続  【延参加者数】 現状(H21) 目標値(H26) 約 220人 250人
再掲13	ゆめまちづくり活動支援事業	<P76、No.13 参照>		

### (2) 若い世代の自立のための就業支援

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
178	安定雇用促進奨励金	国の「試行雇用事業」の対象となり、引き続き常用雇用となった、40歳未満の若年者及び母子家庭の母等を雇用する事業主に対し、奨励金を交付します。	労働政策課	継続
179	産学交流人材定着促進事業	大学等の就職担当者と地元中小企業がお互いの情報を交換し合い、地元企業の魅力を周知し、若者の地元定着を図ります。	労働政策課	継続
180	短期職場実習助成金	無料職業紹介所の求人登録事業所において、35歳未満の求職者に対して、職場実習を実施した事業主に対し、助成金を交付します。	労働政策課	継続
再掲169	職場体験学習の機会の提供	<P97、No.169 参照>		



## 基本方針 4 子どもと家族の心と体の健康づくりを支援する

### 基本施策 1 親と子の健康の確保

#### (1) 妊娠・出産・育児への総合的支援

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
181	母子健康手帳の交付と母子保健のしおりの配布	妊娠届出時に母子健康手帳の交付と母子保健のしおりを配布し、金沢市の母子保健制度と子育て支援の概要を説明し、併せて妊婦相談を行います。	福祉健康センター	継続
再掲 74	安心出産育児支援ネットワーク事業	ハイリスクの妊産婦や乳幼児に関し、医療機関と連携し早期に家庭訪問により支援するとともに虐待予防を図ります。	福祉健康センター	継続 【医療機関との連携件数】 現状 (H20) 312件 目標値 (H26) 増やす
182	すくすく母乳育児支援事業	未熟児等を出産した母親及び若年や未婚の母等に対し、助産師が家庭訪問し、乳房マッサージや栄養指導等を行います。	福祉健康センター	継続 【支援件数】 現状 (H20) 90件 目標値 (H26) 100件
183	妊産婦健康診査	妊産婦の保健管理の向上を図るため、医療機関に委託して健診を実施（妊婦14回、産婦1回）します。	健康総務課	継続 【受診回数】 現状 (H20) 妊婦：各回平均4,305件 産婦：3,855件 目標値 (H26) 増やす  (参考) H20 母子手帳交付数 4,299人
再掲 75	産後うつ病スクリーニングからの支援	産婦健康診査時に実施するエジンバラ産後うつ病自己評価票によるスクリーニング検査で高得点となった産婦に対して、家庭訪問等により支援を行います。	福祉健康センター	継続
184	産後ママヘルパーの派遣	産褥期のため家事や育児の困難な核家族等の家庭にヘルパーを派遣します。	こども福祉課	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性									
185	日曜子育て教室	妊婦とその配偶者を対象に、お産の準備、妊娠中の過ごし方等の教室を開催します。	福祉健康センター	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【開催回数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20回</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	【開催回数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	20回	現状維持			
【開催回数】													
現状 (H21)	目標値 (H26)												
20回	現状維持												
186	すくすく育児教室	6～8 か月頃の乳児と保護者を対象に、子どもの発達、子育て、離乳食の進め方などの教室を開催します。	福祉健康センター	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【開催回数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16コース</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	【開催回数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	16コース	現状維持			
【開催回数】													
現状 (H21)	目標値 (H26)												
16コース	現状維持												
187	福祉健康センターにおける各種教室	未熟児教室、多胎児教室を開催します。	福祉健康センター	継続									
188	ぱままきっすくらび	妊娠中の方、または生後1年までのお子様をお持ちの方を対象とした子育て教室を開催します。	市立病院	継続									
189	医療機関委託による乳幼児健康診査	乳幼児の保健管理の向上を図るため、医療機関に委託して健診を実施（新生児、6か月、1歳、2歳）します。	健康総務課	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【受診率】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H20)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新生児：88.9%</td> <td rowspan="5">増やす</td> </tr> <tr> <td>6か月児：88.8%</td> </tr> <tr> <td>1歳児：86.1%</td> </tr> <tr> <td>2歳児：62.4%</td> </tr> </tbody> </table>	【受診率】		現状 (H20)	目標値 (H26)	新生児：88.9%	増やす	6か月児：88.8%	1歳児：86.1%	2歳児：62.4%
【受診率】													
現状 (H20)	目標値 (H26)												
新生児：88.9%	増やす												
6か月児：88.8%													
1歳児：86.1%													
2歳児：62.4%													

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性																
190	福祉健康センターで行う乳幼児健康診査	受診率の向上に努めます。	福祉健康センター	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【健康診査満足度 (ニーズ調査)】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H20)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.7%</td> <td>増やす</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【受診率】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H20)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児 98.2%</td> <td>3か月児 99%</td> </tr> <tr> <td>1才6か 月児 96.3%</td> <td>1才6か 月児 97%</td> </tr> <tr> <td>3才児 95.8%</td> <td>3才児 96%</td> </tr> </tbody> </table>	【健康診査満足度 (ニーズ調査)】		現状 (H20)	目標値 (H26)	77.7%	増やす	【受診率】		現状 (H20)	目標値 (H26)	3か月児 98.2%	3か月児 99%	1才6か 月児 96.3%	1才6か 月児 97%	3才児 95.8%	3才児 96%
【健康診査満足度 (ニーズ調査)】																				
現状 (H20)	目標値 (H26)																			
77.7%	増やす																			
【受診率】																				
現状 (H20)	目標値 (H26)																			
3か月児 98.2%	3か月児 99%																			
1才6か 月児 96.3%	1才6か 月児 97%																			
3才児 95.8%	3才児 96%																			
191	健康診査事業への心理相談員と保育士の配置	1歳6か月児・3歳児健康診査において子どもの状態や親子関係の把握や、育児不安、悩み等をもつ保護者に対する個別相談を実施します。	福祉健康センター	継続																
192	健康診査事後指導の実施	乳幼児健康診査後のフォローアップとして専門相談や保健師、栄養士による訪問・電話相談等を実施します。	福祉健康センター	継続																
193	乳幼児健康診査未受診者への対応	乳幼児健康診査未受診者の状況把握を実施します。	福祉健康センター	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【状況把握率】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児 100%</td> <td>3か月児 100%</td> </tr> <tr> <td>1才6か 月児 77.2%</td> <td>1才6か 月児 80%</td> </tr> <tr> <td>3才児 73.6%</td> <td>3才児 80%</td> </tr> </tbody> </table>	【状況把握率】		現状 (H21)	目標値 (H26)	3か月児 100%	3か月児 100%	1才6か 月児 77.2%	1才6か 月児 80%	3才児 73.6%	3才児 80%						
【状況把握率】																				
現状 (H21)	目標値 (H26)																			
3か月児 100%	3か月児 100%																			
1才6か 月児 77.2%	1才6か 月児 80%																			
3才児 73.6%	3才児 80%																			
194	福祉健康センターにおける相談事業	乳幼児健康相談、乳幼児整形外科相談、幼児精神発達相談、ダウン症児発達相談、ヘルシー食生活相談、遺伝相談を実施します。	福祉健康センター	継続																
195	栄養相談	妊婦、乳幼児とその保護者を対象に栄養に関する相談を実施します。	福祉健康センター	継続																

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
再掲 76	元気に育て！赤ちゃん訪問事業	保健師または助産師である訪問指導員が生後まもない乳児およびその保護者全世帯への訪問指導を実施し、母子の健康増進および育児不安の解消を図ります。	福祉健康センター	継続
196	妊婦栄養教室	日曜子育て教室と同時開催で、妊娠5～7か月の妊婦と夫に対し、フードモデルを使った体験学習等をとおり、生活習慣の改善に関する健康教育を行い、併せて「妊産婦のための食生活指針」の普及啓発をすすめます。	福祉健康センター	継続
再掲 103	乳児期予防接種費助成	髄膜炎からこどもを守るための任意予防接種（ヒブ、肺炎球菌）に対して乳児1人につき、1年度1回限り、上限3,000円を助成します。	健康総務課	継続
再掲 104	幼児期予防接種費助成	任意予防接種5種（インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、ヒブ、肺炎球菌）に対して幼児1人につき、1年度1回限り、上限1,000円を助成します。	健康総務課	新規

## （2）食育の推進

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
197	乳幼児に対する食育の推進	離乳食教室、出前教室、しっかり食べよう教室等の開催により、乳幼児に対する食育を推進します。	教育プラザ富樫 (研修相談センター) 福祉健康センター	継続
198	保育所の給食を通じた食育の推進	保育所の給食献立や給食だよりを配布し、子どもと家庭の心身の健康を支援します。	教育プラザ富樫 (研修相談センター)	継続
199	学校給食を通じた食育の推進	給食献立表および給食だよりの家庭配布や、行事食や郷土料理などの献立の実施、地場産物を利用した献立を生徒から募集するなど、学校給食を通じた食育を推進します。	教育総務課	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
200	学校教育における食育の推進	学校において、家庭科、保健体育科、総合的な学習の時間等を通して、望ましい食習慣の形成等、食に関する指導を実施します。	学校指導課	継続						
201	思春期における食育の推進	中高大学生の思春期世代をはじめ、子育て中の保護者を対象に、各種教室の開催時に食育推進のリーフレット「朝食を食べよう」「食事バランスガイド」等の配布等を行い、健康増進を啓発します。	地域保健課	検討						
202	食生活改善推進員の養成	食生活改善のため推進するボランティア（食生活改善推進員）を養成します。	地域保健課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【登録者数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>256人</td> <td>300人</td> </tr> </tbody> </table>	【登録者数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	256人	300人
【登録者数】										
現状 (H21)	目標値 (H26)									
256人	300人									
203	地元食材を使った朝食メニューの作成	親子を対象に地元食材を使った朝食献立コンクールを開催、採用レシピを小学校低学年生に配布し、朝食の摂取の大切さを啓発します。	近江町交流プラザ	検討						
204	金沢こども料理塾	子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ健全な食生活の習慣を目指すとともに、金沢の食文化等への理解を深めます。	近江町交流プラザ	継続						
205	食育広場普及推進事業	市内小学生を招き、近江町市場関係者の話を聞き、市場内の様子を直に見学すること等により、食に関する興味や関心を高め、食育の推進を図ります。	近江町交流プラザ	継続						
206	「食育かなざわ」食べよう学ぼう推進事業	地場農産物を給食食材として提供し、生産農家と児童・園児との交流により、農業に対する理解を深めます。金沢市産の米を小中学生に食べてもらい、金沢産米の消費拡大を図ります。金沢市産の1等米と現行学校米飯(石川県産2等米)との価格差の1/2を市が負担します。	農業総務課	継続						

### (3) 歯科保健事業の充実

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
207	子どもの歯の健康づくり相談	う蝕リスクの子どもとその保護者に対して、歯科相談を行います。	地域保健課	継続 【3歳児重度う蝕有病者率】 現状(H20) 5.1%   目標値(H26) 4.0%
208	親子むし歯予防出前講座	育児サークルなどの乳幼児とその保護者に対して、歯と口の健康づくり講話を行います。	地域保健課	継続
209	幼児歯科健康診査	生涯を通じた歯の健康づくりの出発点として、歯科健康診査後に歯科衛生士が個別に歯科保健指導を行います。 ①1歳6か月児歯科健康診査 ②3歳児歯科健康診査	福祉健康センター	継続 【3才児う蝕有病者率】 現状(H20) 17.3%   目標値(H26) 17.0%
210	歯ッピーウェルカム	歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発と歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図ることを目的に、歯科検診、歯科保健指導、フッ素塗布を行うイベントを金沢市歯科医師会との共催により実施します。	健康総務課	継続 【参加者】 現状(H21) 3,575人   目標値(H26) 増やす

## 基本施策2 小児医療体制の整備

### (1) 救急医療体制の整備

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
211	金沢総合健康センター急病診療事業	金沢総合健康センターで夜間の急病診療を実施します。	健康総務課	継続
212	休日在宅当番医制度	日曜、祝日、年末年始に在宅当番医・薬局による救急医療体制を確保します。	健康総務課	継続
213	病院群輪番制事業	土曜夜間及び休日における、金沢総合健康センター夜間急病診療所、在宅当番医に連動する第二次救急医療体制を確保します。	健康総務課	継続

(2) 事故予防と感染症対策の強化

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性													
214	子どもの事故防止啓発の推進	福祉健康センターに設けた、子どもの事故防止啓発コーナーの充実を図るとともに、乳幼児健診などでの啓発を行います。	福祉健康センター	継続													
215	予防接種事業	<p>感染のおそれのある疾病およびまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上および増進に寄与する事を目的に実施します。</p> <p>集団接種＝ポリオ・BCG                      個別接種＝三種混合・ジフテリア2期・麻しん・風しん・日本脳炎</p> <p>厚生労働省通知により H17 年度より日本脳炎については接種勧奨を中止</p>	福祉健康センター	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【接種率】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H20)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジフテリア2期 82%</td> <td rowspan="10">95%</td> </tr> <tr> <td>ポリオ 103.4%</td> </tr> <tr> <td>三種混合 99.9%</td> </tr> <tr> <td>BCG 97.8%</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん 第1期 97%</td> </tr> <tr> <td>第2期 93.5%</td> </tr> <tr> <td>第3期 91.5%</td> </tr> <tr> <td>第4期 83%</td> </tr> </tbody> </table>	【接種率】		現状 (H20)	目標値 (H26)	ジフテリア2期 82%	95%	ポリオ 103.4%	三種混合 99.9%	BCG 97.8%	麻しん風しん 第1期 97%	第2期 93.5%	第3期 91.5%	第4期 83%
【接種率】																	
現状 (H20)	目標値 (H26)																
ジフテリア2期 82%	95%																
ポリオ 103.4%																	
三種混合 99.9%																	
BCG 97.8%																	
麻しん風しん 第1期 97%																	
第2期 93.5%																	
第3期 91.5%																	
第4期 83%																	
216		感染症予防対策	感染症に関する情報提供を行います。	地域保健課	継続												
217		保育所感染症把握事業	保育所で発生した感染症を把握し、情報を提供することにより、保育所でのまん延防止や今後の予防に役立てます。	こども福祉課 教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続												
218	B型肝炎母子感染防止	B型肝炎母子感染予防を目的に、妊娠初期に HBs 抗原検査を実施します。	健康総務課	継続													
219	SIDS(乳幼児突然死症候群)予防の啓発	乳幼児突然死症候群発症の危険を低くするため、母子保健事業の機会を利用して、知識の普及・啓発を図ります。	福祉健康センター	継続													

### 基本施策3 発達の違いや障害のある子どもへの支援

#### (1) きめ細かな相談・療育体制の充実

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
220	乳幼児期から中学生までの総合巡回相談事業	子どもの健やかな成長を推進する上で、集団活動場面での乳幼児・児童生徒の不応や発達障害などへの支援の充実を図るため、専門的知識・経験を有する巡回専門相談員が、保育所・幼稚園・学校等へ巡回し、子どもの行動や特徴などを観察しながら、教職員、保護者等への支援を行います。	教育プラザ富樫 (研修相談センター) (こども総合相談センター)	継続						
221	「気になる子」のためのネットワーク事業 (大学との連携推進事業)	対応に配慮が必要な発達障害児等の「気になる子」について、発達の早い段階からの適切な支援が効果的であるため、子どもに関わる関係機関と大学が連携してネットワークをつくり、幼児期から学齢期を通しての継続的な支援のあり方を協議します。	教育プラザ富樫	新規						
222	教育プラザ富樫における専門相談	小児科医、精神科医、臨床心理士、言語聴覚士等の専門家による相談を実施します。	教育プラザ富樫 (研修相談センター) (こども総合相談センター)	継続						
223	幼児相談室	言葉の遅れや、情緒不安定など子どもの発達で気になることについて、保護者等が相談し、継続的で適切な指導を受けることができるよう、教育プラザ富樫、森山保育所及び八日市保育所に相談室を設置しています。	教育プラザ富樫 (こども総合相談センター)	継続						
224	統合保育	発達に遅れを有すると思われる幼児で保育に欠ける児童の保育を行います。	こども福祉課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【受入可能か所数】</th> </tr> <tr> <th>現状(H21)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>107か所</td> <td>全か所</td> </tr> </tbody> </table>	【受入可能か所数】		現状(H21)	目標値(H26)	107か所	全か所
【受入可能か所数】										
現状(H21)	目標値(H26)									
107か所	全か所									



No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
225	特別支援教育指導補助員等の派遣	通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒の指導のため、教育的・介助的な支援を行う補助員やサポーター（学校行事の際）を派遣します。	学校指導課	継続
226	心身障害児通園施設ひまわり教室	日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応訓練を実施します。	障害福祉課	継続
227	小児慢性特定疾患児ピアカウンセリング	養育者の不安や悩みを、既養育者等が助言・指導することにより、その解消を図ります。	地域保健課	継続
228	心身障害児水泳療育訓練	水泳による療育訓練を通し、日頃の運動不足を解消するとともに、障害のある児童の機能回復・情緒安定を図り、自立を促進します。	障害福祉課	継続
229	親子療育のつどい	集団行動及び体験学習などを通じて、児童成年期に在宅生活を送る上で必要な知識を身につけ、併せて親子・医師・指導者の共通認識を深めます。	障害福祉課	継続
230	アレルギー疾患等の配慮を要する児童の保育の充実	アレルギー疾患等の配慮を要する児童の受け入れについて、教育プラザ富樫管理栄養士等の巡回相談や、保育所職員の研修などを実施し、一人ひとりの児童に配慮した保育を提供します。	こども福祉課 教育プラザ富樫 (研修相談センター)	継続
231	障害児のための拠点型児童クラブの運営	養護学校に就学している障害のある児童の保護者が、就労により昼間家庭にいない児童を対象とした、児童クラブを開設します。	こども福祉課	継続
232	放課後児童クラブにおける障害児の受け入れ	児童クラブにおいて障害のある児童の受け入れを行います。	こども福祉課	拡充

## (2) 日常生活支援の充実

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
233	特別児童扶養手当	常時の介護を必要とする20歳未満の障害のある児童を養育する者に手当を支給します。	障害福祉課	継続

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
234	日常生活用具給付	日常生活を営むのに支障がある障害のある児童に、日常生活上の便宜を図る用具を支給あるいは貸与します。	障害福祉課	継続
235	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付	小児慢性特定疾患治療研究事業の対象となっている児童等に対し日常生活用具を給付します。	地域保健課	継続
236	障害児福祉手当	20歳未満の在宅の重度の障害児に対し手当を支給します。	障害福祉課	継続
237	障害児補装具給付	障害のため失われた部位や欠陥を補うための用具の交付および修理を行います。	障害福祉課	継続

#### 基本施策4 不妊への支援の充実

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
238	不妊治療費の助成	不妊治療にかかる治療費の一部を助成します。	健康総務課	継続
239	不妊に関する情報提供の充実	不妊治療を実施する医療機関等や不妊に関する相談機関等の情報提供を行います。	福祉健康センター	継続

基本方針5 子どもをとりまく安全で優しい生活環境をつくる

基本施策1 「子育てバリアフリーのまち金沢」の推進

(1) 安心して外出できる環境の整備

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
240	市施設の子育てバリアフリーの推進	市施設の子育てにやさしいトイレや授乳室の設置など子育てバリアフリーを促進します。	総務課 市民課 玉川図書館 泉野図書館 玉川こども図書館 福祉健康センター 市民スポーツ 文化政策課	検討						
241	ユニバーサルデザイン公園の整備	子どもから障害者、お年寄りまで全ての人が同じように憩うことができる公園の整備を進めます。	緑と花の課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【整備か所数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>193 か所</td> <td>205 か所</td> </tr> </tbody> </table>	【整備か所数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	193 か所	205 か所
【整備か所数】										
現状 (H21)	目標値 (H26)									
193 か所	205 か所									
242	金沢駅西広場再整備事業	北陸新幹線開業に併せ、人や車の円滑な移動を可能にするため、金沢駅西広場の機能を見直し、バリアフリー対応化など再整備を行います。	都市計画課	継続						
243	西金沢駅周辺整備事業	自由通路、橋上駅舎、東西駅前広場、駅西アクセス道路、西金沢2丁目公園について、バリアフリーに対応した整備を行います。	都市計画課	継続						
再掲 142	木と遊ぶデザイン制作（地産児遊）	<P93、No.142 参照>								

(2) 安心・安全な道路交通環境の整備

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性												
244	歩行空間ネットワーク整備事業	「歩いて暮らせる街づくり」を推進するため、歩行による移動の円滑化や快適な歩行空間の形成を図り、整備を順次実施します。	道路管理課	継続												
245	金沢市交通バリアフリー基本構想の推進	金沢市交通バリアフリー基本構想に基づき、公共交通事業者や道路管理者などが利用者の利便向上を目指しバリアフリー改善策を順次進めます。	交通政策課	継続												
246	人と環境にやさしいバス車両の導入、バス停のバリアフリー化	バス利用の推進を目指した金沢オムニバスタウン計画に基づき、交通事業者が実施するノンステップバスの導入やバリアフリーバス停・上屋・シェルター等バス停整備に対し、国、県と協調し補助します。	交通政策課	継続 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【ノンステップバス 購入台数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30台</td> <td>60台</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【バス停整備 か所数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11か所</td> <td>21か所</td> </tr> </tbody> </table>	【ノンステップバス 購入台数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	30台	60台	【バス停整備 か所数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	11か所	21か所
【ノンステップバス 購入台数】																
現状 (H21)	目標値 (H26)															
30台	60台															
【バス停整備 か所数】																
現状 (H21)	目標値 (H26)															
11か所	21か所															
247	ふらっとバスの運行	「金沢ふらっとバス」の運行により交通弱者への外出支援、交通不便地域の解消、中心市街地の活性化を図ります。	歩ける環境推進課	継続												
248	公共交通利用促進のための意識啓発 (公共交通利用促進アクションプログラム)	親子などがバスや電車等の見学会を通じて、公共交通についての関心を深めます。	交通政策課	新規												
249	こども公共交通ふれあい事業	子どもたちにバスや電車の楽しさを体験してもらい、公共交通になれ親しみながら、マナーを学ぶ機会を提供します。	交通政策課	新規												

## 基本施策2 良質な住宅の確保と住環境の整備

### (1) 子育て世帯に望ましい住宅と住環境の整備

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
250	市営住宅の母子世帯向け優先入居の実施	市営住宅への入居の選考に際し、空室の状況により母子世帯の枠を設け、優先的な取扱を実施します。	市営住宅課	継続
251	市営住宅の多人数世帯の優先入居の実施	市営住宅への入居の選考に際し、世帯人数が4人以上である世帯に対する優先的な取扱いを実施します。	市営住宅課	継続
252	シックハウス相談窓口の設置	シックハウス症候群やカビ・ダニによる健康被害等の住まいの環境が原因と思われる体調不良等に関する相談を実施します。	衛生指導課	継続

### (2) まちなか定住の支援

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
253	いい街金沢住まいづくり奨励金	<p>まちづくり協定等締結区域で45歳未満のファミリー世帯を対象に新築住宅購入借入金の一部を助成します。</p> <p>対象 一戸建て住宅</p> <p>助成内容 金融機関からの借入金の2.5%を助成(限度額 50万円)</p> <p>・多子世帯(18歳未満の子ども3人以上と同居する世帯)の場合借入金の1.0% 限度額20万円上乗せ</p>	住宅政策課	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【交付件数】</th> </tr> <tr> <th>現状(H20)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>109件</td> <td>増やす</td> </tr> </tbody> </table>	【交付件数】		現状(H20)	目標値(H26)	109件	増やす
【交付件数】										
現状(H20)	目標値(H26)									
109件	増やす									

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
254	まちなか住宅建築奨励金	<p>まちなかでの金沢らしい住宅の新築、購入に対し奨励金を交付します。</p> <p>対象 一戸建て住宅</p> <p>助成内容 金融機関からの借入金の10%を助成            (限度額 200 万円、2 世帯住宅は 300 万円) 駐車場等に建設した場合、            助成率 1.5% (限度額 30 万円) を上乗せ            (H20 改正) 40 歳未満→45 歳未満の若年世代の場合、            助成率 2.5% (限度額 50 万円) を上乗せ            (H21 改正) 多子世帯(*) の場合            助成率 1.0% (限度額 20 万円) を上乗せ (*) 18 歳未満の子ども 3 人以上と同居する世帯</p>	住宅政策	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【交付件数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H20)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48 件</td> <td>増やす</td> </tr> </tbody> </table>	【交付件数】		現状 (H20)	目標値 (H26)	48 件	増やす
【交付件数】										
現状 (H20)	目標値 (H26)									
48 件	増やす									

### 基本施策 3 子どもの安全の確保

#### (1) 子どもの事故予防の推進

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
255	交通安全教育の推進	保育所、幼稚園、小学生を対象とした交通安全教室や自転車教室を開催します。	歩ける環境推進課	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【参加者数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H20)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,340 人</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	【参加者数】		現状 (H20)	目標値 (H26)	11,340 人	現状維持
【参加者数】										
現状 (H20)	目標値 (H26)									
11,340 人	現状維持									
256	高校生自転車マナーの啓発	金沢市内の高校生を対象として、自転車教室を開催し、交通安全意識を高めることにより自転車交通事故による死傷者の減少を図ります。	歩ける環境推進課	新規						
257	遊具の安全点検及び安全で魅力のある施設整備	(財)金沢まちづくり財団に委託し、遊具の定期点検及び修繕を実施。21 年度からは国庫補助を活用し、時代に即した新しい遊具の導入などを実施します。	緑と花の課	継続						

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性
258	母親クラブ（地域組織活動育成クラブ）による児童の事故防止等活動	地域組織活動育成クラブ（母親クラブ）が地域の実情に応じて、遊び場の遊具の点検、特に幼児の遊び場の巡回、交通安全活動、非行防止活動等の奉仕活動を行います。	こども福祉課	継続
再掲 214	子どもの事故防止啓発の推進	<P105、No.214 参照>		

## （２）防犯・防災対策の推進

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
259	保育所等における防犯対策の推進	門、フェンスの施錠や玄関のモニター付インターフォンの設置等の施設管理を徹底するとともに、地域と連携して防犯対策に努めます。	こども福祉課	継続						
260	学校における防犯対策の推進	平成13年度に市教育委員会が作成した防犯マニュアルを基に、市内の全小中学校が学校独自の防犯（危機管理）マニュアルを作成し、見直しを随時行い、各校の実情に応じた防犯体制の強化を図ります。	学校指導課	継続						
261	子どもの安全を守る地域ボランティア活動の推進	金沢学校防犯ボランティアによる通学路の見守り活動を支援します。	教育総務課	継続						
262	地域における防犯対策の推進	地域ごとに、地域子ども指導員を委嘱し、子どもの健全育成に関係のある団体と連携して、地域の行事における巡回及び声かけその他の子どもの安全確保のための活動を実施します。	教育プラザ富樫 (地域教育センター)	継続						
263	街路灯の設置	地域の町会等の代表者からの要望に基づき、夜間における犯罪等の発生の恐れのある箇所に街路灯を設置します。	防災管理課	継続 <table border="1" data-bbox="1241 1778 1461 1921"> <thead> <tr> <th colspan="2">【街灯設置灯数】</th> </tr> <tr> <th>現状 (H21)</th> <th>目標値 (H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>627</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>	【街灯設置灯数】		現状 (H21)	目標値 (H26)	627	600
【街灯設置灯数】										
現状 (H21)	目標値 (H26)									
627	600									

No.	事業等	事業の概要	担当課	方向性						
264	地域安全パトロールの実施	警察、防犯協会、地域ボランティアが連携して、青色回転灯を取り付けた地域安全パトロールカーで、パトロールを実施します。	防災管理課	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【実施団体数】</th> </tr> <tr> <th>現状(H21)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>113</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>	【実施団体数】		現状(H21)	目標値(H26)	113	120
【実施団体数】										
現状(H21)	目標値(H26)									
113	120									
265	生活安全事業の実施	突発的な不安、脅威、危険等の事象に対し、地域ぐるみで対処する場合に当該地域の活動に対して助成します。 町会等が防犯パトロール等を実施する際に使用する拍子木、タスキ等の防犯用品を供与します。	防災管理課	<p>継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【団体数】</th> </tr> <tr> <th>現状(H21)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	【団体数】		現状(H21)	目標値(H26)	16	30
【団体数】										
現状(H21)	目標値(H26)									
16	30									
266	地域コミュニティ安全活動支援事業	地域コミュニティ団体が新たに実施する活動事業および市民生活に悪影響を及ぼすような突発的な不安、脅威、危険であると認められる事例における活動事業に対して財政的支援を行います。	防災管理課	継続						
267	保育所等における防災体制の強化	保育所、児童館等において防災マニュアルの確認と必要な更新を随時行い、各所・館の防災体制の強化を図ります。また、私立保育所や幼稚園、児童館等の社会福祉施設の耐震診断、耐震設計経費を助成するとともに、地域と連携して防犯対策に努めます。	こども福祉課 福祉総務課 教育総務課	継続						
268	学校における防災体制の強化	学校施設の計画的な耐震化を図ります。また、市内の全小中学校が学校独自の防災マニュアルを作成し、随時見直しを行い、各校の実情に応じた防災体制の強化を図ります。	教育総務課 学校指導課	継続						



## 2 指標設定事業一覧

基本方針 1 親と子どもが心豊かに社会と向きあえる子育て環境をつくる				
No.	事業等	指標項目	現状 (H21) (一部についてはH20)	目標値 (H26)
4	子育てファミリーカレッジ	参加者数	—	年 180 人
5	家庭教育学級	延べ参加者数	25,948 人 (H20)	年 26,000 人
6	かなざわ親塾	開催回数	86 回	現状維持
10	父と子のふれあい教室	開催回数	1 回	増やす
13	ゆめまちづくり活動支援事業	申請事業数	10	30
14	男女共同参画出前講座	受講者数	265 人 (H20)	増やす
15	かなざわ子育て虹色クーポン	交付率	—	60%
17	「はじめまして絵本」事業費	ブックスタート 参加率	—	96%
29	金沢こども広場事業の充実	設置か所数	6 か所	6 か所
		利用者数	138,802 人 (H20)	増やす
30	金沢子育て夢ステーションの設置	実施か所数	保育所： (市立) 12 か所 (私立等) 70 か所 幼稚園：20 か所 児童館：30 か所	保育所： (市立) 12 か所 (私立等) 93 か所 幼稚園：26 か所 児童館：30 か所
31	子育てサロンの充実	実施か所数	地区：32 地区 NPO：5 か所	地区：34 地区 NPO：5 か所
32	地域子育て支援センター	実施か所数	市立：1 か所 私立：6 か所	市立：1 か所 私立：6 か所
33	地区児童館事業の充実	児童館数	30 か所	地域の自主性を 尊重し、拡充
		利用者数	685,916 人 (H20)	700,000 人
43	一時預かり	受入可能か所数	106 か所	113 か所
44	休日一時預かり	実施か所数	1 か所	1 か所
45	児童ショートステイ	実施か所数	2 か所	2 か所
46	ファミリーサポートセンター事業の充実	提供会員数	511 人 (H22.1 月末現在)	800 人
49	子育て総合情報誌の充実	子育てお役立ち BOOK・WEB・モ バイルの認知度 (二エズ調査)	就学前：56.8% 小学生：34.2% (H20)	増やす

## 基本方針 1 親と子どもが心豊かに社会と向きあえる子育て環境をつくる

No.	事業等	指標項目	現状（H21） （一部についてはH20）	目標値 （H26）
50	子育てお役立ちメール	配信登録者数	625件 （H22.1月末現在）	増やす
51	インターネット、携帯電話を活用した情報提供	子育てお役立ちBOOK・WEB・モバイルの認知度 （ニーズ調査）	就学前：56.8% 小学生：34.2% （H20）	増やす
63	子育て地域人材養成事業（家庭教育サポーターの養成）	参加率	66%	80%
89	母子寡婦自立支援事業	講習会受講者数	88人	100人
90	母子自立支援プログラム策定事業	年間プログラム策定数	34件 （H20）	50件
92	母子家庭の母等雇用奨励金	交付者数	80人 （H20）	現状維持
117	里親委託の促進	里親等委託率	2.8% （H20）	10%
		里親登録世帯数	13世帯 （H20）	30世帯

## 基本方針 2 仕事と生活が調和できる環境をつくる

No.	事業等	指標項目	現状（H21） （一部についてはH20）	目標値 （H26）
122	子育てにやさしい企業の認証	認証企業数	29社	増やす
129	通常保育	受入可能人数	11,330人	11,750人
130	延長保育	受入可能か所数	111か所	112か所
131	24時間保育	受入可能か所数	1か所	1か所
132	病児一時保育	受入可能か所数	5か所	7か所
133	夜間保育	実施か所数	2か所	2か所
134	休日保育	受入可能か所数	7か所	7か所
136	児童トワイライトステイ	実施か所数	1か所	1か所
137	私立幼稚園預かり保育推進助成事業	実施か所数	24か所 （H20）	増やす
138	放課後児童クラブの拡充	クラブ数	76クラブ	80クラブ
		受入人数	3,893人	4,000人

### 基本方針3 金沢市を担う未来の親の育成と若者の自立を支援する

No.	事業等	指標項目	現状（H21） （一部についてはH20）	目標値 （H26）
157	学校保健センターでの健康相談	相談件数	350件	現状維持
177	元気なまち金沢リーダー支援事業	延参加者数	約220人	250人

### 基本方針4 子どもと家族の心と体の健康づくりを支援する

No.	事業等	指標項目	現状（H21） （一部についてはH20）	目標値 （H26）
74	安心出産育児支援ネットワーク事業	医療機関との連携件数	312件 (H20)	増やす
182	すくすく母乳育児支援事業	支援件数	90件 (H20)	100件
183	妊産婦健康診査	受診回数	妊婦：各回平均 4,305件 産婦：3,855件 (H20)	増やす
185	日曜子育て教室	開催回数	20回	現状維持
186	すくすく育児教室	開催回数	16コース	現状維持
189	医療機関委託による乳幼児健康診査	受診率	新生児：88.9% 6か月児：88.8% 1歳児：86.1% 2歳児：62.4% (H20)	増やす
190	福祉健康センターで行う乳幼児健康診査	健康診査満足度 (二一ズ調査)	77.7% (H20)	増やす
		受診率	3か月児：98.2% 1才6か月児：96.3% 3才児：95.8% (H20)	3か月児：99% 1才6か月児：97% 3才児：96%
193	乳幼児健康診査未受診者への対応	状況把握率	3か月児：100% 1才6か月児：77.2% 3才児：73.6%	3か月児：100% 1才6か月児：80% 3才児：80%
202	食生活改善推進員の養成	登録者数	256人	300人
207	子どもの歯の健康づくり相談	3歳児重度う歯有病者率	5.1% (H20)	4.0%
209	幼児歯科健康診査	3才児う蝕有病者率	17.3% (H20)	17.0%
210	歯ッピーウェルカム	参加者数	3,575人	増やす

#### 基本方針4 子どもと家族の心と体の健康づくりを支援する

No.	事業等	指標項目	現状（H21） （一部についてはH20）	目標値 （H26）
215	予防接種事業	接種率	ジフテリア2期：82% ポリオ：103.4% 三種混合：99.9% BCG：97.8% 麻しん風しん 第1期：97% 第2期：93.5% 第3期：91.5% 第4期：83% （H20）	95%
224	統合保育	受入可能か所数	107 <b>か所</b>	全か所

#### 基本方針5 子どもをとりまく安全で優しい生活環境をつくる

No.	事業等	指標項目	現状（H21） （一部についてはH20）	目標値 （H26）
241	ユニバーサルデザイン公園の整備	整備か所数	193 <b>か所</b>	205 <b>か所</b>
246	人と環境にやさしいバス車両の導入、バス停のバリアフリー化	ノンステップバス購入台数	30 台	60 台
		バス停整備か所数	11 か所	21 か所
253	いい街金沢住まいづくり奨励金	交付件数	109 件 （H20）	増やす
254	まちなか住宅建築奨励金	交付件数	48 件 （H20）	増やす
255	交通安全教育の推進	参加者数	11,340 人 （H20）	現状維持
263	街路灯の設置	街灯設置灯数	627	600
264	地域安全パトロールの実施	実施団体数	113	120
265	生活安全事業の実施	団体数	16	30

計画全体にかかる指標

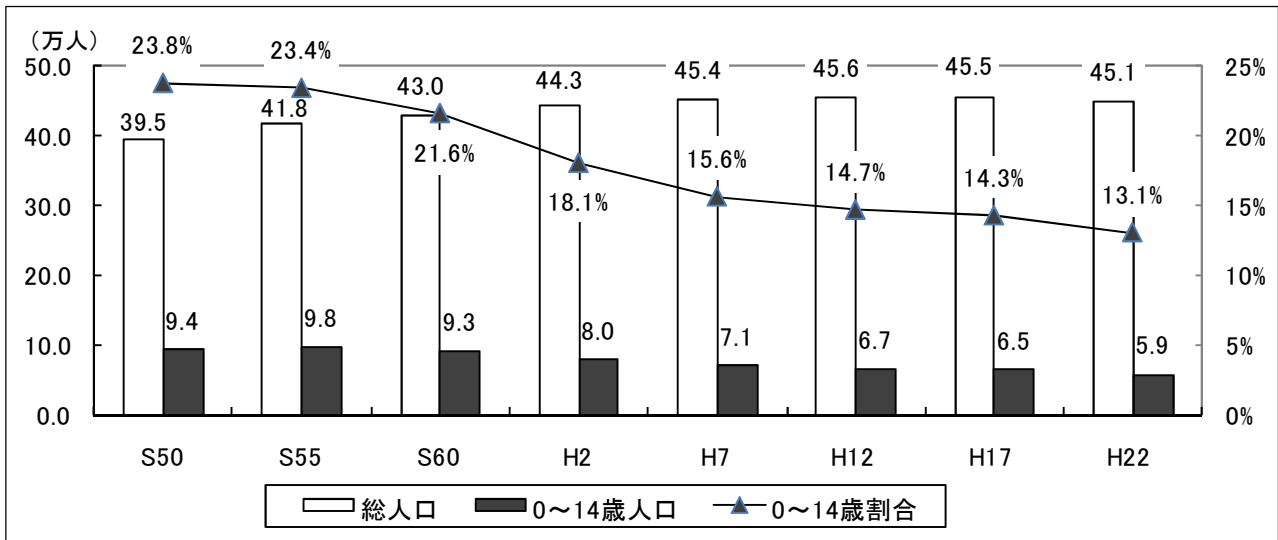
項目	単位等	現状（H21） （一部についてはH20）	
年間出生数	金沢市衛生年報	4,327人 (H20)	
合計特殊出生率	その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が、仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子どもを生むと仮定したときの子どもの数に相当する。	金沢市（H20）	1.36
		石川県（H20）	1.41
		全国（H20）	1.37
0～14歳人口	10月1日現在住基人口	63,001人	
若者の就業率	石川県労働力調査 石川県としての数値	15～24歳	39.7
		25～34歳	84.9
思春期やせ・肥満	中学生の肥満傾向・痩身傾向 標準体重から肥満度を求める	男子20%以上超過	7.96
		男子20%以上不足	6.54
		女子20%以上超過	2.11
		女子20%以上不足	4.01
乳児死亡率	金沢市衛生年報	1.8% (H20)	
周産期死亡率	金沢市衛生年報	4.6% (H20)	
低体重児	金沢市衛生年報（H20）	2,500g未満	8.1%
		1,500g未満	0.7%
		1,000g未満	0.2%
不妊治療費の助成	健康総務課	特定不妊治療	210件 (H20)
		一般不妊治療	204件 (H20)
交通事故15歳以下死傷者数	石川県警	死者	0
		傷者	233
事故種別年齢区分別搬送人員	金沢市消防局 消防年報(H20)	新生児	4
		乳幼児	552

### 3 本市の子育て家庭を取り巻く現状

#### (1) 人口の現状と推計

##### ◆総人口と年少人口割合の推移

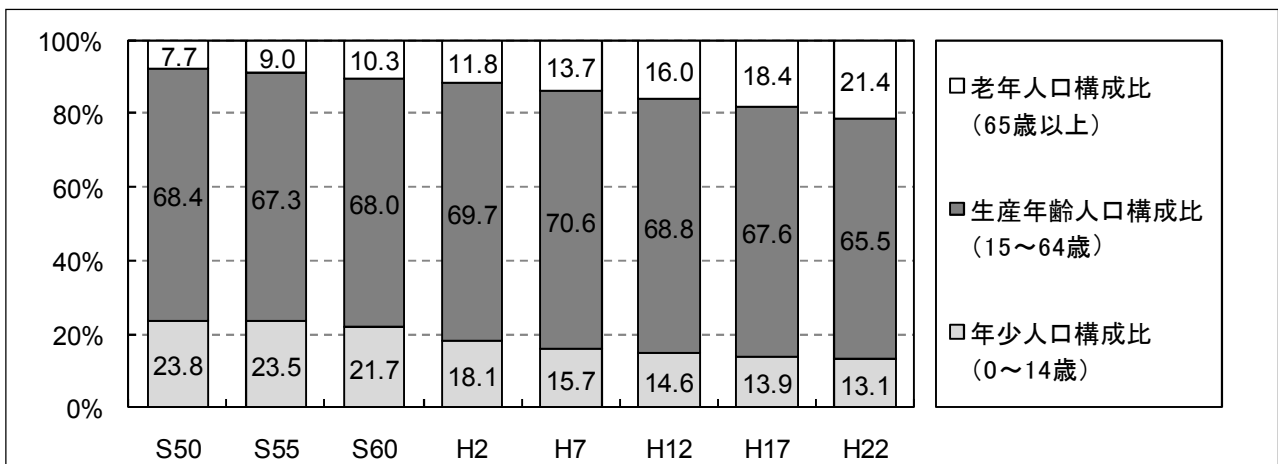
市の総人口は、平成 17 年に 454,607 人となり、昭和 50 年の 395,268 人から、59,339 人、15.0%増加しています。



資料：昭和 50 年～平成 17 年は「国勢調査」、  
平成 22 年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成 20 年 12 月推計）

##### ◆人口の年齢構成比

年齢三区分別に人口の推移をみると、65 歳以上人口が 5 年ごとに大幅な増加を示しているのに対して、0~14 歳人口の構成比は昭和 50 年をピークに減少の一途にあり、確実に少子・高齢社会へ進んでいることがわかります。



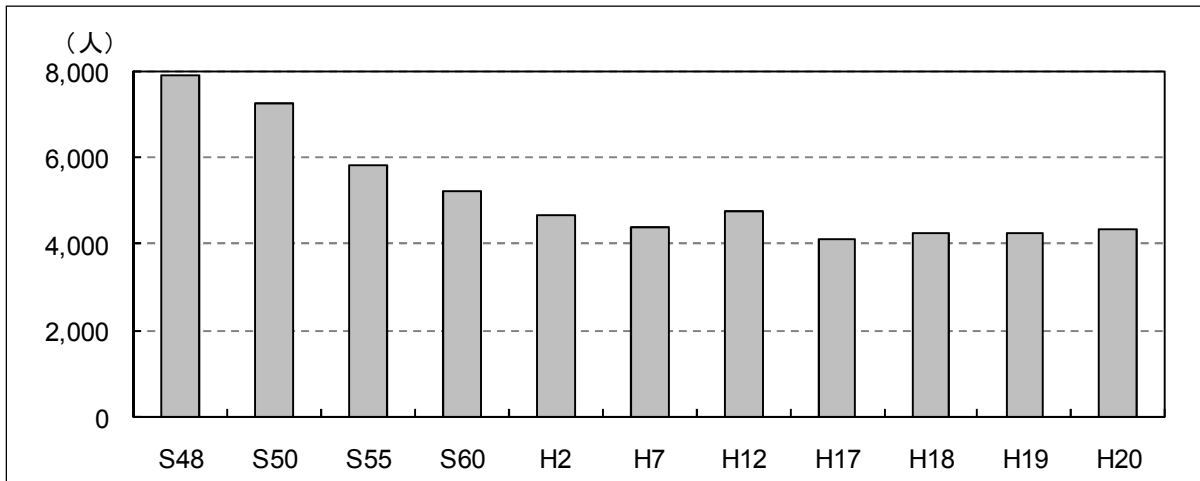
資料：昭和 50 年～平成 17 年は「国勢調査」、  
平成 22 年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成 20 年 12 月推計）

## (2) 出生の状況

### ◆出生数の推移

出生数は、第2次ベビーブームの昭和48年の7,913人からほぼ一貫して減少しており、平成20年には4,327人と昭和48年の6割を切っています。

	S48	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H18	H19	H20
出生数	7,913	7,245	5,842	5,242	4,645	4,398	4,758	4,094	4,261	4,249	4,327

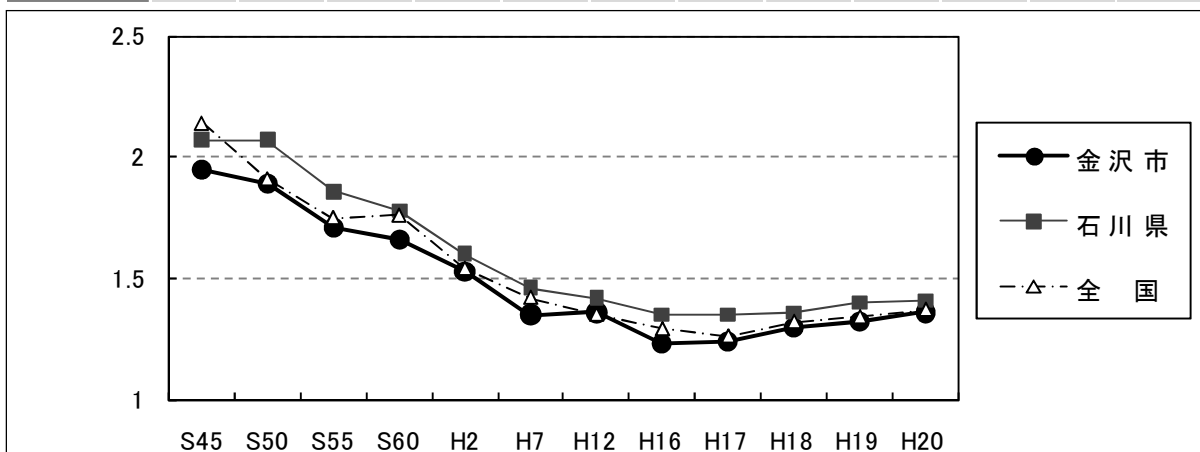


資料：金沢市福祉健康局「衛生年報」

### ◆合計特殊出生率の推移

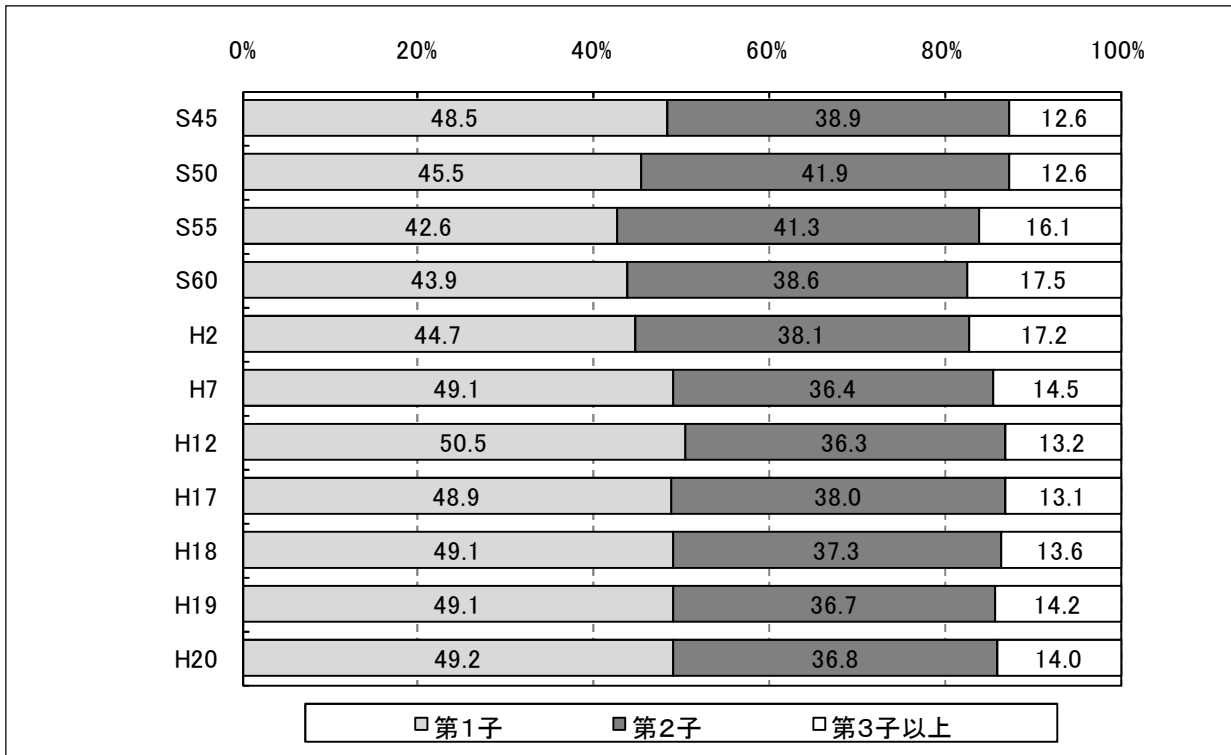
現在の人口を維持するために必要とされる合計特殊出生率は概ね2.07とされていますが、本市では昭和45年の1.95以降、多少の増減はあるものの、平成16年の1.23に至るまで減少をつづけ、その後少しずつではありますが上昇しています。

	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H16	H17	H18	H19	H20
金 沢 市	1.95	1.89	1.71	1.66	1.53	1.35	1.36	1.23	1.24	1.30	1.32	1.36
石 川 県	2.07	2.07	1.86	1.78	1.6	1.46	1.42	1.35	1.35	1.36	1.40	1.41
全 国	2.14	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.35	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37



※合計特殊出生率…15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子ども数 資料：金沢市福祉健康局「衛生年報」

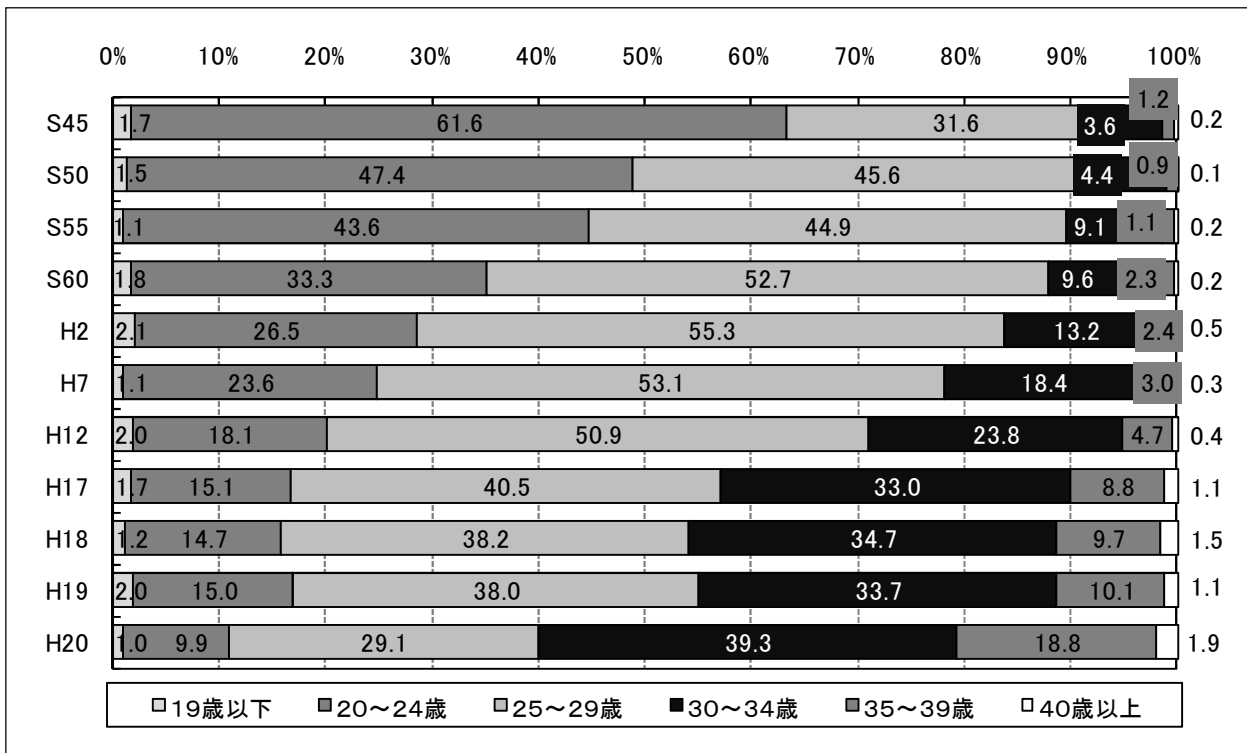
◆ 出産順位別出生数の構成割合



資料：金沢市福祉健康局「衛生年報」

◆ 第一子出産年齢分布の年次推移

第一子出産年齢は、20～24歳が昭和45年の61.6%に対して、平成20年が9.9%と激減し、30～34歳が増加しています。



資料：金沢市福祉健康局「衛生年報」



### ◆低出生体重児の割合

本市の低出生体重児の割合は増減を繰り返しながら推移していますが、全体的には全国と同様に増加傾向にあり、特に 2,500g 未満の割合が増加しています。

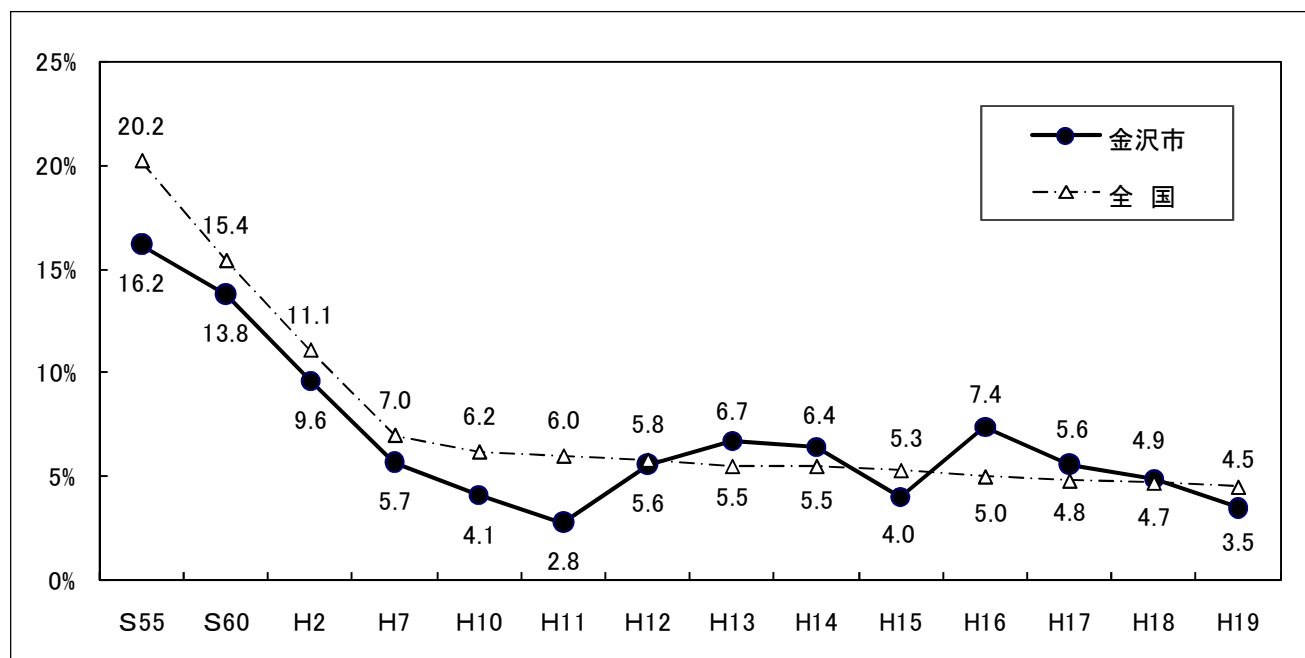
区 分		S55	S60	H2	H7	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
2,500g 未満	金沢市	5.2	5.3	5.5	7.9	8.0	8.5	8.5	8.0	8.9	8.2	9.4	9.1
	全 国	5.2	5.5	6.3	7.5	8.6	8.8	9.0	9.1	9.4	9.5	9.6	9.6
1,500g 未満	金沢市	0.4	0.5	0.5	0.5	0.8	0.7	0.6	0.8	0.5	0.7	0.7	0.7
	全 国	0.4	0.5	0.5	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8
1,000g 未満	金沢市	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.4	0.1	0.4	0.2	0.3
	全 国	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

資料：福祉健康局「衛生年報」  
財団法人母子衛生研究会「母子保健の主たる統計」

### (3) 周産期死亡等

#### ◆周産期死亡率の推移

妊娠満 22 週以後の死産と生後 1 週未満の死亡の合計を周産期死亡といいます。本市の周産期死亡率は平成 16 年以降は減少傾向にあり、平成 19 年は国よりも低くなっています。



資料：福祉健康局「衛生年報」  
石川県健康福祉部「衛生統計年報」

### ◆人工妊娠中絶の状況

本市の人工妊娠中絶件数は平成13年以降減少傾向にあります。平成19年度は1,278件で、10代は113件となっています。

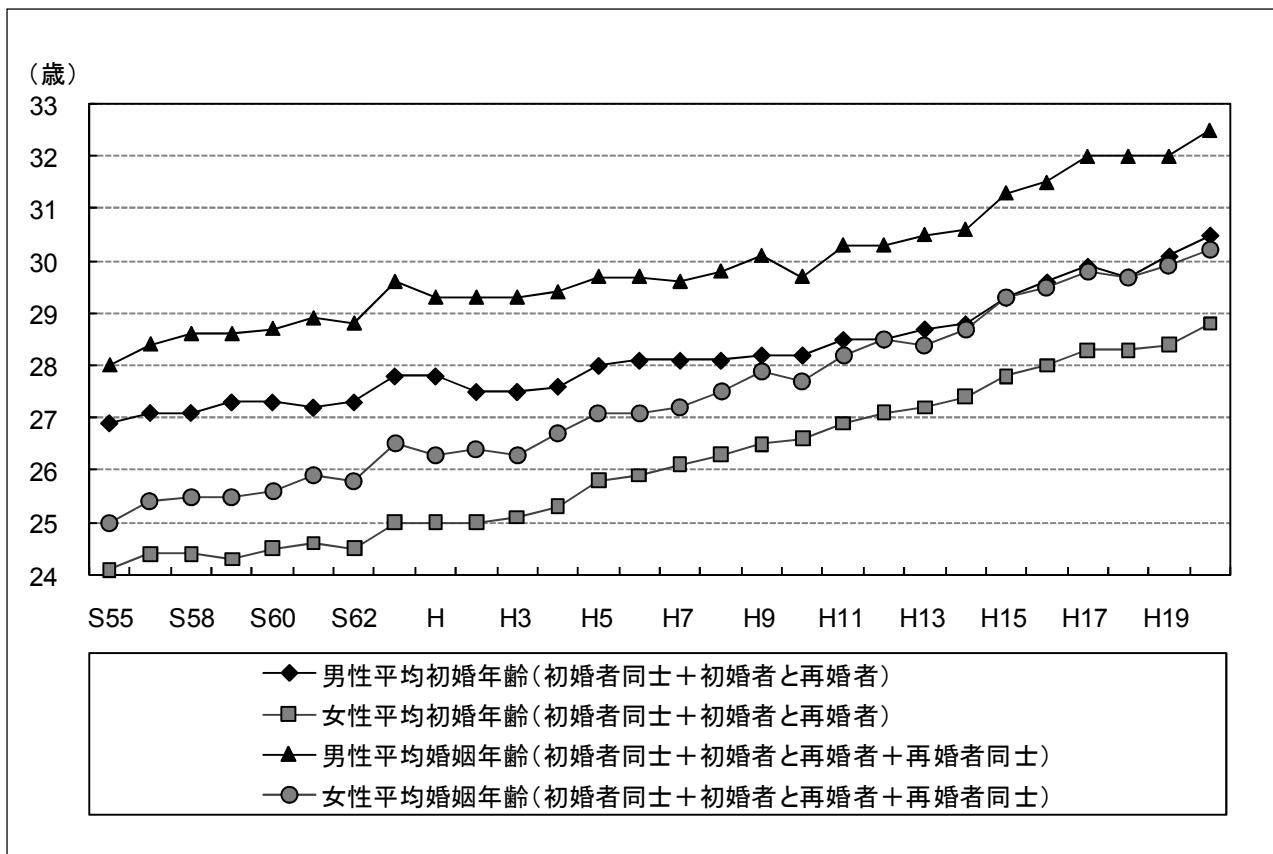
区分	総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
平成13年	1,738	282	449	415	288	210	86	8	-
平成14年 1～3月	447	75	130	94	72	54	19	3	-
平成14年度	1,662	273	442	347	305	215	75	4	1
平成15年度	1,657	241	457	328	335	202	78	16	-
平成16年度	1,446	160	391	302	291	207	86	9	-
平成17年度	1,408	145	364	288	303	211	91	6	-
平成18年度	1,328	135	374	272	264	206	69	8	-
平成19年度	1,278	113	313	291	268	203	81	8	1
7週以前	840	68	193	194	183	140	54	7	1
8～11週	366	32	103	78	71	57	24	1	-
12～15週	43	6	10	14	9	2	2	-	-
16～19週	20	5	5	3	3	4	-	-	-
20～21週	9	2	2	2	2	-	1	-	-
不詳	-	0	-	-	-	-	-	-	-

※平成13年までは母体保護統計報告として年報告であったが、平成14年からは衛生行政報告例に組み込まれ年度報告となる。  
資料：福祉健康局「衛生年報」

#### (4) 結婚の状況

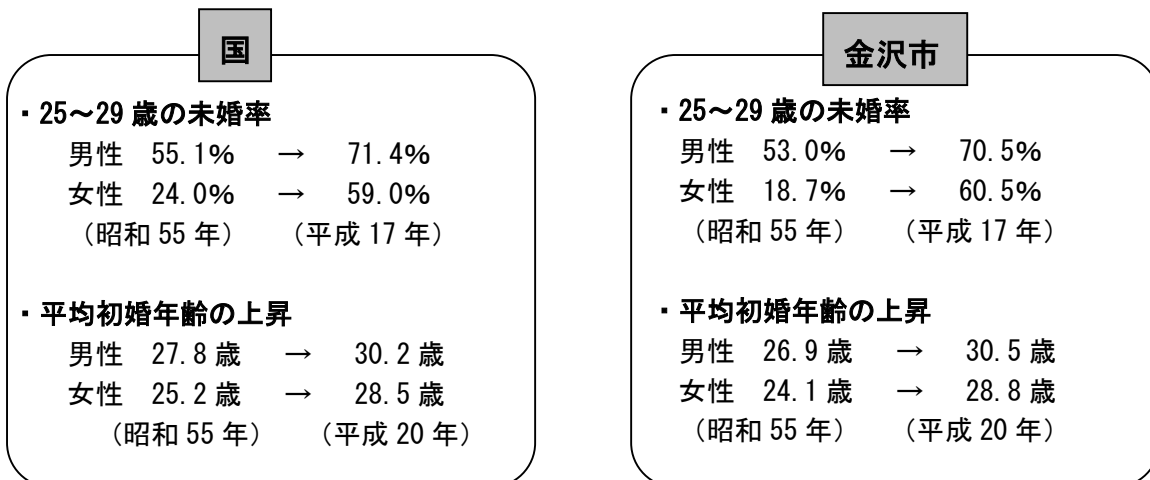
##### ◆平均婚姻年齢の推移

少子化の要因の一つとして晩婚化があげられており、本市においてもその傾向がうかがわれます。平成 20 年の平均初婚年齢は、女性が 28.8 歳、男性が 30.5 歳で、昭和 55 年と比較すると、女性が 4.7 歳、男性が 3.6 歳上昇しています。



資料：金沢市福祉健康局「衛生年報」

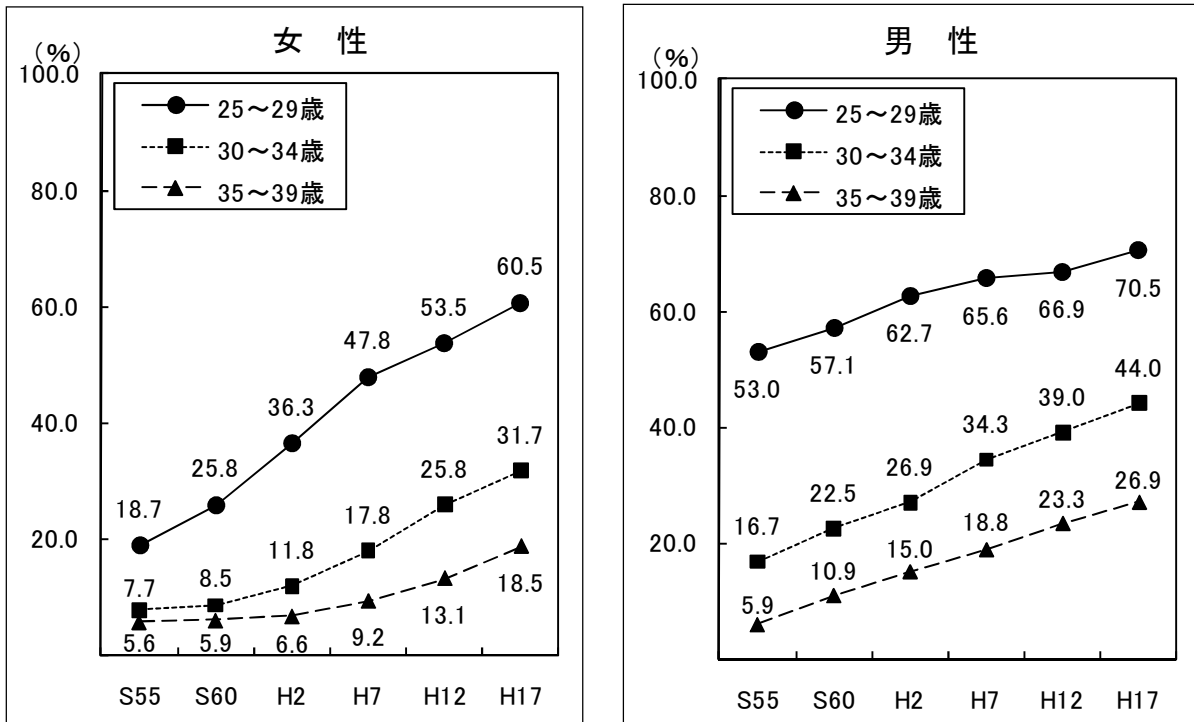
##### ◆未婚率の推移



資料：「国勢調査」、「人口統計資料集」、金沢市福祉健康局「衛生年報」

◆金沢市の年齢別未婚率

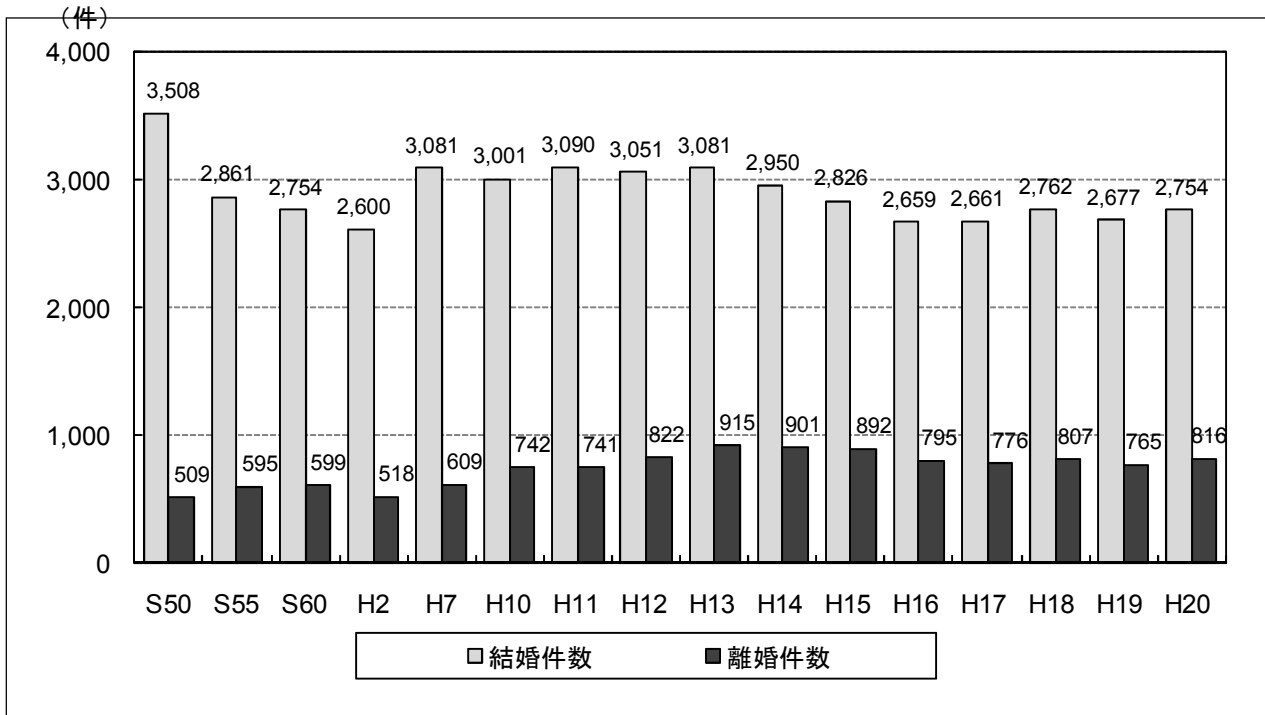
女性の未婚あるいは晩婚の進行のテンポが早まりつつあることがわかります。



資料：「国勢調査」、金沢市福祉健康局「衛生年報」

◆結婚・離婚件数の推移

昭和50年以降の結婚件数をみると、平成2年を底としています。一方、平成2年以降の離婚件数は、急激に増加しています。

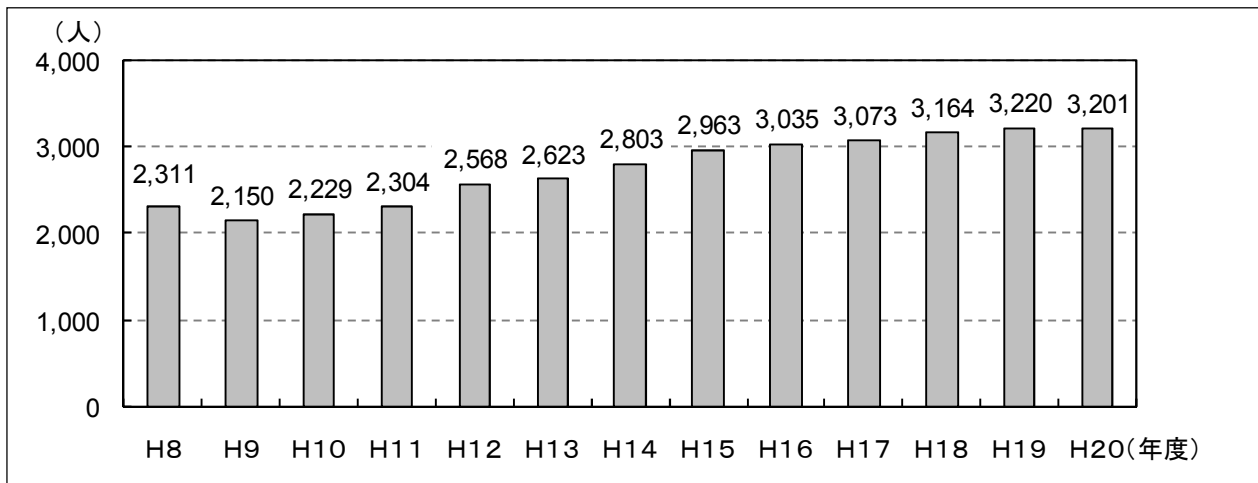


資料：金沢市福祉健康局「衛生年報」

## (5) 児童扶養手当受給者の推移

### ◆児童扶養手当受給者推移

児童扶養手当受給者は徐々に増加しており、平成9年度の2,150人と比較して平成20年度は3,201人と約5割程度の増加となっています。

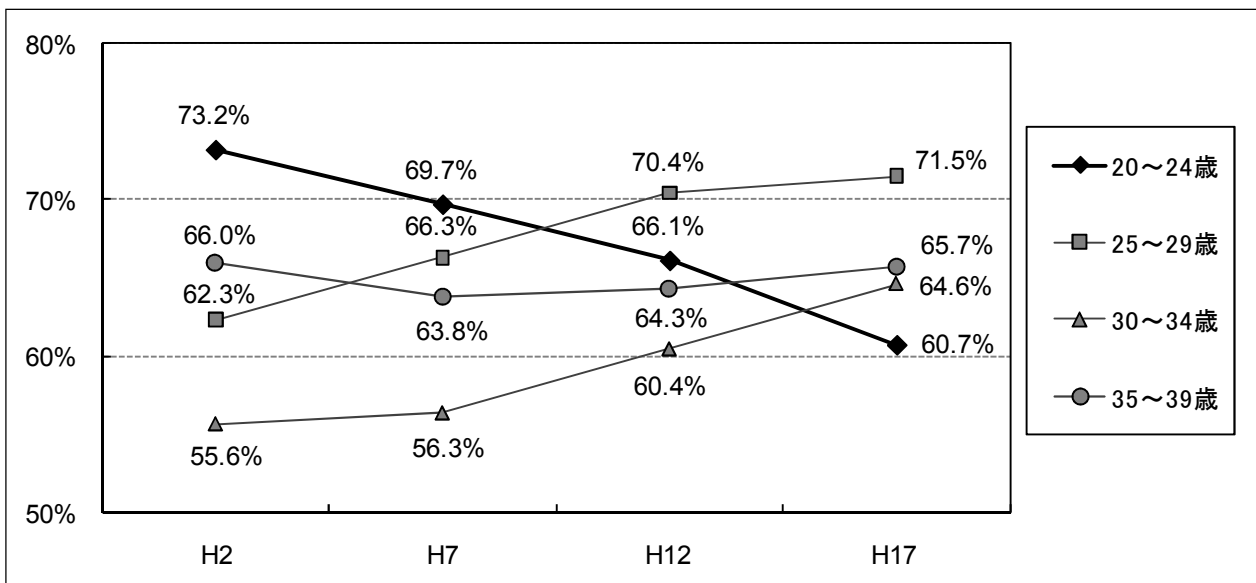


※児童扶養手当…父親と生計をともにしていない児童を養育している母親などに対して支給。  
資料：金沢市福祉健康局「金沢の福祉と保健」

## (6) 女性の就業率の推移

### ◆女性の就業率の推移

女性の就業率は出産年齢にあたる25歳～34歳で上昇しています。

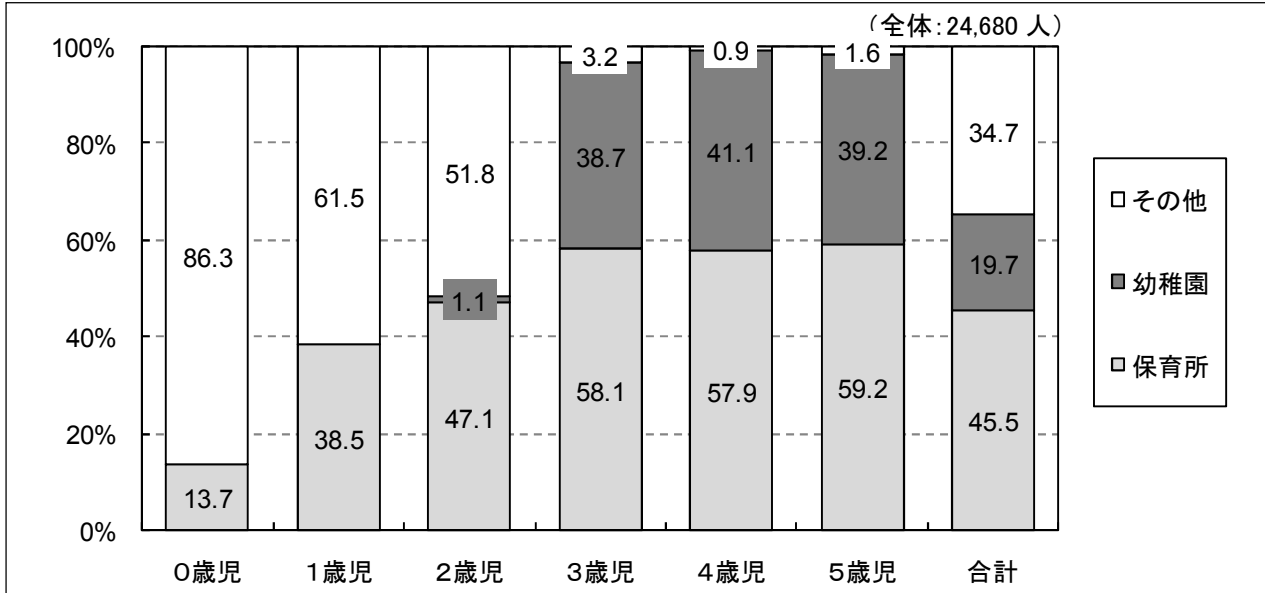


資料：「国勢調査」

## (7) 就学前児童の状況

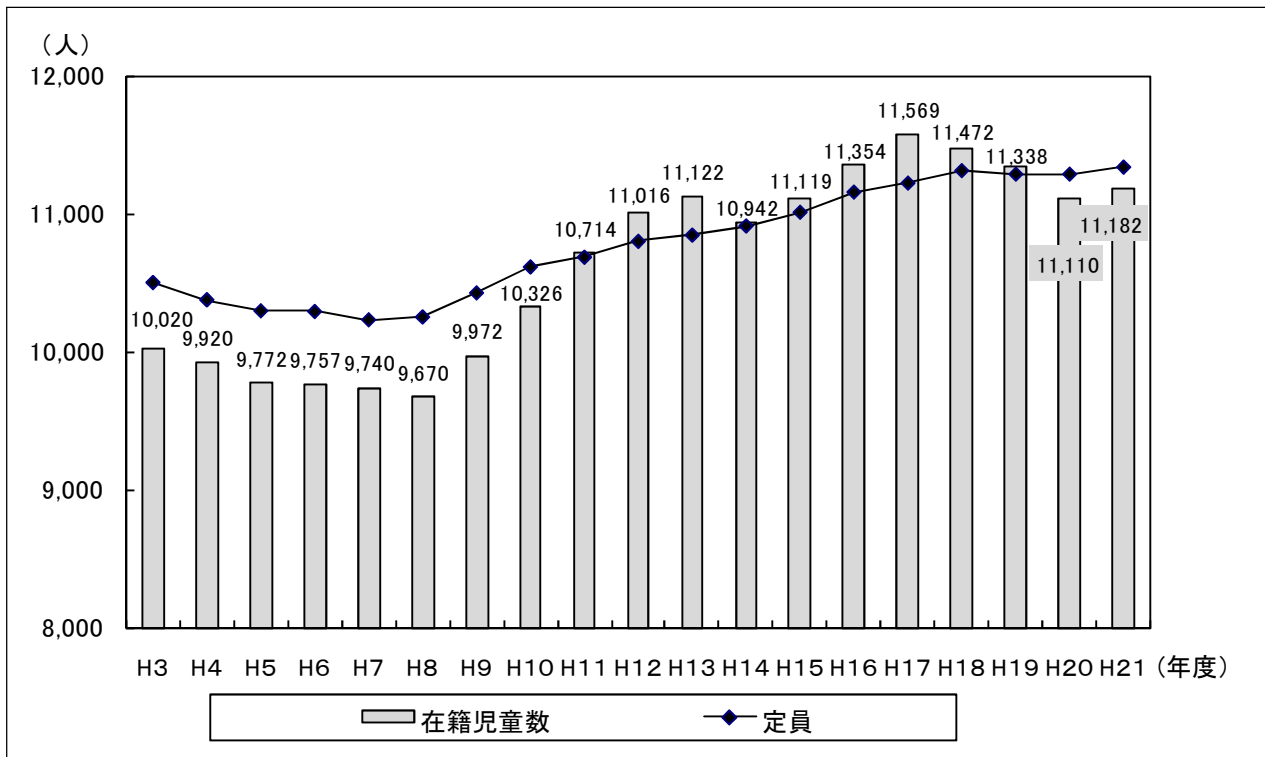
### ◆就学前児童の居場所

就学前児童の居場所をみると、3歳児・4歳児・5歳児のほとんどが保育所あるいは幼稚園へ通っていることがわかります。



資料：就学前児童数は住民登録による年齢別人口(平成21年4月1日現在)、保育所入所児童数はこども福祉課調べ(平成21年4月1日現在)、幼稚園就園児童数は教育総務課調べ(平成21年5月1日現在)

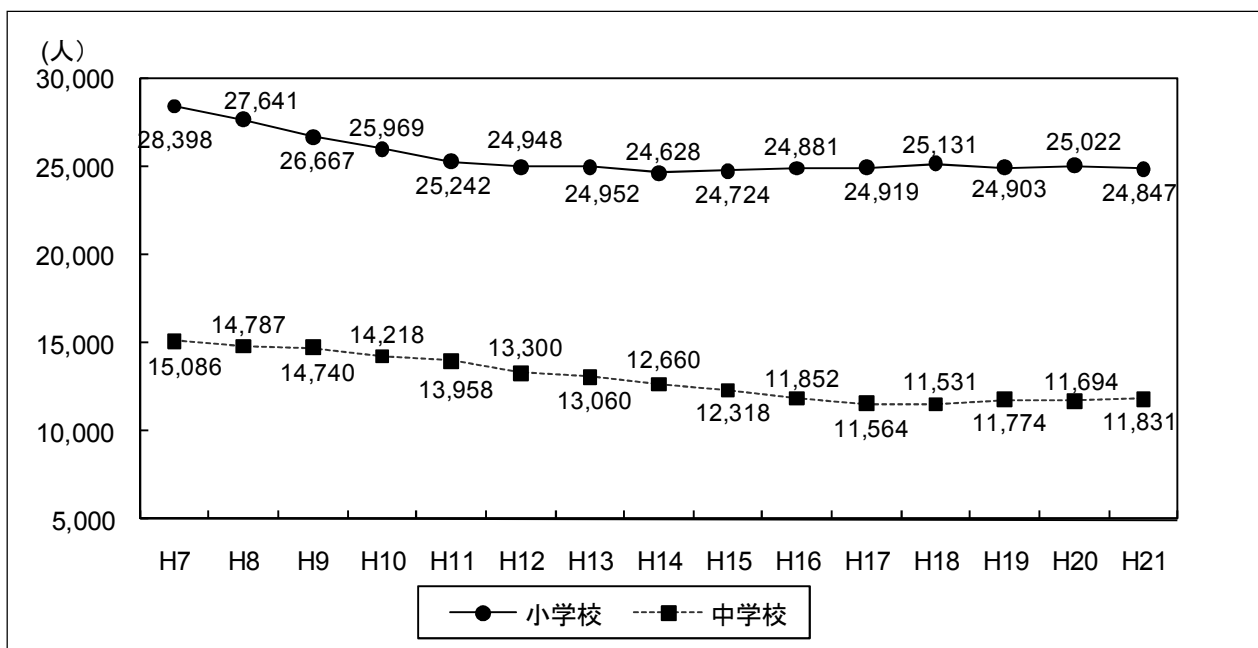
### ◆保育所定員・在籍児童数推移



(注) 平成3年度～13年度は、各年10月1日現在、平成14年度～21年度は、各年4月1日現在  
資料：こども福祉課調べ

## (8) 小中学生の状況

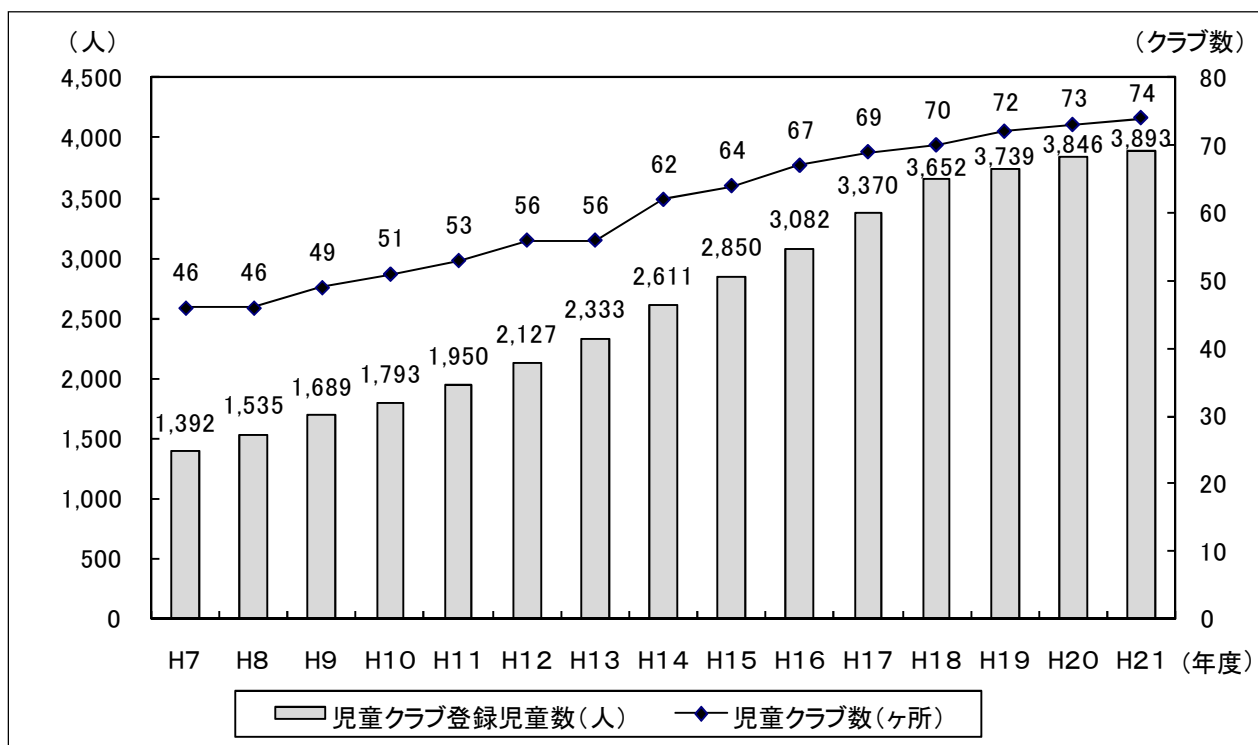
### ◆児童生徒数の推移



資料：金沢市教育委員会「金沢の教育」

### ◆児童クラブ数および登録児童数

登録児童数は年々増加しており、平成7年度から平成21年度の14年間で、クラブ数は28クラブ（61%増）、児童数は2,501人（180%増）増加しています。



資料：こども福祉課調べ（各年度4月1日現在）

## 4 ニーズ調査結果

### (1) 調査の概要

#### ◆調査の目的

本調査は、「かなざわ子育て夢プラン2010」の策定にあたり、市民の子育てに関する生活実態や要望・意見などを把握し、プラン策定の基礎資料とするため、調査対象を5つに分け実施したものです。

#### ◆調査対象者

本調査は、市内に居住する就学前児童保護者、小学生児童保護者、未婚又は既婚で子どものいない18歳以上45歳未満の市民、55歳以上75歳未満の市民、市内企業を対象に住民基本台帳及び事業所・企業統計調査に回答いただいた企業の中から無作為に抽出し、調査を依頼しました。

#### ◆調査基準日

平成20年12月1日（ただし、市内企業の調査基準日は平成20年4月1日）

#### ◆調査機関

平成21年1月21日～2月3日（郵送配布、郵送回収）

#### ◆調査の種類と回収結果

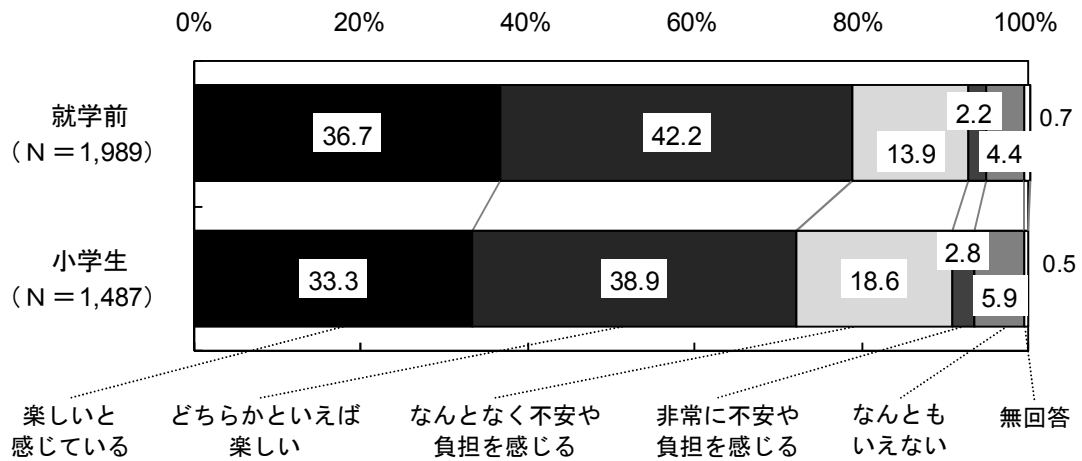
調査名<対象者>	(略称)	配布数	回収数	回収率
① 子育てに関する要望調査 <就学前児童保護者>	(就学前)	4,000	1,989	49.7%
② 子育てに関する要望調査 <小学生児童保護者>	(小学生)	3,000	1,487	49.6%
③ 結婚・子育てに関する意識調査 <未婚又は既婚で子どものいない 18歳以上45歳未満の市民>	(18~44歳)	2,000	392	19.6%
④ 子育て支援に関する意識調査 <55歳以上75歳未満の市民>	(55~74歳)	1,000	402	40.2%
⑤ ワークライフバランスに関する調査 <市内企業>	(企業)	1000	432	43.2%
計		11,000	4,702	42.7%



## (2) 調査の結果

### ①子育てに関して感じていること

子育てに関して現在どのように感じているかについては、「楽しいと感じている」「どちらかといえば楽しい」との回答が「就学前」「小学生」ともあわせて7割を超えており、「就学前」の方がより高い割合を示しています。



## ②もう一人子どもがほしい（産みたい）と思うか

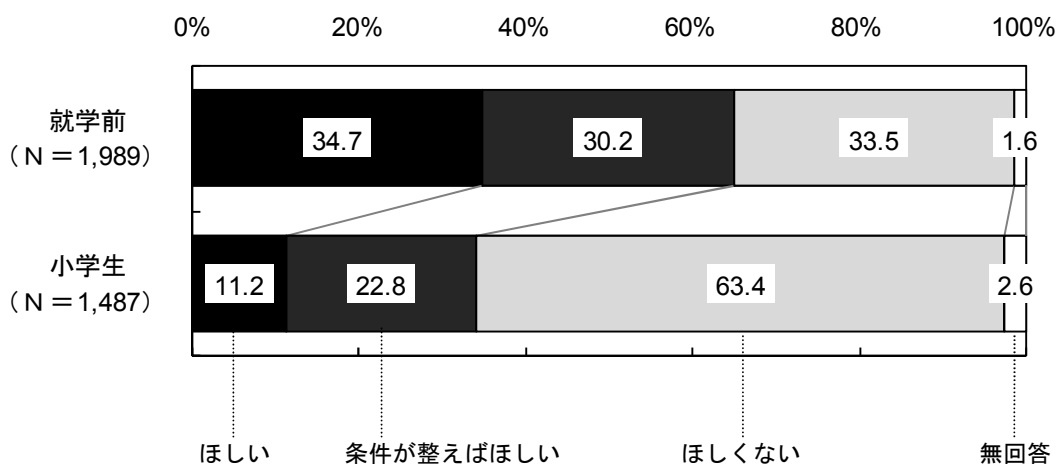
もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うかについては、「ほしい」との回答が「就学前」は34.7%、「小学生」は11.2%となっており、「就学前」の割合が高くなっています。「小学生」の「ほしくない」との回答は、63.4%と高い割合となっています。

### ●子どもがほしい（産みたい）条件

「条件を整えばほしい」と回答した方の条件は、両者とも「金銭的なこと」が最も多くなっており、他に「就学前」では、「保育サービスの充実」「子どもの年齢差」があり、「小学生」では、「自分の年齢」「健康・体力」などとなっています。

### ●子どもがほしくない理由

「就学前」は、「お金がかかるから」が最も多いのに対して、「小学生」では「年齢的なこと」となっています。

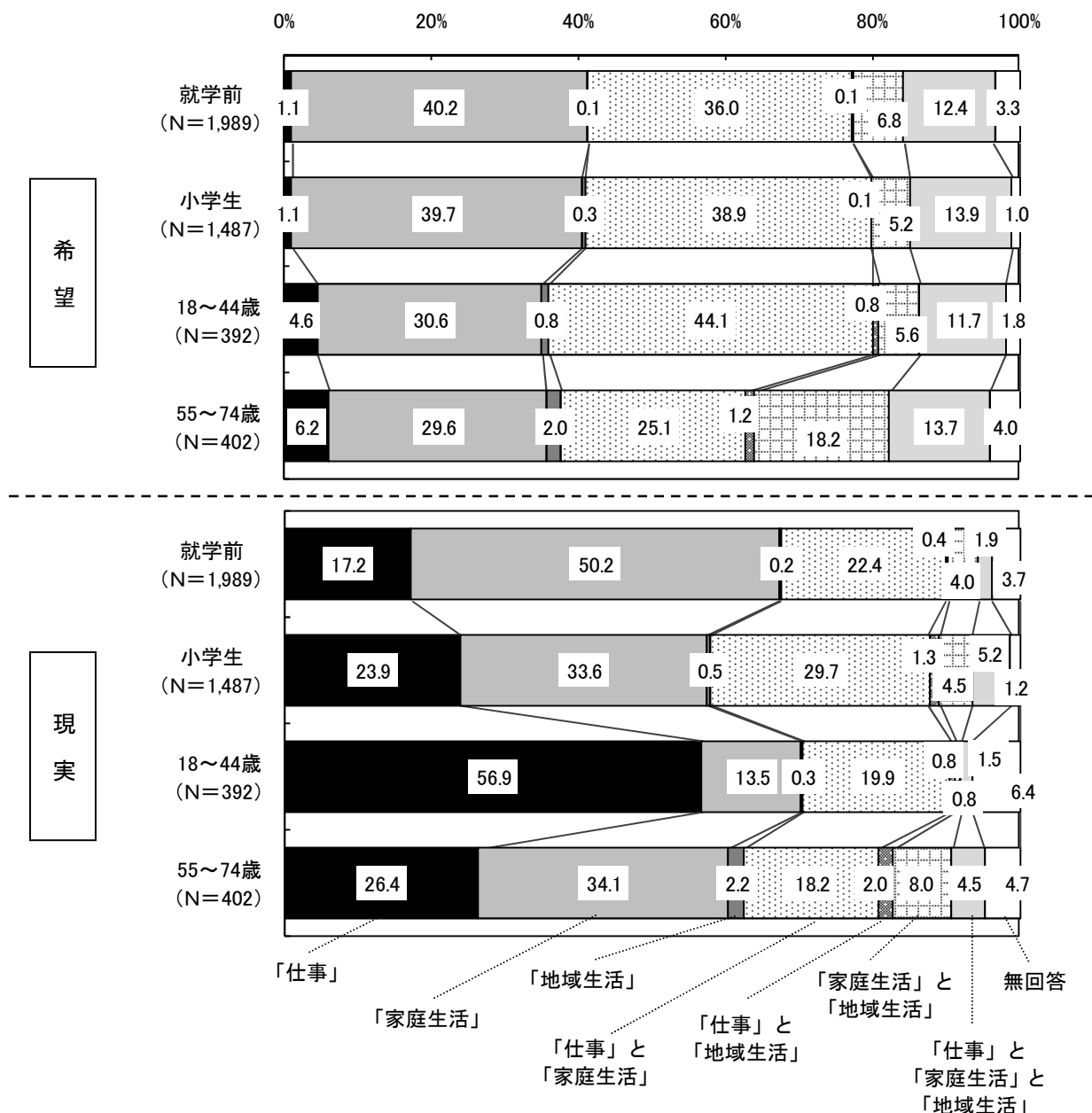


### ③生活の中での優先度

生活の中での優先度は、どの回答者も「仕事」の割合が希望よりも高くなっており、『「仕事」と「家庭生活」』、『「家庭生活」と「地域生活」』、『「仕事」と「家庭生活」と「地域生活」』の割合は低くなっています。

「18～44歳」では、「仕事」の希望の割合が4.6%なのに対し、現実の割合は56.9%で、『「仕事」と「家庭生活」』の希望の割合が44.1%なのに対し、現実の割合は19.9%となっており、最も「仕事」を優先していることがうかがえます。

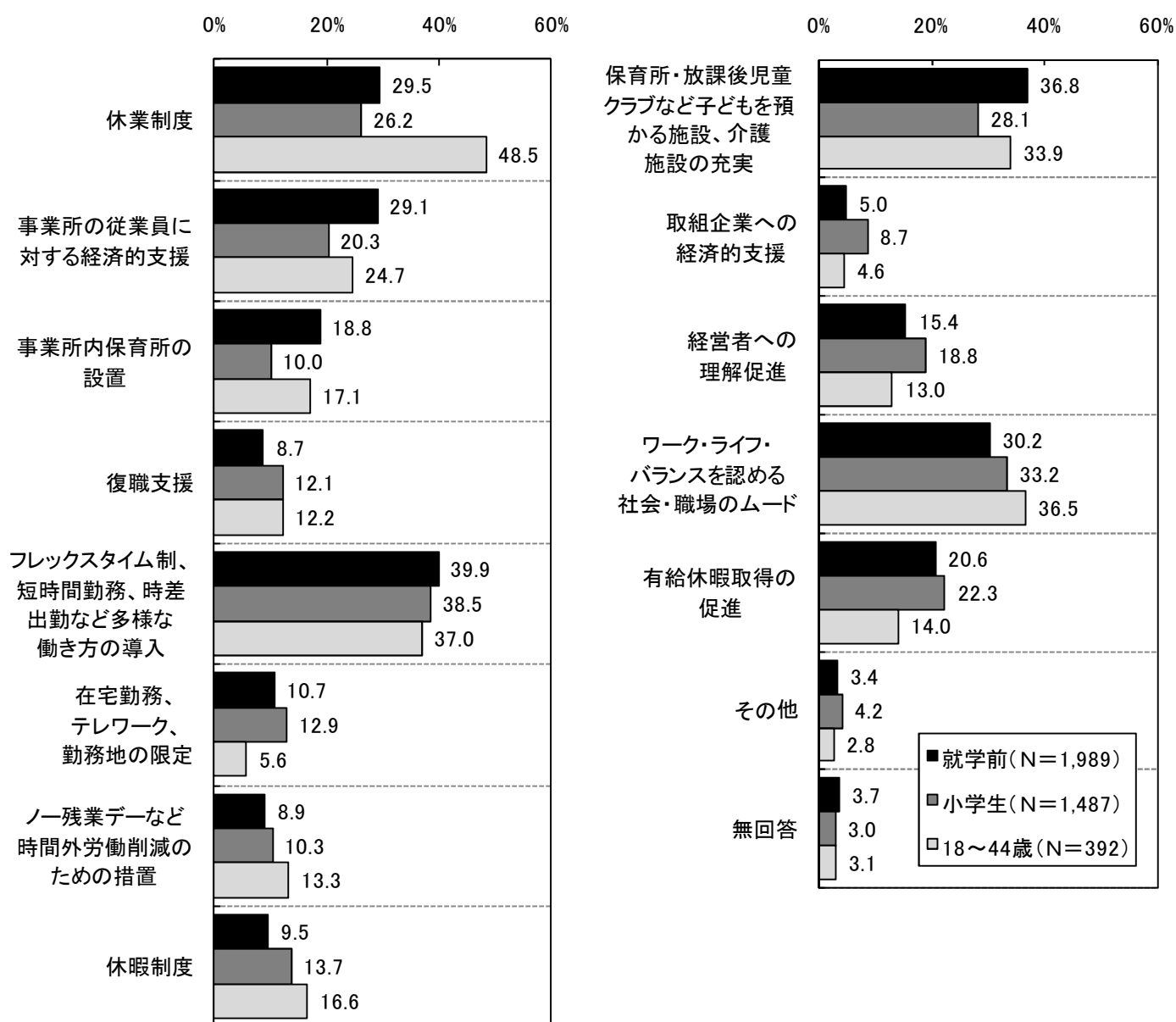
「就学前」の「家庭生活」では、希望の割合が40.2%なのに対し、現実の割合は50.2%となっており、「55～74歳」においても、「家庭生活」を優先していることがうかがえます。



#### ④ワーク・ライフ・バランスについて

ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことについては、「就学前」「小学生」は「フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入」が最も多く、「保育所、放課後児童クラブなど子どもを預かる施設、介護施設の充実」「ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード」「休業制度」と上位4位が同様ですが「18～44歳」では、「休業制度」が多くなっています。

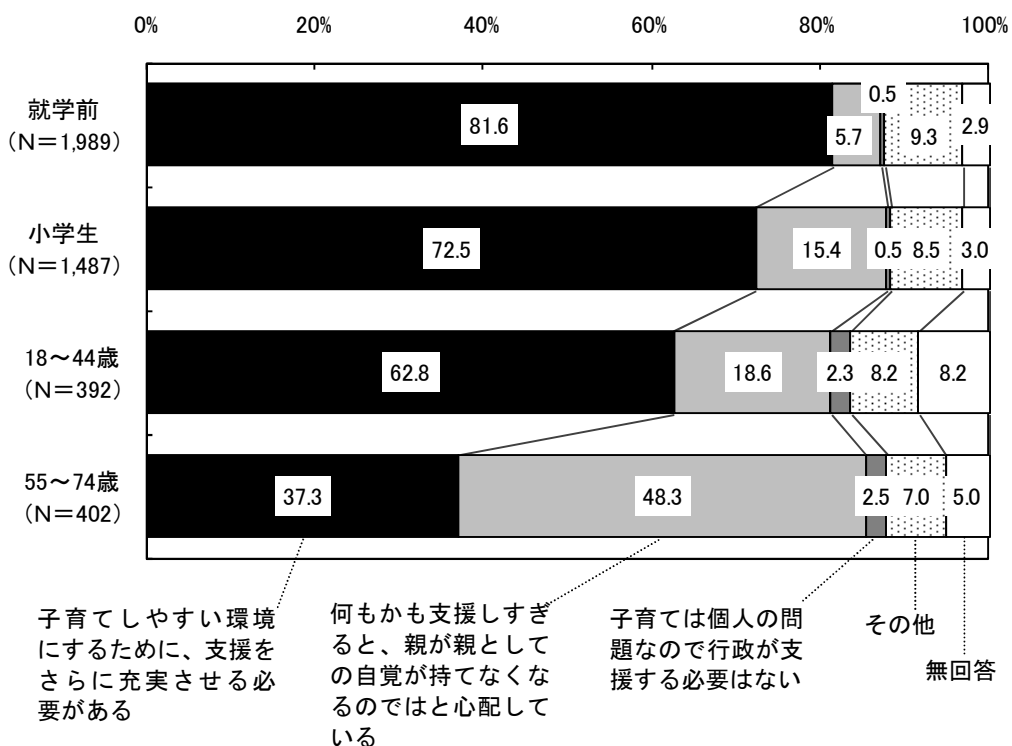
「フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入」「ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード」については、どの回答者も3割以上を占めています。



⑤行政が行っている子育て支援

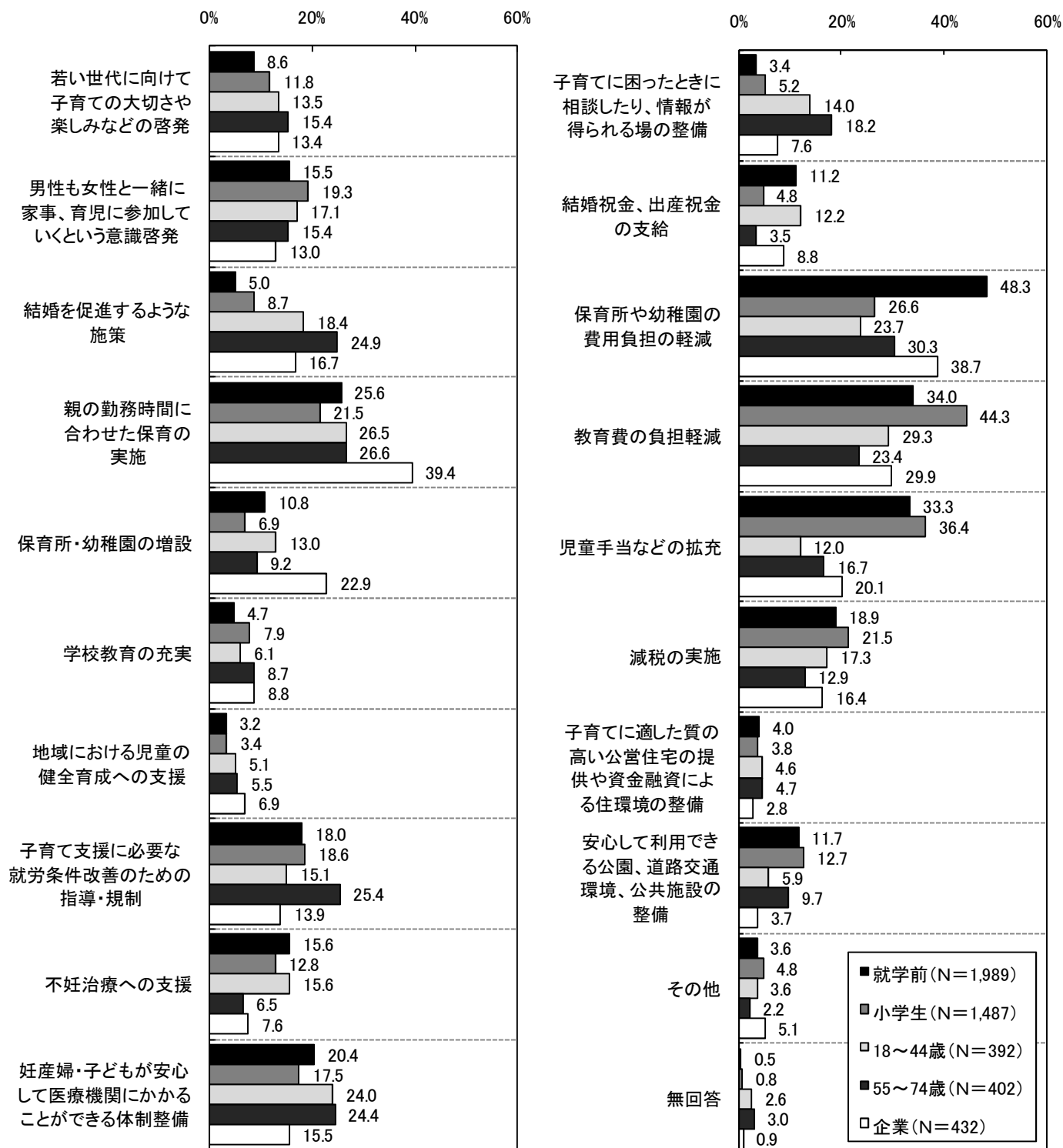
行政の子育て支援についての具体的な意見としては、「就学前」が「子育てしやすい環境にするために、支援をさらに充実させる必要がある」が 81.6%であるのに対し、「55～74 歳」については 37.3%となっています。

「55～74 歳」については、「何もかも支援しすぎると、親が親としての自覚が持てなくなるのではと心配になる」が 48.3%との回答が最も多くなっており、子育て世代との意見の相違がみられます。



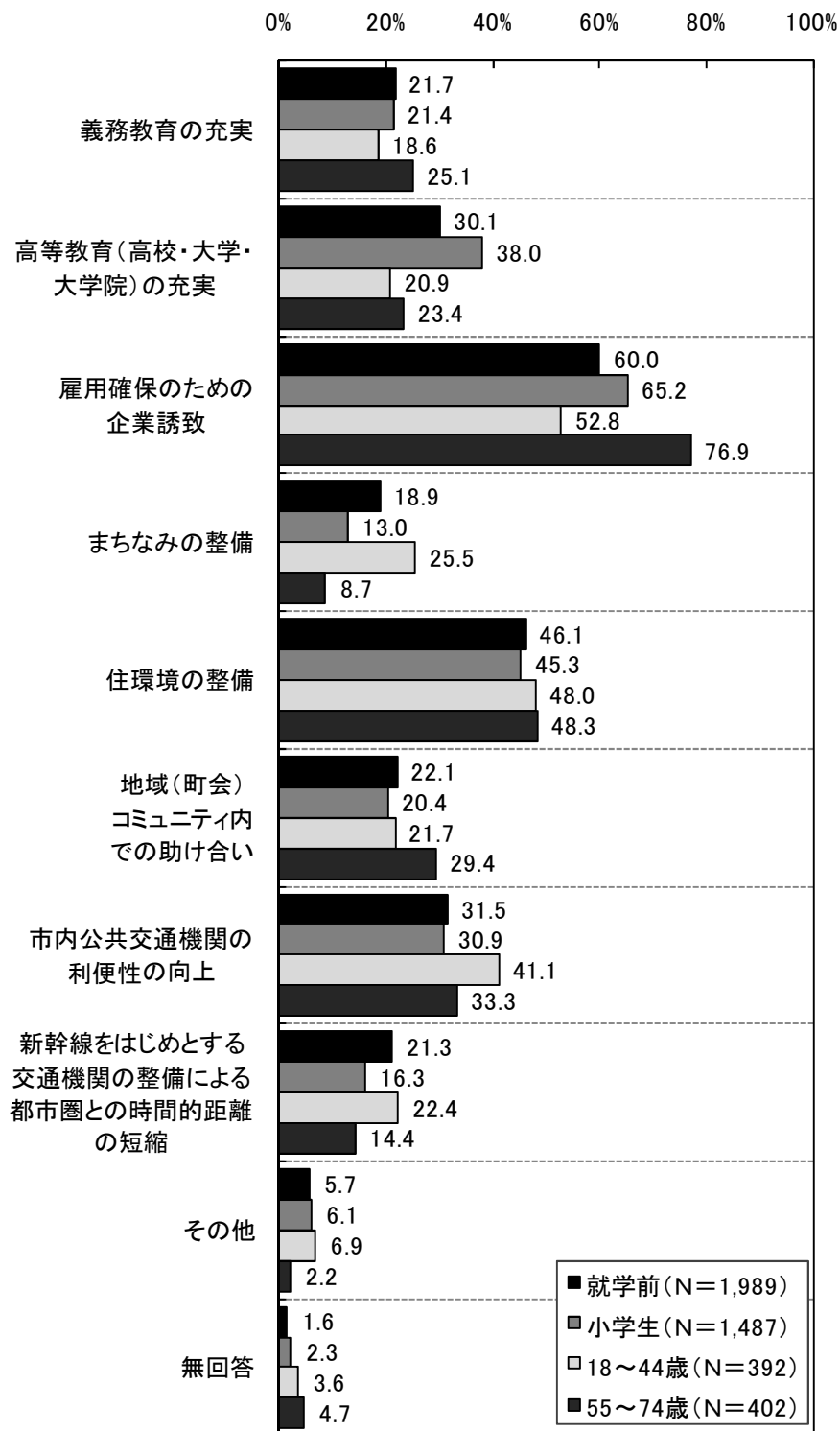
### ⑥少子化に歯どめをかけるための施策

少子化対策に有効だと思う施策について、「就学前」「55～74歳」では「保育所や幼稚園の費用負担の軽減」が48.3%、30.3%と最も多くなっています。また、「企業」では、「親の勤務時間に合わせた保育の実施」39.4%が最も多くなっています。



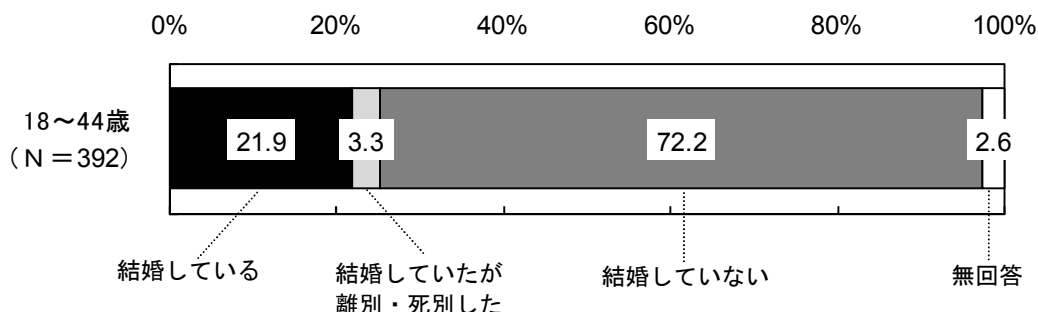
⑦大人になっても住みたいと思うまちにするために

大人になっても住みたいと思うまちにするためには、「雇用確保のための企業誘致」は、どの回答者も50%以上の割合となっています。また、「住環境の整備」についても45%以上の割合を占めています。



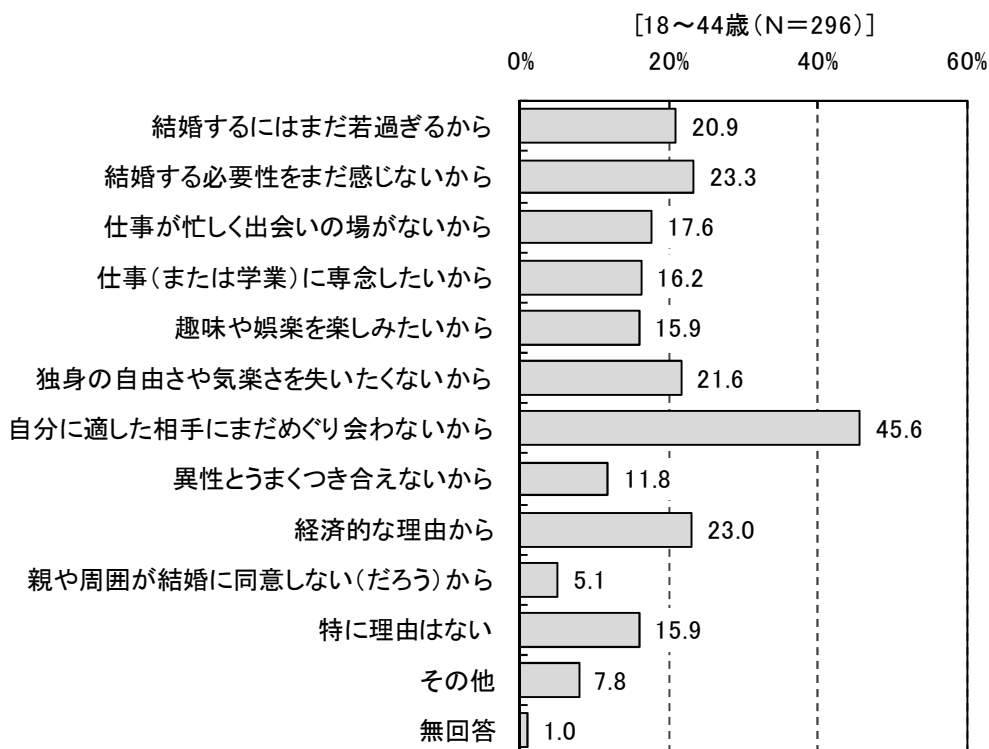
⑧結婚していますか

結婚の有無については、「結婚していない」が72.2%の割合を占め、「結婚している」21.9%、「結婚していたが離別・死別した」は3.3%となっています。



⑨独身でいる理由 (⑧で「結婚していたが離別・死別した」「結婚していない」と答えた回答者)

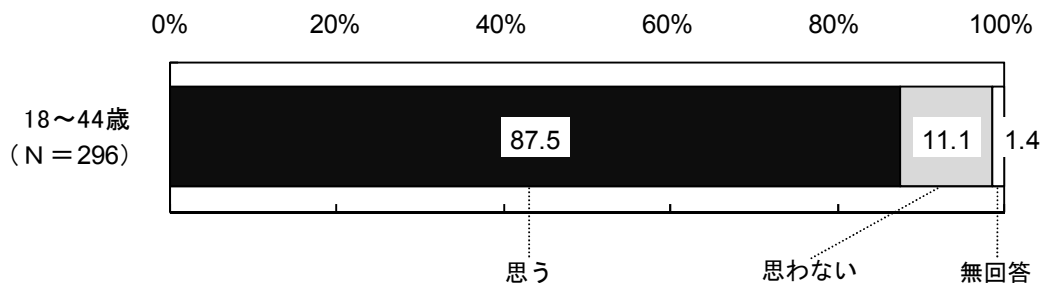
独身でいる理由については、「自分に適した相手にまだめぐり会わないから」との回答が45.6%と最も多く、次いで「結婚する必要性をまだ感じないから」23.3%、「経済的な理由から」23.0%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」21.6%、「結婚するにはまだ若過ぎるから」20.9%の順となっています。





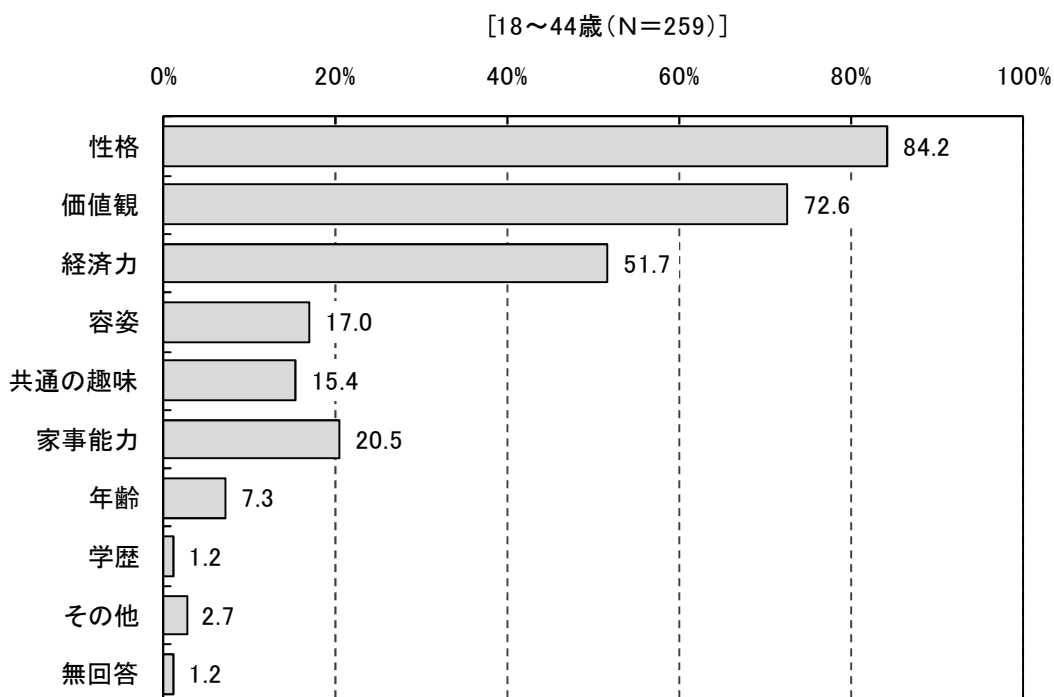
⑩結婚しようと思うか（⑧で「結婚していたが離別・死別した」「結婚していない」と答えた回答者）

将来、結婚しようと思うかとの設問に対しては、「結婚しようと思う」との回答が 87.5%、「思わない」との回答が 11.1%となっています。



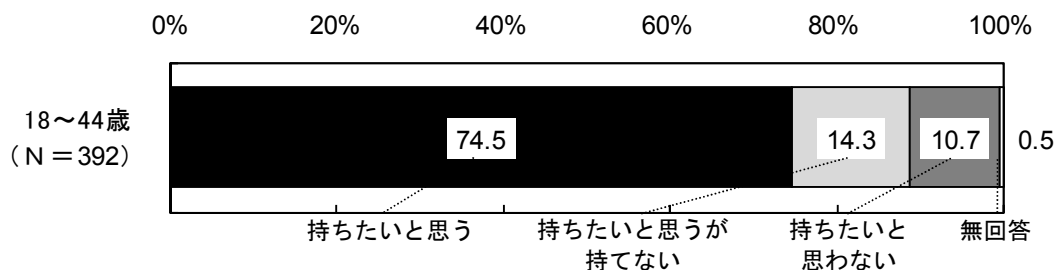
⑪結婚相手に求める条件（⑩で「思う」と答えた回答者）

結婚相手に求める条件としては、「性格」をあげる割合が最も高く 84.2%、次いで「価値観」72.6%、「経済力」51.7%となっています。



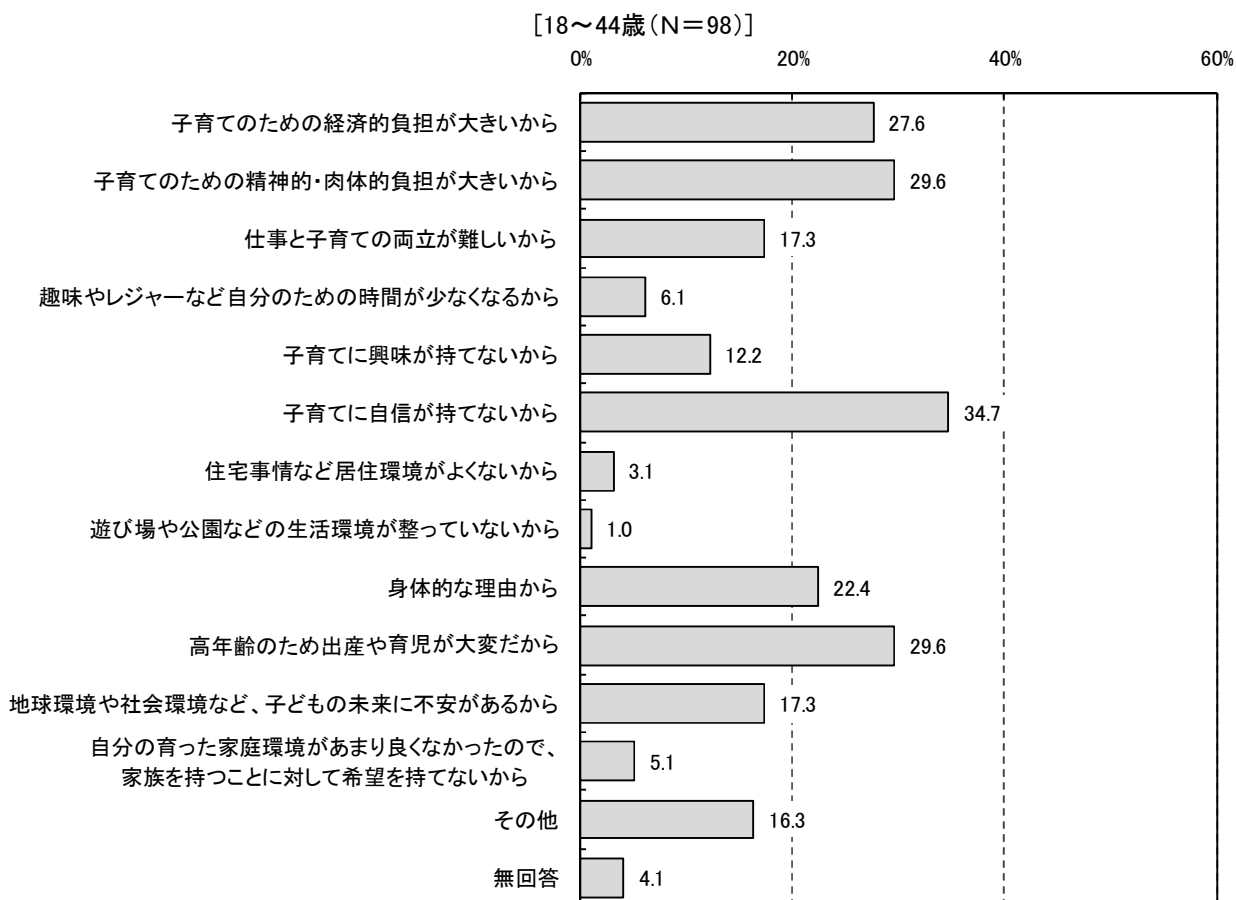
⑫子どもを持ちたいか

子どもを持ちたいかとの設問に対しては、「持ちたいと思う」が74.5%に対し、「持ちたいと思うが持てない」14.3%、「持ちたいと思わない」10.7%の構成となっています。

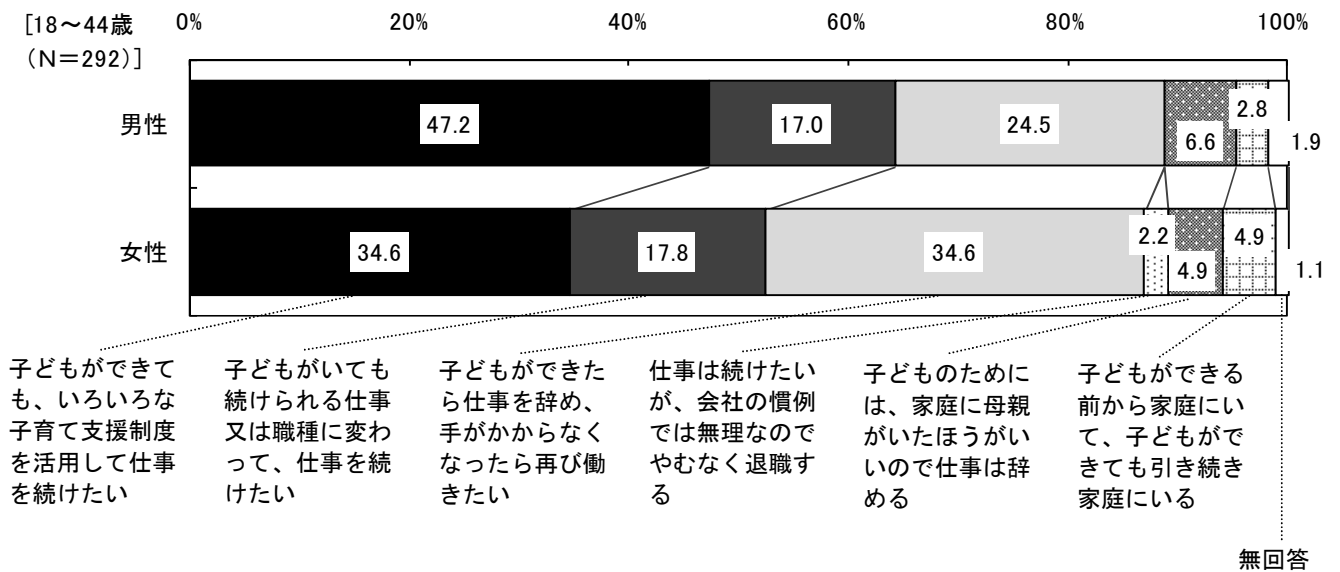


⑬子どもを持ちたいと思わない・持てない理由 (⑫で「持ちたいと思うが持てない」「持ちたいと思わない」と答えた回答者)

子どもを持ちたいと思わない、または子どもを持ちたいと思うが持てない理由については、「子育てに自信が持てないから」が最も多く34.7%、次いで「子育てのための精神的・体力的負担が大きいから」「高年齢のため出産や育児が大変だから」29.6%、「子育てのための経済的負担が大きいから」27.6%、「身体的な理由から」22.4%の順となっています。



⑭子どもができたときの女性の就労継続について（未婚・既婚に限らず将来子どもを持ちたいと思う方）  
 子どもができた場合、女性がどのようにしたい（男性から見てどうしてほしい）かとの設問について男女別にみると「男性」は、「子どもができて、いろいろな子育て支援制度を活用して仕事を続けてほしい」が最も多く、「女性」は「子どもができて、いろいろな子育て支援制度を活用して仕事を続けたい」と「子どもができたら仕事を辞め、手がかからなくなったら再び働きたい」が多くなっています。

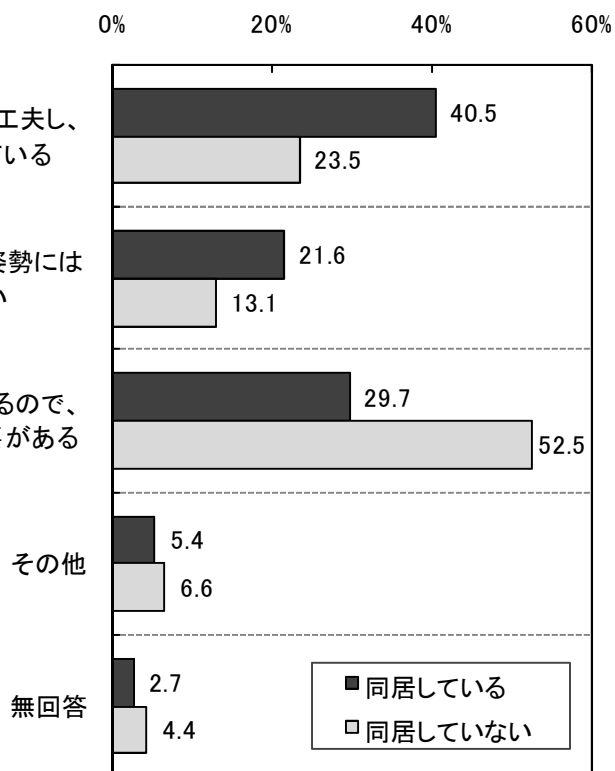


⑮子育て世代の人たちに対して感じること

自分が子育てをしていた頃と比べて、今の子育て世代の人たちに対して感じることについて、孫と同居している回答者では、「子どものことを最優先に考え、工夫し、がんばって良い子育てをしている」との回答が最も上位を占め 40.5%、「親が自分自身のことや仕事を優先しているので、もっと子どもに向き合って子育てする必要がある」は 29.7%となっています。

孫と同居していない回答者では、「親が自分自身のことや仕事を優先しているので、もっと子どもに向き合って子育てする必要がある」が 52.5%と最も多く、「子どものことを最優先に考え、工夫し、がんばって良い子育てをしている」 23.5%の順となっており、同居している回答者との順位が逆になっています。

[55～74歳 (N=402)]



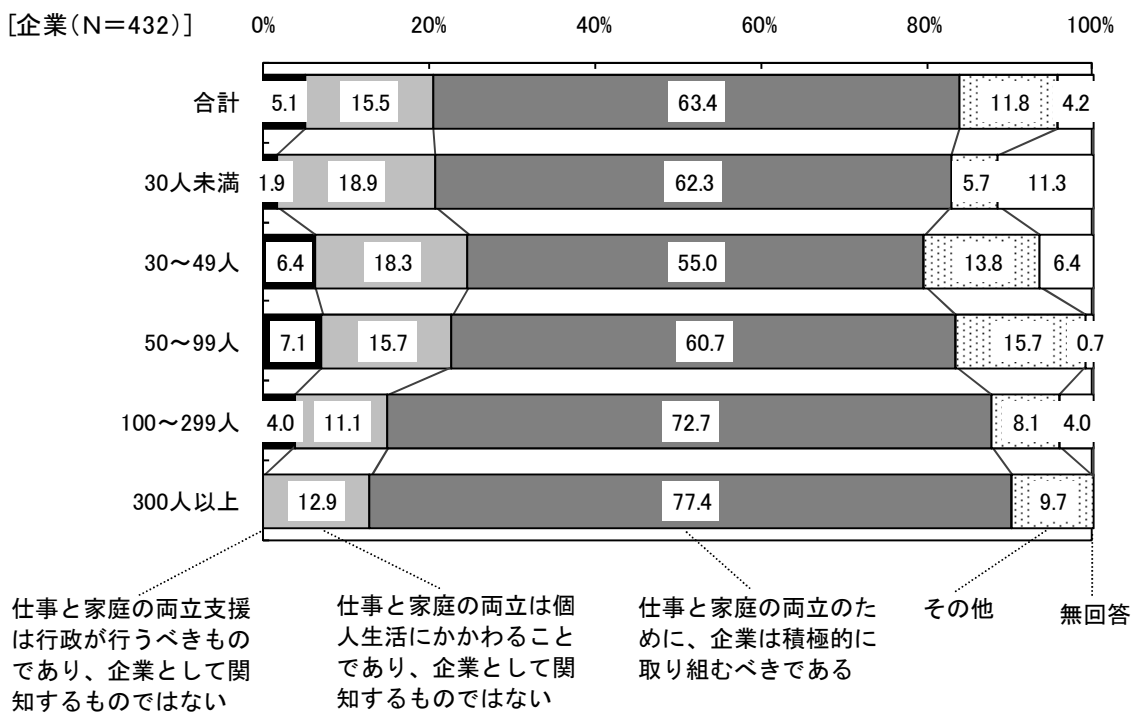
⑩「仕事と家庭の両立支援」についての考え方

仕事と家庭の両立支援については、「仕事と家庭の両立のために、企業は積極的に取り組むべきである」との回答が最も多く全体の63.4%を占めています。

従業員規模別にみると、「100～299人」の事業所では72.7%、「300人以上」の事業所では77.4%が「仕事と家庭の両立のために、企業は積極的に取り組むべきである」と回答しています。

また、「仕事と家庭の両立は個人生活にかかわることであり、企業として関知するものではない」との回答が、従業員数が「30人未満」規模の企業において18.9%、「30～49人」の従業員数の企業で18.3%の割合となっています。

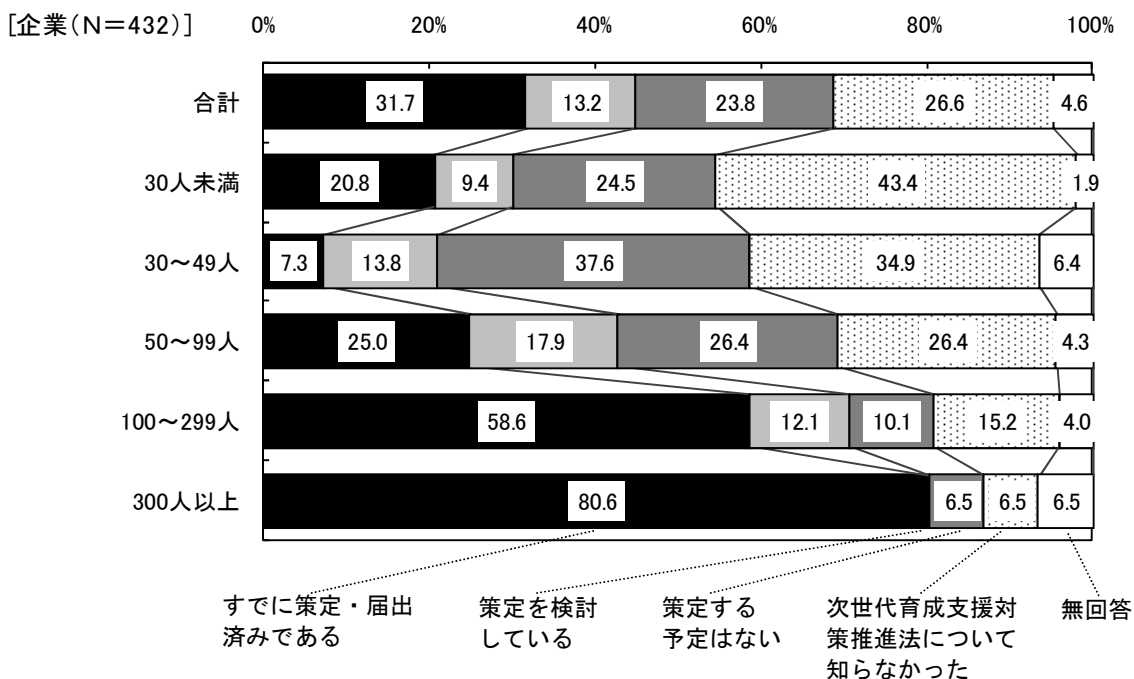
その他の回答としては、「仕事と家庭の両立のために、企業は積極的に取り組むべきであるのが理想だが、小企業では経済的に余裕がない」「行政支援中心に、企業は補助的にしたい」「両立支援は行政、企業ともに取り組むべき」「企業は関係すべきだと思うが、現状では難しい」などがあります。



⑰一般事業主行動計画の策定・届出について

一般事業主行動計画の策定・届出については、「すでに策定・届出済みである」が 31.7%に対し、「次世代育成支援対策推進法について知らなかった」との回答が 26.6%となっています。また、「策定する予定はない」との回答が 23.8%に対して、「策定を検討している」が 13.2%の割合となっています。

事業所の従業員数別に見ると、「すでに策定・届出済みである」との回答が「300人以上」の規模の事業所では 80.6%、「100～299人」の規模の事業所では 58.6%となっています。



◆参考：石川県内企業の一般事業主行動計画策定・届出等取り組み状況（平成 21 年 12 月 31 日現在）

届出企業件数	うち 301 人以上 (義務づけ)	うち 300 人以下 (努力義務)
1,087	120	967

※石川県内の 301 人企業の届出率は 100%

資料：石川労働局 雇用均等室

## 5 計画の策定経緯と策定体制等

### ◆「かなざわ子育て夢プラン 2010」策定経過

年 月 日	会 議 等 の 内 容
平成 20 年	
6月10日	第1回かなざわ子育て夢プラン推進プロジェクト会議
7月18日	第1回金沢市少子化対策推進会議
7月23日	第1回金沢市少子化対策推進庁内ワーキングチーム会議
8月7日	第1回金沢市少子化対策推進民間ワーキングチーム会議
9月22日	第2回金沢市少子化対策推進民間ワーキングチーム会議
9月29日	第2回金沢市少子化対策推進庁内ワーキングチーム会議
平成 21 年	
1月21日 ～2月3日	■ニーズ調査の実施 調査人数 11,000人 有効回答数 4,702件 ①「子育てに関する要望調査」7,000人 ②「結婚・子育てに関する意識調査」2,000人 ③「子育て支援に関する意識調査」1,000人 ④「ワークライフバランスに関する調査」1,000人
3月2日	金沢市少子化対策推進会議、少子化対策推進民間・庁内ワーキングチーム合同会議
6月18日	第1回金沢市少子化対策推進民間ワーキングチーム会議
6月25日	第1回金沢市少子化対策推進会議
7月7日	市立保育所 所長会での聞き取り
7月9日	民生委員児童委員協議会 役員会での聞き取り
7月13日	児童館厚生員会 定例会での聞き取り
7月21日	主任児童委員連絡会 研修会での聞き取り
7月22日	第1回かなざわ子育て夢プラン推進プロジェクト会議
7月23日	民生委員児童委員協議会 定例会での聞き取り 第1回金沢市少子化対策推進庁内ワーキングチーム会議
7月24日	女性議員からの聞き取り
8月5日	城北児童会館職員 金沢市児童クラブ協議会 総会での聞き取り
8月31日	私立幼稚園協会からの聞き取り
9月15日	金沢市少子化対策推進民間・庁内ワーキングチーム合同会議

年 月 日	会 議 等 の 内 容
10月3日	「かなざわ子育て夢プラン2010」市民フォーラム～子どもと共に暮らすということ～ 場所：玉川こども図書館 参加者 約100名
10月28日	第2回金沢市少子化対策推進会議
11月16日	◆金沢市社会福祉協議会保育部会から要望提出
11月9日 ～12月8日	■パブリックコメントの実施 提出意見数 6件
12月7日	第2回金沢市少子化対策推進民間ワーキングチーム会議
12月22日	第2回金沢市少子化対策推進庁内ワーキングチーム会議
平成22年	
1月18日	第3回金沢市少子化対策推進民間ワーキングチーム会議
3月1日	第3回金沢市少子化対策推進会議



## ◆金沢市少子化対策推進会議設置要綱

### (設置)

第1条 本市は、子どもを生ま育てやすい環境の実現に向けた少子化対策を総合的に推進するために、金沢市少子化対策推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

### (任務)

第2条 推進会議は、次の事項を審議する。

- (1) 少子化対策の推進に関すること。
- (2) 少子化対策に係る施策の内容に関すること。
- (3) 少子化対策に係る関係する団体等の連携に関すること。

### (組織等)

第3条 推進会議は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 少子化対策に係る関係する団体に所属する者
- (2) 子育て支援に関する活動を行っている者
- (3) 学識経験者
- (4) その他少子化対策に関し識見を有する者

3 推進会議に、会長を置き、委員の互選によりこれを選任する。

4 会長は会務を総理し、推進会議を代表する。

5 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第4条 推進会議の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

### (庶務)

第5条 推進会議の庶務は、福祉健康局こども福祉課において処理する。

### (委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が推進会議に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、平成16年11月22日から施行する。

## ◆金沢市少子化対策推進民間ワーキングチーム設置要領

### (目的及び設置)

第1条 子どもを生き育てやすい環境の実現に向けた少子化対策の調査研究を行うため、金沢市少子化対策推進民間ワーキングチーム（以下「ワーキングチーム」という。）を設置する。

### (調査研究事項)

第2条 プロジェクトチームは、次に掲げる事項について調査研究を行う。

- (1) 少子化対策の推進に関すること。
- (2) 少子化対策に係る施策の内容に関すること。

### (組織等)

第3条 ワーキングチームは、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 子育て支援に関係する団体に所属する者
- (3) 子育て支援に関する活動を行っている者
- (4) その他少子化対策に関し識見を有する者

3 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 ワーキングチームに、座長を置き、委員の互選によりこれを選任する。

5 座長は会務を総理し、ワーキングチームを代表する。

6 座長に事故があるときは、座長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第4条 ワーキングチームの会議（以下「会議」という。）は、座長が招集し、座長が議長となる。

2 ワーキングチームは、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に加えることができる。

### (庶務)

第5条 ワーキングチームの庶務は、福祉健康局こども福祉課において処理する。

### (雑則)

第6条 この要領に定めるもののほか、ワーキングチームの運営に関し必要な事項は、座長が定める。

◆金沢市少子化対策推進会議委員名簿

氏 名	所 属 等
青 海 康 男	いしかわ市民活動ネットワーキングセンター理事
浅 井 一 朗	石川県私立幼稚園協会金沢支部長
丘 村 誠	金沢市医師会理事
北 橋 正 治	金沢市公民館連合会理事
佐 藤 伸 也	金沢市社会福祉協議会会長
嶋 口 外 樹 正	金沢市小学校校長会会長
常 少 紀 代 美	金沢市 PTA 協議会副会長
関 秀 俊	金沢大学医薬保健研究域保健学系教授
高 田 永 吉	金沢商工会議所中小企業相談所長
徳 田 淑 子	金沢市民生委員児童委員協議会副会長
富 瀬 永	連合石川副事務局長
中 本 次 雄	金沢市町会連合会副会長
成 瀬 栄 三 郎	金沢青年会議所次世代教育室室長
西 村 真 実 子	石川県立看護大学母性・小児看護学講座教授
長 谷 川 由 香	子育て向上委員会編集部代表
丸 岡 喜 代 子	金沢市校下婦人会連絡協議会副会長
諸 岡 康 哉	金沢大学人間社会研究域学校教育系教授
山 河 由 喜 枝	金沢市老人連合会副会長
山 岸 淑 子	竪町商店街振興組合理事
山 崎 裕 子	金沢市農業協同組合女性部長
吉 田 一 郎	金沢市社会福祉協議会保育部会長

(50音順・平成22年3月現在)

◆金沢市少子化対策推進民間ワーキングチーム名簿

氏 名	所 属 等
岡部 ゆかり	公募委員
河村 康嗣	かなざわ父親ねっと副代表
北形 正美	金沢市民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡会会長
島田 啓子	金沢大学医薬保健研究域保健学系教授
関 秀俊	金沢大学医薬保健研究域保健学系教授
玉作 千加子	金沢市社会福祉協議会保育部会保育士会主任保育士
長谷川 由香	子育て向上委員会編集部編集長
源 恭子	(社)石川県私立幼稚園協会金沢支部理事
吉岡 和代	公募委員
米田 耕	子育てにやさしい企業認証企業(株)北都組 総務課長代理

(50音順・平成22年3月現在)